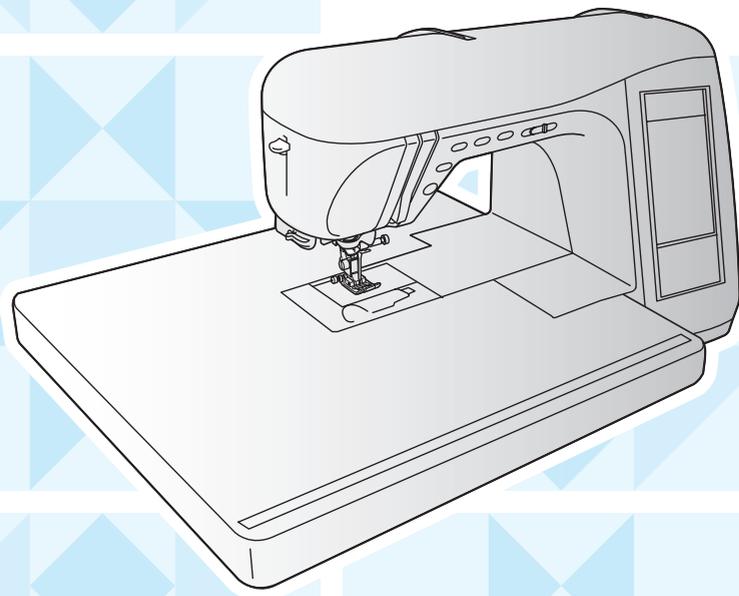


brother

コンピュータミシン

取扱説明書

CPU63シリーズ



第1章 ぬう前の準備

ぬう前に必要な準備を説明します。



第2章 基本操作

基本のぬい方と上手にぬうコツなどを説明します。



第3章 実用ぬい

実用ぬいとキルトぬいの手順を説明します。



第4章 文字・模様ぬい

文字・模様ぬいの手順を説明します。



第5章 マイイラスト機能

オリジナルの模様の作り方と保存のしかたを説明します。



第6章 付録

ミシンのお手入れと困ったときの対処方法などを紹介します。



- お使いになる前に必ず取扱説明書をお読みにになり、正しくお使いください。
- 取扱説明書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、この取扱説明書で機能や使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。
また、お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書およびミシン本体に使われている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになれる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
その表示や意味は次のとおりです。

 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

取扱説明書で使用されている絵文字の意味は次のとおりです。

	特定しない 禁止事項		特定しない 義務行為		特定しない 危険通告
	針の下に指を 入れないでくだ さい		電源プラグを 抜いてください		感電の危険が あります
	分解しては いけません		水に濡らしては いけません		火災の危険が あります

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

 警告	
	一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・運転中に停電したとき ・接触不良、断線などで正常に動作しないとき ・雷が鳴りはじめたとき

⚠ 注意

	<p>延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。</p>
	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・緩んだコンセントは使用しないでください。</p>
	<p>電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお近くの販売店または「お客様相談室（マシン 119 番）」0120-340-233 にご連絡ください。</p>
	<p>電源コードは、赤い印以上引き出さないでください。</p>
	<p>長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。</p>
	<p>電源コードを巻き取るときは、プラグとコードを持って巻き取ってください。プラグが当たってけがの原因になります。</p>
	<p>直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は 0 ~ 40 °C です。マシン内部の温度が上がったり、マシン本体や電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。</p>
	<p>火の気のあるもののそばでは使用しないでください。（火の消えていないたばこ、ろうそくなど）火災の原因となります。</p>
	<p>野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体が濡れて感電の原因となります。また濡れた時はお近くの販売店または「お客様相談室（マシン 119 番）」0120-340-233 にご連絡ください。</p>
	<p>温度や湿度の高い所でのご使用や保管は避けてください。</p>
	<p>スプレー製品などを使用する部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。</p>
	<p>ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてケガをする原因となります。 マシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。</p>
	<p>マシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から 30cm 以上離して使用してください。また、換気口やフットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。</p>
	<p>マシン本体の上に花瓶や水の入った容器を置くなどして、マシン本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または「お客様相談室（マシン 119 番）」0120-340-233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
	<p>マシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお近くの販売店または「お客様相談室（マシン 119 番）」0120-340-233 にご連絡ください。</p>
	<p>マシン本体の重さは約 11.3kg あります。マシン本体を持ち運びする際は急激または、不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となります。</p>

⚠ 注意

	ミシン本体は、必ずハンドルを持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって落としたりして、ケガの原因となります。
	ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用するとケガ・故障の原因となります。
	お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびケガの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お近くの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」0120-340-233 にご依頼ください。
	取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ケガ・感電の原因となります。
	<u>ミシン操作中は、針の動きに十分ご注意ください。また、針、プーリー、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。</u> ケガの原因となります。
	リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにケガをするおそれがあります。本来の使用目的以外での使用はしないでください。
	針や押え等の交換およびその他機能に関する使用については、取扱説明書の指示に従って正しく行ってください。
	縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。ケガ・針折れの原因となります。
	<u>針の下などに指を入れないでください。</u> ケガをするおそれがあります。
	上糸、下糸等に関する操作については、取扱説明書の指示に従って正しく行ってください。取り扱いを誤ると、縫製中に糸がらみ等が発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
	曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
	万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお近くの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」0120-340-233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 	万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お近くの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」0120-340-233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
	本製品が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。
 	お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは、お子様がケガをしないよう十分注意してください。
	フットコントローラーの上に物を置かないでください。ケガ・故障の原因となります。
	USB ケーブルは付属のものを使用してください。

- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
職業用としてご使用になった場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

本書の構成と読み方

第1章、第2章はこのミシンを初めて使われる方を対象に、ミシンの基本的な操作方法を説明しています。

実用ぬいをしたい方は

続けて第3章へ進んでください。模様を選び方やいろいろなぬい方を学びます。



文字・模様ぬいをしたい方は

第4章へ進んでください。模様を選んでからぬうまでの基本操作と、模様の反転や大きさ変更などの模様の編集やいろいろな模様を組み合わせる方法、組み合わせた模様の記憶のしかたなどを学びます。



- 操作の手順の中では実際に操作する部分を  で示しています。実際の画面やミシンを照らし合わせながら操作を進めてください。
- 操作中にわからない点が発生したとき、機能について知りたいときに該当箇所をすぐ参照できるよう索引 (P.168) がついていますので、目次と併せてご利用ください。

目次

安全にお使いいただくために	1	ピンタック	76
各部の名称とはたらき	7	ジグザグぬい	77
主要部	7	点線ジグザグぬい	79
針と押え部分	8	たちめかがり	80
操作スイッチ	9	すそ上げをする	84
付属品	9	アップリケぬい	86
別売品	11	シェルタックぬい	86
第1章 ぬう前の準備	15	スカラップぬい	87
電源の入れ方	16	つき合わせぬい	88
液晶画面の操作	18	スモッキングぬい	88
設定キーを使う	21	ファゴティングぬい	89
使い方キーを使う	22	ゴムひもつけ	89
アドバイスキーを使う	23	ヘアールーム	90
上糸／下糸のセット	24	ボタン穴かがり	92
下糸を巻く	24	かんどめ	98
下糸をセットする	28	ボタンつけ	100
下糸を引き出す	29	アイレット	102
上糸を通す	30	横送り (直線・ジグザグ)	103
2本針を使用する	33	ファスナーつけ	103
押えの交換	35	第4章 文字・模様ぬい	107
押えを取り外す	35	模様の選び方	108
押えを取り付ける	35	大型飾り模様／7mm 飾り模様／大型サテンステッチ	
針の交換	37	／7mm サテンステッチ／クロスステッチ／実用飾り	
大きい布をぬう	39	模様	109
第2章 基本操作	41	アルファベット	109
基本のぬい方	42	ひらがな／カタカナ	111
ぬってみましょう	42	文字・模様をぬってみましょう	113
ほつれ止めをする	44	きれいにぬうために	113
カーブをぬう	44	文字・模様のぬい方	113
ぬい方向を変える	45	模様の調整をする	114
厚い布地をぬう	45	模様の編集のしかた	116
面ファスナー (マジックテープ®) をぬう	46	模様の大きさを変える	117
薄い布地をぬう	46	模様の長さを変える	
伸びる布地をぬう	46	(7mm サテンステッチのみ)	117
ビニールや皮をぬう	46	模様を上下反転する	117
模様の設定	47	模様を左右反転する	117
ジグザグの振りを調節する	47	模様の連続ぬい／単独ぬい	117
ぬい目の長さを調整する	48	模様の糸密度を変える	
糸調子を調節する	48	(大型サテンステッチのみ)	118
便利な機能	50	模様の始めに戻る	118
自動止めぬい／返しぬいをする	50	模様の組み合わせ	119
自動糸切りをする	50	模様の組み合わせをする前に	119
ピボット設定	51	ちがう模様を組み合わせる	119
自動押え圧補正	52	大きさを変えた模様を組み合わせる	121
画面をロックする	53	反転模様を組み合わせる	122
第3章 実用ぬい	55	長さを変えた模様を組み合わせる	123
実用ぬいの選び方	56	ステップ模様を作る	
模様を選ぶ	57	(7mm サテンステッチのみ)	124
模様の設定を記憶する	57	模様の記憶	126
ぬい方キーを使って模様を選ぶ	58	データに関する注意	126
いろいろなぬい方	60	ミシンのメモリに模様を記憶する	126
キルトぬい	60	パソコンに模様を記憶する	128
直線ぬい	70	ミシンのメモリから模様を呼び出す	129
ダーツ	74	パソコンから模様を呼び出す	130
ギャザー	75	第5章 マイイラスト機能	133
折り伏せぬい	76	イラストのデザインのしかた	134
		イラストの入力	136
		編集のしかた	138



1



2



3



4



5



6

マイイラスト模様の記憶.....	141
ミシンのメモリにマイイラスト模様を記憶する ...	141
パソコンにマイイラスト模様を記憶する	142
ミシンのメモリからマイイラスト模様を呼び出す	143
パソコンからマイイラスト模様を呼び出す	143

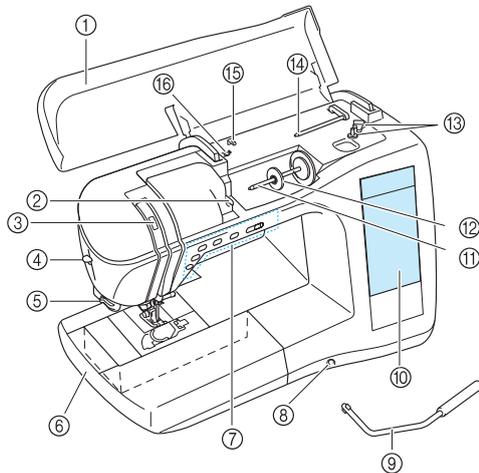
第6章 付録 145

お手入れのしかた	146
画面の汚れの掃除	146
本体表面の汚れの掃除	146
外かまの掃除	146
画面の調整	148
画面が見にくい	148
タッチパネルが反応しない	148
簡単なミシンの調整	150
エラーメッセージ	153
アップグレードの方法	156
ぬい方早見表	158
仕様	167
索引	168

各部の名称とはたらき

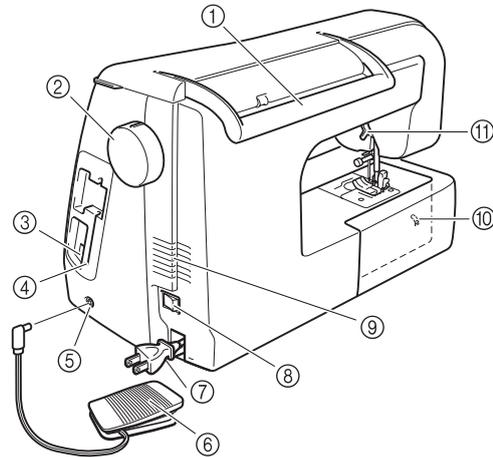
主要部

■ 正面



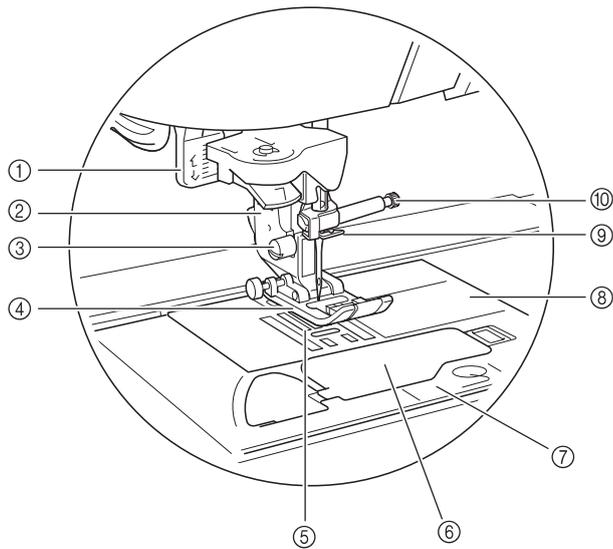
- ① 上ふた
上糸を通すときや下糸を巻くときに開けます。
- ② 糸案内板
上糸を通すときに糸をかけます。
- ③ てんびん確認窓
てんびんの位置を確認します。
- ④ 糸通しレバー
自動で針に糸を通すときに使います。
- ⑤ 糸切り
糸を引っかけて切ります。
- ⑥ 補助テーブル
中に押えやボビンなどを収納します。袖口などの筒ものをぬうときは外します。
- ⑦ 操作スイッチ (5つ) とスピードコントロールレバー
ミシンをスタートするときや針を上げ下げするときなど、ミシンのさまざまな操作に使います。實用ぬいの模様はスピードコントロールレバーをスライドすることによってぬう速さを調節することができます。
- ⑧ ニーリフター差し込み口
ニーリフターを差し込みます。
- ⑨ ニーリフター
ひざで押えを上げ下げするときに使います。
- ⑩ 液晶画面
模様の設定や編集、ミシンの使い方を確認します。また、エラーメッセージが表示されます。
- ⑪ 糸たて棒
糸こまを差し込みます。
- ⑫ 糸こま押え
糸こまが抜けないように押さえます。
- ⑬ 下糸巻き装置
下糸をボビンに巻くときに使います。
- ⑭ 補助糸たて棒
縫製の途中で下糸を巻くときや2本針でぬうときに使います。
- ⑮ 糸案内
下糸を巻くときに糸を通します。
- ⑯ 下糸巻き案内
下糸を巻くときに糸をかけます。

■ 右側面/背面



- ① ハンドル
ミシンを持ち運ぶときに使います。
- ② プーリー
ぬい目を1針ずつ送るときや針を上げ下げするときに手前に回します。
- ③ USBポートコネクタ
USBケーブルを差し込み、パソコンに接続します。
- ④ タッチペンホルダー
タッチペンを使用していないときに取り付けます。
- ⑤ フットコントロールジャック
フットコントロールのプラグを差し込みます。
- ⑥ フットコントローラー
足でフットコントローラーを踏みながらミシンを操作します。
- ⑦ 電源プラグ
電源コードを引き出し、コンセントに差し込みます。
- ⑧ 電源スイッチ
ミシンの電源を「入」や「切」にするスイッチです。
- ⑨ 換気口
モーターの換気用の穴です。ミシンをご使用になるときは、ここをふさがないようにしてください。
- ⑩ 送り歯位置表示
送り歯が上がっているか、下がっているかを示します。
- ⑪ 押えレバー
押えを上げ下げします。

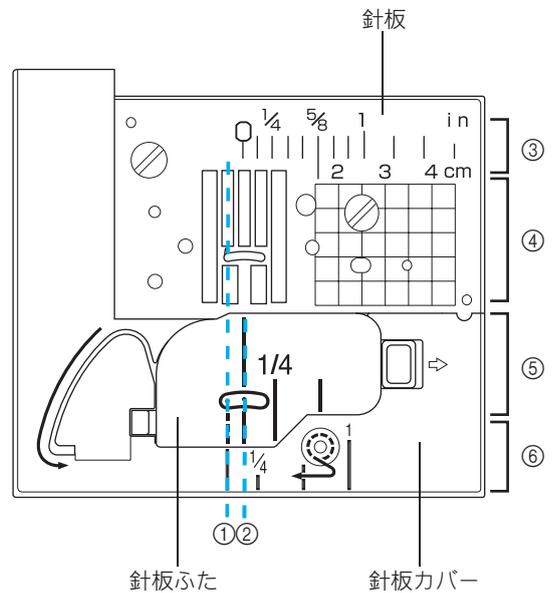
針と押え部分



- ① ボタン穴かがりレバー
ボタン穴かがりやかんどめをぬうときに使用します。
- ② 押えホルダー
押えを取り付けます。
- ③ 押えホルダーのネジ
押えホルダーを固定します。
- ④ 押え
布地を押さえます。付属の押えの中からぬい方に合った押えを取り付けます。
- ⑤ 送り歯
ぬう方向に布地を送ります。
- ⑥ 針板ふた
開けて中のかまにポビンをセットします。
- ⑦ 針板カバー
かまの掃除をするときに取り外します。
- ⑧ 針板
まっすぐにぬうための目盛りが付いています。
- ⑨ 針棒系かけ
上糸をかけます。
- ⑩ 針止めネジ
針を固定します。

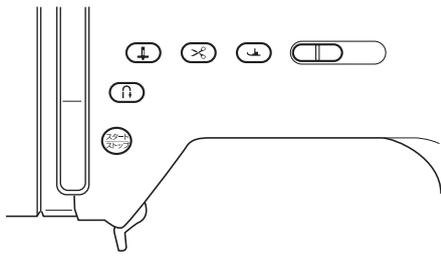
針板、針板ふた、針板カバーの目盛り表示

針板、針板ふたには、直線ぬいの針位置（中基線）からの長さが表示されています。
針板カバーには、直線ぬい針位置（左基線）からの長さが表示されています。



- ① 左基線の針位置
- ② 中基線の針位置
- ③ 中基線の針位置からの長さ<インチ>
- ④ 中基線の針位置からの長さ<cm>
- ⑤ 中基線の針位置からの長さ<インチ>
- ⑥ 左基線の針位置からの長さ<インチ>

操作スイッチ



① スタート/ストップスイッチ

押すと数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールレバーで設定されている速度でぬい始めます。もう一度押すとストップします。スタート/ストップスイッチはミシンの状態によって色が変わります。

- 緑： スタートできる状態のときおよび縫製中
- 赤： スタートできない状態のとき

② 返しぬいスイッチ

ぬい始めやぬい終わりの、返しぬいまたは止めぬいをするときに押します。返しぬいの場合、スイッチを押している間、逆方向にぬいます。止めぬいの場合、スイッチを押したままにすると、同じ場所で3～5針重ねてぬって止まります。詳細は、P.50「自動止めぬい/返しぬいをする」で説明します。

③ 針上下スイッチ

針を上げ下げするときに押します。針に糸を通す前に、必ず針を上げておきます。また、ぬい方向を変えるときや細かいところをぬうときに使用します。繰り返し押すと、1針ずつぬうことができます。

④ 糸切りスイッチ

ぬい終わった後に押すと上糸、下糸を自動的に切ります。

⑤ 押え上下スイッチ

スイッチを一回押すごとに、押えを上げ下げすることができます。

⑥ スピードコントロールレバー

左右に動かしてぬう速さを調節します。左に動かすと遅く、右に動かすと速くなります。

- 初心者の方はミシンに慣れるまで「ゆっくり」にしてぬってください。

⚠ 注意

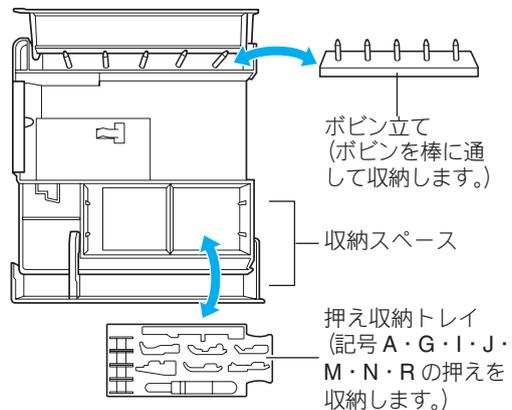
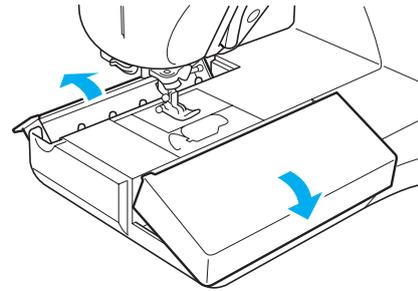


糸を切った後は、糸切り操作をくり返し行わないでください。針が折れたり糸がからんだりするおそれがあります。また、故障の原因となります。

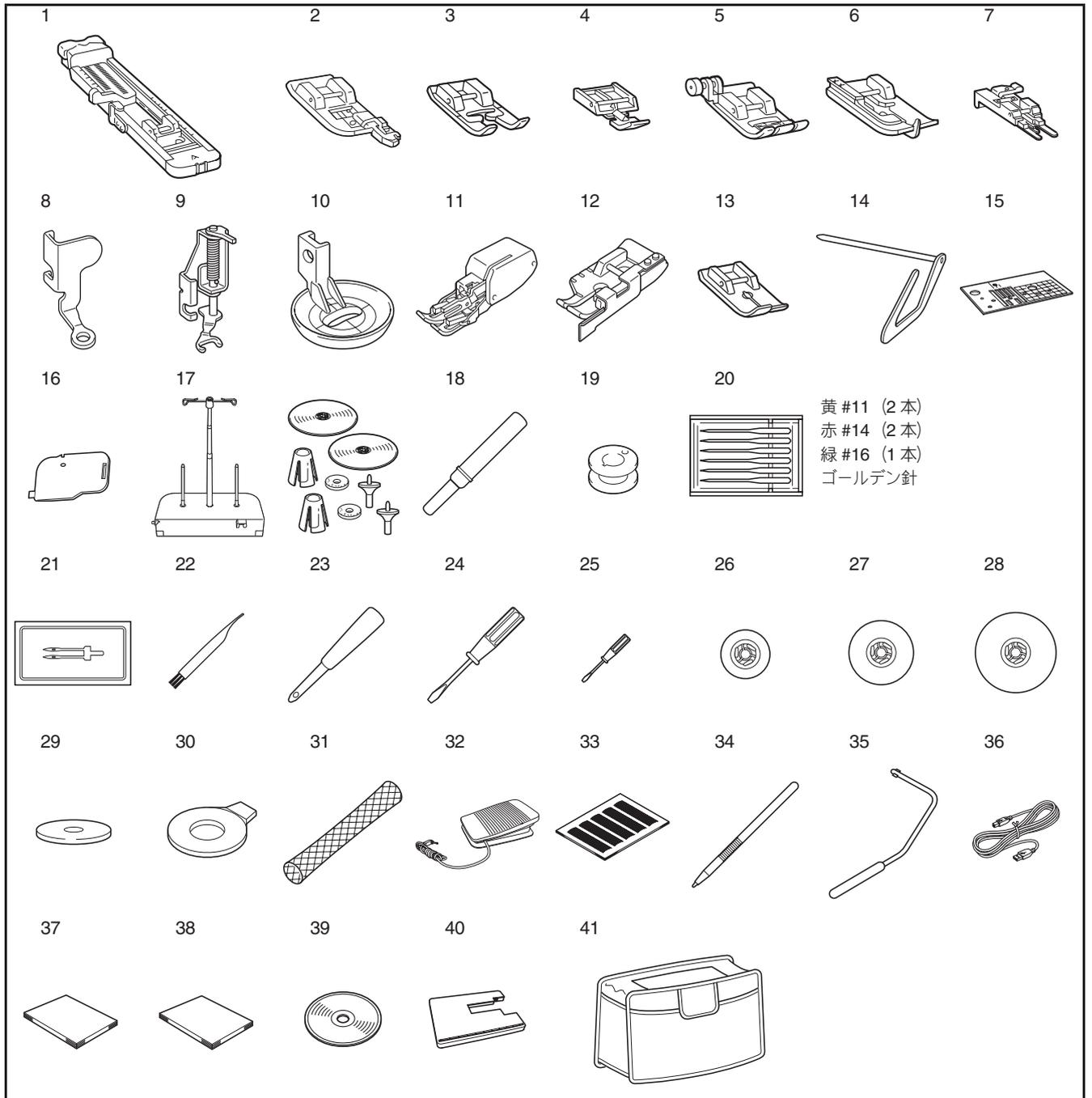
付属品

付属品 (P.10 参照) が全部そろっているか確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。また、必ず本機専用の付属品を使ってください。

付属品は補助テーブルの中に収納されています。図のようにふたを開けてください。



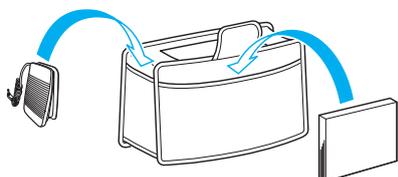
付属品



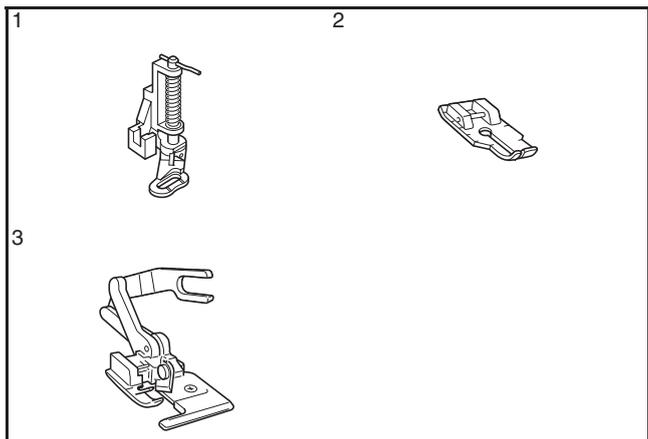
No.	部品名
1	ボタン穴かがり押え< A >
2	たち目がかり押え< G >
3	模様ぬい押え< N >
4	片押え< I >
5	ジグザグ押え< J > (ミシンに取り付けてあります)
6	まつりぬい押え< R >
7	ボタン付け押え< M >
8	フリーモーションキルト押え< C >
9	オープントゥキルト押え< O >
10	エコーキルト押え< E >
11	ウォーキングフット
12	ガイド付きピーシング押え
13	直線押え
14	キルター
15	直線針板
16	コードガイドふた (1穴)
17	糸たてスタンド
18	リッパー
19	ボビン< 10個> (1個はミシンのかまにセットされています)
20	ミシン針セット
21	2本針
22	ミシンブラシ
23	はとめ穴パンチ
24	ドライバー (大)
25	ドライバー (小)
26	糸こま押え (小) < 2個>
27	糸こま押え (中) < 2個> (1個はミシンの糸たて棒にセットされています)
28	糸こま押え (大) < 2個>
29	糸こまフェルト
30	ネジ回し
31	糸こまネット
32	フットコントローラー
33	マイイラスト用紙
34	タッチペン
35	ニールリフター
36	USB ケーブル
37	取扱説明書
38	操作早見表
39	使いこなし DVD
40	ワイドテーブル
41	ソフトケース

お知らせ

- 直線押え、糸たてスタンド、ワイドテーブルの使い方については、付属の取扱説明書を参照してください。
- 弊社推奨の付属品のみをご使用ください。
- 本書（取扱説明書）とフットコントローラーは、ソフトケースに収納できます。



別売品



No.	部品名	モデル名
1	キルト押え	F005N
2	ピーシング押え	F001N
3	サイドカッター押え< S >	F054

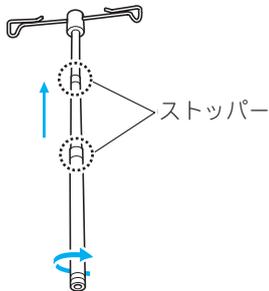
お知らせ

- 仕様は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- オプション品・部品については、お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」0120-340-233 にお問い合わせください。

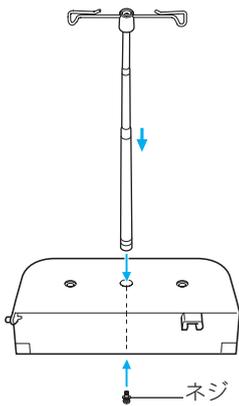
■ 糸たてスタンドの組み立て方

糸たてスタンドは径の大きな糸こま（チーズ巻き）に使用すると便利です。2個の糸こまをセットできます。

- 1 アンテナをいっぱいまで伸ばし、2ヶ所のストッパーがカチッと音がするまで棒を回します。

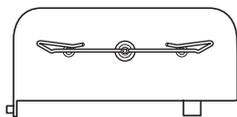


- 2 アンテナを糸たて台の中央の丸穴に差し込み、ドライバーで裏側からネジをしっかりと締め付けて固定します。

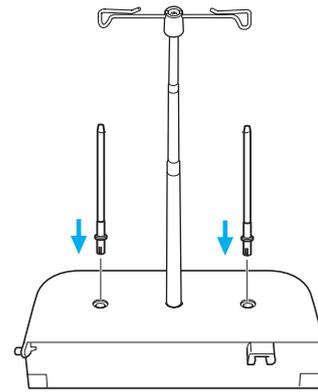


お願い

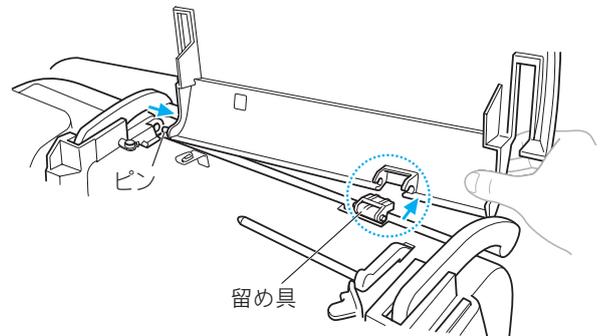
アンテナのストッパーがはまっている状態で、アンテナ上部と糸たて台が平行になっていることを確認してください。また、アンテナの向きに注意してください。



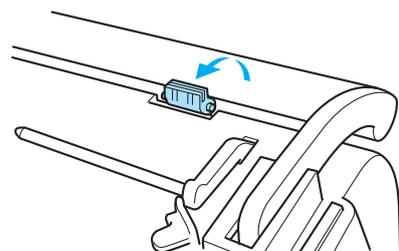
- 3 2本の糸たて棒を糸たて台の2ヶ所の穴にしっかりと差し込みます。



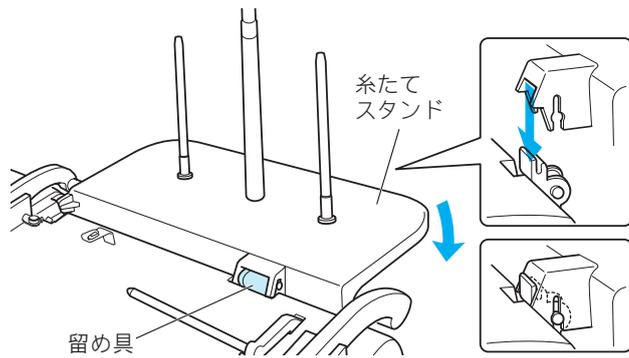
- 4 ミシンの上ふたを開けます。上ふた右側の留め具付近を押して留め具から外します。上ふたを右へスライドして左側のピンを抜いて、上ふたを取り外します。



- 5 ミシンの留め具を手前におこします。



- 6** 糸たてスタンドを左へスライドしてピンをミシンに差し込んでから、留め具に糸たてスタンドを差し込みます。

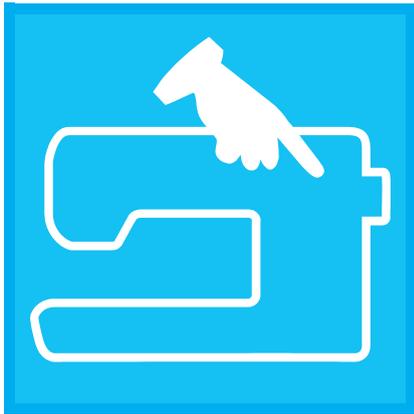


お願い

ミシンの留め具が手前におきた状態になっていること、留め具の溝に糸たてスタンドがしっかりとはまっていることを確認してください。

お知らせ

糸たてスタンドの使い方については、付属の取扱説明書を参照してください。



第1章

ぬう前の準備

電源の入れ方	16
液晶画面の操作.....	18
■画面表示に関する注意	18
■キーのはたらき.....	19
設定キーを使う	21
使い方キーを使う.....	22
■各項目の内容.....	22
アドバイスキーを使う	23
上糸／下糸のセット	24
下糸を巻く	24
■補助糸たて棒で下糸を巻く場合	24
■糸たて棒で下糸を巻く場合.....	26
■ボビン受け座の下に糸がからまってしまったら.....	27
下糸をセットする.....	28
下糸を引き出す	29
上糸を通す	30
2本針を使用する	33
押えの交換	35
押えを取り外す	35
押えを取り付ける.....	35
針の交換.....	37
■正しい針の見分け方	37
■針の種類と使い分け	38
大きい布をぬう.....	39

電源の入れ方

⚠ 警告



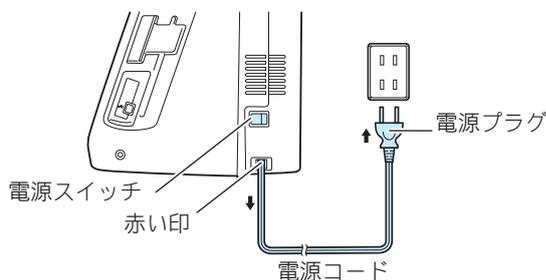
- 一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
- 緩んだコンセントは使用しないでください。
- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。
 - ミシンのそばを離れるとき
 - ミシンを使用したあと
 - 運転中に停電したとき
 - 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
 - 雷が鳴りはじめたとき

⚠ 注意



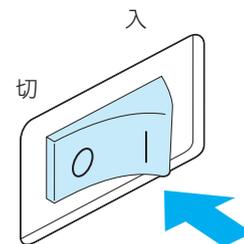
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお近くの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご連絡ください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
- ミシンを点検したり、ふたを外すときも、必ず電源プラグを外してください。

- 1** 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込みます。



お願い
電源コードは赤い印以上引き出さないでください。

- 2** 電源スイッチを「入」の方に押すと、電源が入ります。



→ 電源が入り、ランプと液晶画面が点灯します。



お知らせ

電源が入ると針や送り歯が動く音がしますが、故障ではありません。

- 3** 電源を切るときは、電源スイッチを「切」の方に押しします。
電源コードをしまうときは、少し (1 ~ 5cm ほど) 引っ張ってミシン本体の方へゆっくりと戻します。

**お願い**

運転中に停電が発生したときは、電源を切ってから電源プラグを抜いてください。次に電源を入れるときは、手順に従って正しく操作してください。



ぬい前の準備

液晶画面の操作

■ 画面表示に関する注意

- 画面は必ず指または付属のタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなど先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因になります。
- 画面は周囲の温度や環境の変化によって、画面全体または画面の一部が濃くなったり、淡くなったりしますが、故障ではありません。画面が見づらいときは、画面の調整を行ってください。(P.21 参照)
- 電源スイッチを入れた直後、画面が暗い場合がありますが、これは画面を照らすライトの特性によるもので、故障ではありません。約 10 分で通常の明るさになります。
- 画面をミシンの正面以外から見ると、色が変わったり、画面が見づらくなることがあります。これは使用している液晶の特性上のものであり、故障ではありません。画面は正面から操作してください。

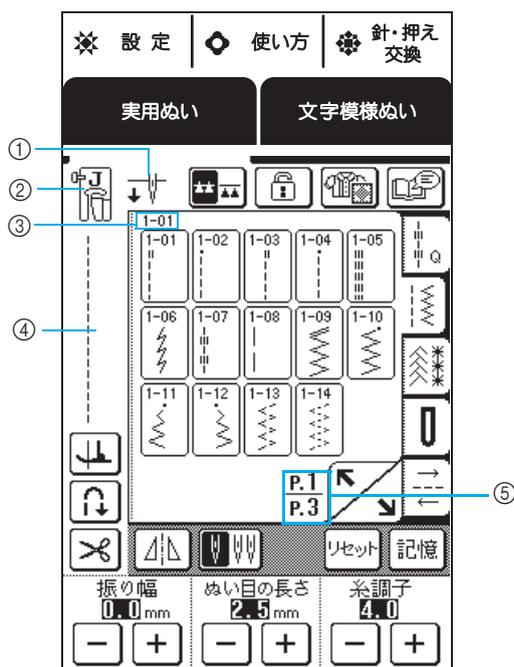
電源スイッチを入れるとオープニング画面が表示されます。オープニング画面は設定により OFF にすることができます。(P.21 参照)

画面を指で軽く押してください。設定に応じて、「Q-01 ピーシング直線 (中基線)」、「1-01 直線 (左基線)」、「1-03 直線 (右基線)」のいずれかが自動的に選択されます。(P.21 参照)



お知らせ

オープニング画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、故障ではありません。



- ① 1 本針 / 2 本針の設定状態とミシンが停止したときの針位置を示します。針の停止位置はお好みに合わせて設定できます。(P.21 参照)

1 本針のとき



針下で止まります。針上で止まります。

2 本針のとき



針下で止まります。針上で止まります。

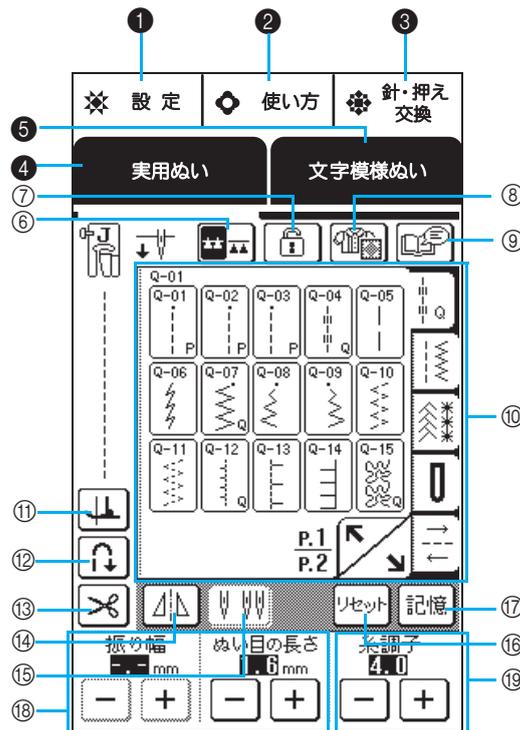
- ② 押え記号
表示される押えを取り付けてからぬいます。
- ③ 選択した模様の番号が表示されます。
(実用ぬいのみ)
- ④ 選択した模様が表示されます。
- ⑤ 各模様選択画面の総ページ数と現在のページ番号が表示されます。

■ キーのはたらき

指、またはタッチペンで画面上部の



を押して、画面表示を切り換えます。



ぬい前の準備

操作パネル

No.	キー	名称	はたらき	参照ページ
①		設定キー	針の停止位置切り替え、プザーの ON / OFF、模様の調整や画面の調整などミシンの設定を変更するときに押します。	21
②		使い方キー	上糸通し、下糸巻き、押え交換など、ミシンの使い方を知りたいときに押します。	22
③		針・押え交換キー	針や押えを交換するときに押します。すべてのキーと操作スイッチがロックされ、部品を安全に交換できます。もう一度押すと、ロックを解除します。 使い方が表示されているときは、針・押え交換モードの画面は表示されません。	35, 37
④		実用ぬいキー	直線ぬい、ジグザグ、ボタン穴かがり、まつりぬいなど洋裁によく使う模様（実用模様）やキルト模様を選ぶときに押します。	56
⑤		文字模様ぬいキー	アルファベット文字や飾りなどの模様を選ぶときに押します。	108

画面表示

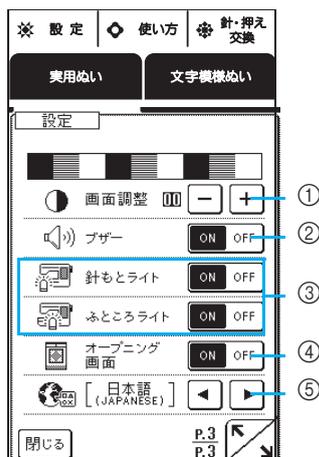
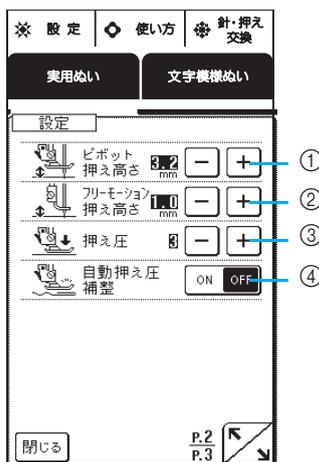
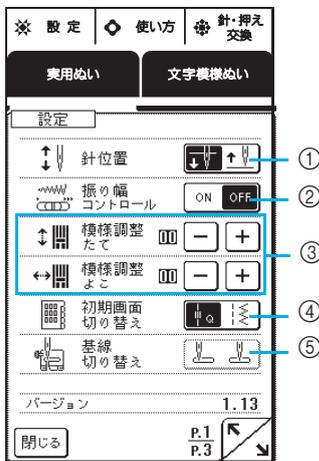
No.	キー	名称	はたらき	参照ページ
⑥		送り歯ドロップキー	フリーモーションキルトをするときに押して、送り歯を下げます。(フリーモーションモード) もう一度押すと送り歯を上げることができます。また、ボタン付けを選択すると、自動的にに変わり、送り歯が下がります。	66, 100
⑦		画面ロックキー	画面をロックするときに押します。画面をロックすると、振り幅やぬい目の長さなどの各設定がロック (固定) されます。もう一度押すと、ロックは解除されます。	53
⑧		ぬい方キー	どの模様を選べばいいのかわからないときに押します。用途に応じて、適切な実用模様や操作手順が表示されるので、初心者の方にもとても便利です。	58
⑨		アドバイスキー	選択した模様の用途を知りたいときに押します。	23
⑩		模様選択画面	お好みの模様のキーを押して、模様を選びます。で、模様選択画面を切り替えます。	56
⑪		ピボットキー	ピボット設定を選択するときに押します。ピボット設定を選択してミシンを止めると、針が下がった状態でミシンは停止し、押えは自動的に指定の高さに上がります。再びぬい始めると、押えは自動的に下がります。 <ul style="list-style-type: none"> の表示のときは、使用できません。 	51
⑫		自動止めぬいキー	自動止めぬい/返しぬいを設定するときに押します。自動止めぬいをあらかじめ設定しておく、ぬい始めとぬい終わりに返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬい/返しぬいをします。もう一度押すと、設定は解除されます。	50
⑬		自動糸切りキー	自動糸切りを設定するときに押します。自動糸切りをあらかじめ設定しておく、返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬい (模様によっては返しぬい) をして糸を切ります。もう一度押すと、設定は解除されます。	50
⑭		左右反転キー	選んだ模様が左右に反転します。 <ul style="list-style-type: none"> の表示のときは、使用できません。 	57
⑮		2本針キー	2本針を使用するときに押します。もう一度押すと、1本針の設定に戻ります。 <ul style="list-style-type: none"> の表示のときは、使用できません。 	33
⑯		リセットキー	記憶した模様の設定を標準の設定に戻したいときに、を押してからを押します。	57
⑰		記憶キー	選んだ模様の設定 (ジグザグの振り幅やぬい目の長さ・糸調子・自動糸切りや自動止めぬいなどの設定) をお好みの設定値に変更して、その内容を記憶しておくことができます。	57
⑱		ぬい目調節キー	選んだ模様のジグザグの振り幅 (模様の幅) とぬい目の長さを示します。またはを押すと、お好みに合わせて、ジグザグの振り幅とぬい目の長さを調節することができます。 <ul style="list-style-type: none"> mmと表示されているときは、設定を調節できません。 	48
⑲		糸調子キー	選んだ模様の糸調子を示します。通常は自動的に標準の糸調子に設定されています。またはを押すと、糸調子の設定を調節できます。	48

設定キーを使う ※ 設定

※ 設定 を押すと、針の停止位置切り替え、ブザー・ランプの ON / OFF、模様調整や画面の調整など、いろいろなミシン本体の基本的設定を変更することができます。お買い上げ時は、以下の画面の設定になっています。



を押して、前または次のページの設定画面を表示します。



- ① ミシンが停止したときの針位置（下／上）を選択します。
- ② スピードコントロールレバーをジグザグの振幅調節レバーに切り替えます。（P.65 参照）
- ③ 文字・模様ぬいの模様を調整します。（P.114 参照）
- ④ 実用ぬい画面を表示したときに最初に表示する模様を、キルト模様（）または実用ぬい（）のどちらにするか選択します。
- ⑤ 電源スイッチを入れたときに自動的に選択される模様を、「1-01 直線（左基線）」または「1-03 直線（右基線）」のどちらにするか選択します。④の初期画面がキルト模様（）に設定されている場合は、選択できません。

- ① ピボット機能を有効にしたときの、停止時の押えの高さを設定します。（P.51 参照）
3.2 mm、5.0 mm、7.5 mm の 3 段階のいずれかを選択します。
- ② フリーモーションモードに設定したときの、押えの高さを設定します。（P.66 参照）
- ③ 1（弱い）～ 4（強い）の範囲で押え圧を調節します。
• 数字が大きいくほど押え圧が強くなります。通常は 3 に設定してあります。
- ④ ON にすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取って、スムーズに布送りすることができます。（P.45、P.52、P.66 参照）
③の押え圧が 1 に設定されている場合は、ON にしてもこの機能は使用できません。

- ① 液晶画面の明るさを調整します。
 - を押すと、画面は明るくなります。
 - を押すと、画面は暗くなります。
 - と の差が明確になるように調整します。
- ② ブザーの ON / OFF を切り替えます。
- ③ ライトの ON / OFF を切り替えます。
- ④ 電源スイッチを入れたときに表示されるオープニング画面の ON / OFF を切り替えます。
- ⑤ 表示言語を切り替えます。

お知らせ

- 「バージョン」はミシンにインストールされているプログラムのバージョンです。アップグレードについては、お近くの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」（フリーダイヤル 0120-340-233）にお問い合わせいただくか、プラザーソリューションセンター（<http://solutions.brother.co.jp/>）で今後掲載される情報を参照してください。
- 変更した設定は、電源を切ってもミシンに記憶されています。



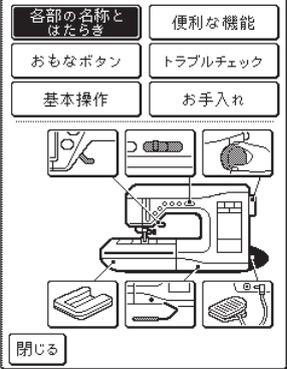
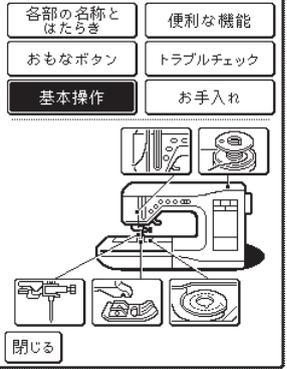
ぬい前の準備

使い方キーを使う ◇ 使い方

このミシンには、ミシンの基本操作など取扱説明書に準じた内容が記憶されています。

◇ 使い方 を押して、画面上段に表示される 6 つの項目から見たい項目を選びます。

■ 各項目の内容

各部の名称とはたらき	基本操作	トラブルチェック																								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">各部の名称とはたらき</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">便利な機能</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おもなボタン</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">トラブルチェック</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基本操作</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お手入れ</td> </tr> </table>  <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">閉じる</p> <ul style="list-style-type: none"> 押えレバー スピードコントロールレバー フーリー 補助テーブル ニーリフター フットコントローラー </div>	各部の名称とはたらき	便利な機能	おもなボタン	トラブルチェック	基本操作	お手入れ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">各部の名称とはたらき</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">便利な機能</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おもなボタン</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">トラブルチェック</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基本操作</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お手入れ</td> </tr> </table>  <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">閉じる</p> <ul style="list-style-type: none"> 上糸通し 下糸巻き 針の交換 押えの交換 下糸をセットする </div>	各部の名称とはたらき	便利な機能	おもなボタン	トラブルチェック	基本操作	お手入れ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">上糸が切れる</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">下糸が切れる</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ぬい目が飛ぶ</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">布地にしわがよる</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ぬい音が高い</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">糸通しができない</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">糸調子があわない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文字模様にくずれる</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">布地を送らない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">針が折れる</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ミシンが動かない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">液晶画面が見にくい</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">閉じる</p> </div>	上糸が切れる	下糸が切れる	ぬい目が飛ぶ	布地にしわがよる	ぬい音が高い	糸通しができない	糸調子があわない	文字模様にくずれる	布地を送らない	針が折れる	ミシンが動かない	液晶画面が見にくい
各部の名称とはたらき	便利な機能																									
おもなボタン	トラブルチェック																									
基本操作	お手入れ																									
各部の名称とはたらき	便利な機能																									
おもなボタン	トラブルチェック																									
基本操作	お手入れ																									
上糸が切れる	下糸が切れる																									
ぬい目が飛ぶ	布地にしわがよる																									
ぬい音が高い	糸通しができない																									
糸調子があわない	文字模様にくずれる																									
布地を送らない	針が折れる																									
ミシンが動かない	液晶画面が見にくい																									
おもなボタン	便利な機能	お手入れ																								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">各部の名称とはたらき</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">便利な機能</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おもなボタン</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">トラブルチェック</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基本操作</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お手入れ</td> </tr> </table>  <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">閉じる</p> <ul style="list-style-type: none"> 糸切りスイッチ 押え上下スイッチ スタート/ストップスイッチ 返しぬいスイッチ 針上下スイッチ </div>	各部の名称とはたらき	便利な機能	おもなボタン	トラブルチェック	基本操作	お手入れ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">各部の名称とはたらき</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">便利な機能</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おもなボタン</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">トラブルチェック</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基本操作</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お手入れ</td> </tr> </table>  <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">閉じる</p> <ul style="list-style-type: none"> ピボット機能 自動送り歯ドロップ機能 自動押え圧補正 </div>	各部の名称とはたらき	便利な機能	おもなボタン	トラブルチェック	基本操作	お手入れ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">各部の名称とはたらき</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">便利な機能</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おもなボタン</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">トラブルチェック</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基本操作</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お手入れ</td> </tr> </table>  <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">閉じる</p> <ul style="list-style-type: none"> かまの掃除 </div>	各部の名称とはたらき	便利な機能	おもなボタン	トラブルチェック	基本操作	お手入れ						
各部の名称とはたらき	便利な機能																									
おもなボタン	トラブルチェック																									
基本操作	お手入れ																									
各部の名称とはたらき	便利な機能																									
おもなボタン	トラブルチェック																									
基本操作	お手入れ																									
各部の名称とはたらき	便利な機能																									
おもなボタン	トラブルチェック																									
基本操作	お手入れ																									

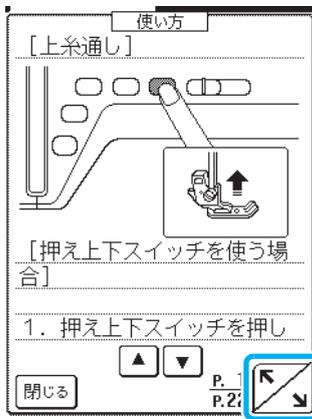
例) 上糸の通し方を見るとき

- 1 を押します。
- 2 を押します。
→ 下段に基本操作の項目が表示されます。
- 3 (上糸通し) を押します。



→ 上糸通しの手順が表示されます。

- 4 を押して次ページへ進みます。
• または を押すと、矢印の方向にスクロールします。



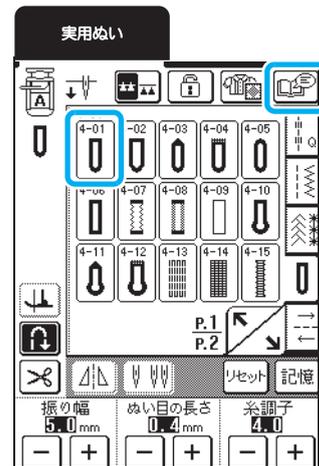
- 5 を押すと、**3** の画面に戻ります。

アドバイスキーを使う

模様を選んでから を押すと、選んだ模様の用途説明を見ることができます。

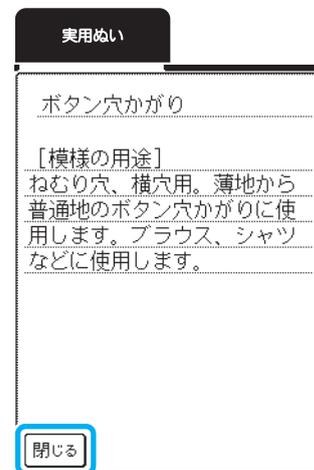
例) の用途を見るとき

- 1 を押し、 を押します。



→ の用途が表示されます。

- 2 を押すと、**1** の画面に戻ります。



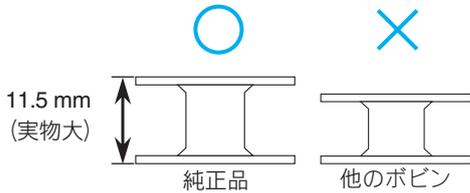
上糸／下糸のセット

下糸を巻く

下糸用の糸をボビンに巻きます。このミシンは、縫製中に糸たて棒を使っているときでも補助糸たて棒を使って下糸巻きができます。

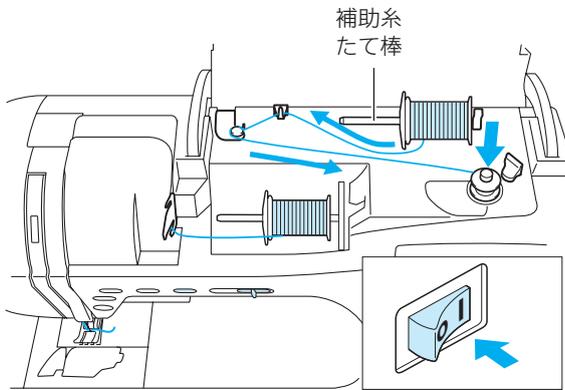
注意

付属のボビンは本機純正品です。厚みの違う従来品を使用すると、ミシンが正しく動作しません。必ず付属品、または別売の純正ボビンを使用してください。純正以外のボビンを使用すると、ケガ、故障の原因となります。



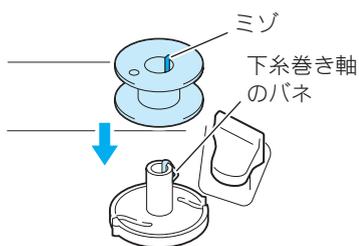
■ 補助糸たて棒で下糸を巻く場合

縫製の途中で下糸を巻きたいときに便利です。

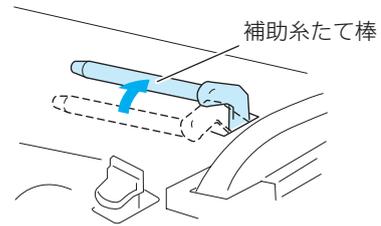


1 電源を入れ、上ふたを開けます。

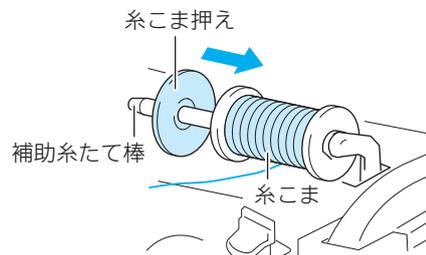
2 ボビンのミゾと下糸巻き軸のバネを合わせて、ボビンを軸にセットします。



3 補助糸たて棒を上におこします。

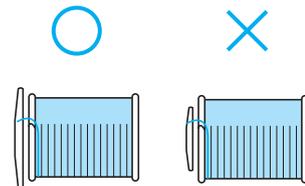


4 糸こまを糸が手前から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。



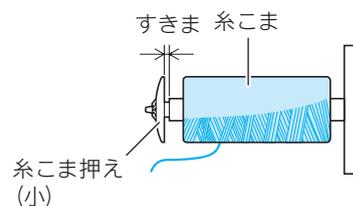
注意

- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。
- 糸こま押え (大) (中) (小) は糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。

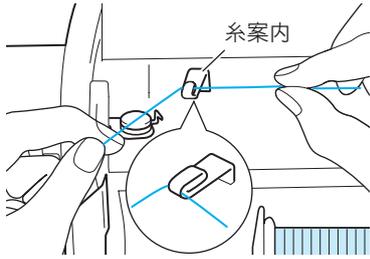


お知らせ

細い糸こまを使用するときは、糸こま押え (小) を使い、糸こま押えと糸こまの間に少しすきまを残してください。

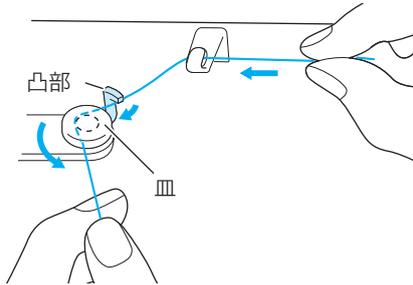


- 5** 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸を糸案内にかけます。



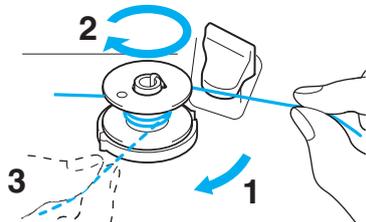
- 6** 下糸巻き案内の凸部に糸をかけて、皿の間に左回りに糸をかけ、しっかり奥まで入れます。

• 糸が皿の下を通っていることを確認してください。

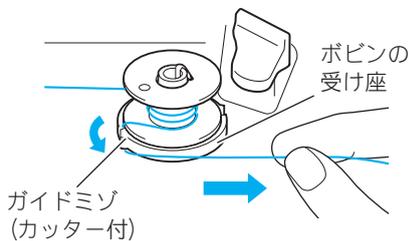


- 7** 図のように、ボビンに糸を時計まわりに4～5回巻きつけます。

• 引き出した糸がたるまないように左手で持ち、右手で糸端をボビンに巻きつけます。



- 8** 糸端をボビンの受け座のガイドミゾに引っかけて、図のように右へ糸を引き、カッターで糸を切ります。

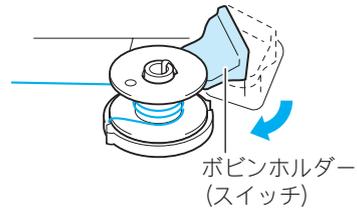


注意

必ずこの方法で糸を切ってください。ガイドミゾのカッターで糸を切らずに下糸を巻くと、糸量が少なくなったときにボビンに糸がからまり、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

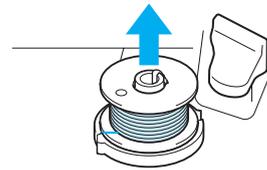
- 9** ボビンホルダーを左へカチッと音がするまで押します。

• ボビンホルダーを左へ押すと、下糸巻きが自動的にスタートします。



→ ボビンが回転し、巻き終わると自動的に停止し、ボビンホルダーが元の位置に戻ります。糸がからまってしまったら P.27 を参照してください。

- 10** はさみで糸を切り、ボビンを外します。

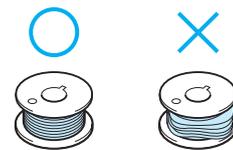


お願い

ボビンを外すときは、ボビンのみを上へ引っ張ってください。ボビンの受け座を引っ張ると、受け座が外れ、故障の原因となります。

注意

下糸は正しく巻かれたものを使用してください。下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良の原因となります。

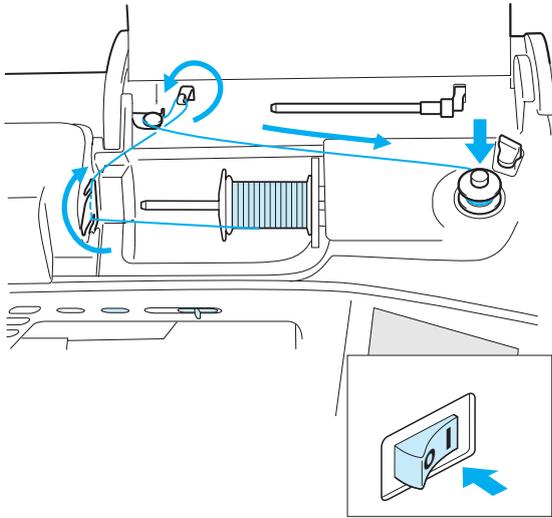


1

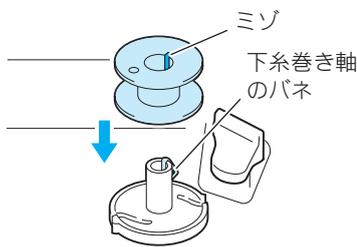
ぬい前の準備

■ 糸たて棒で下糸を巻く場合

縫製中は糸たて棒を使って下糸を巻くことはできません。補助糸たて棒を使ってください。(P.24 参照)

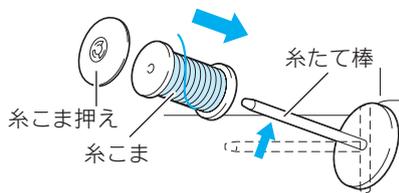


- 1 電源スイッチを入れます。
- 2 上ふたを開けます。
- 3 ボビンのミゾと下糸巻き軸のパネを合わせて、ボビンを軸にセットします。

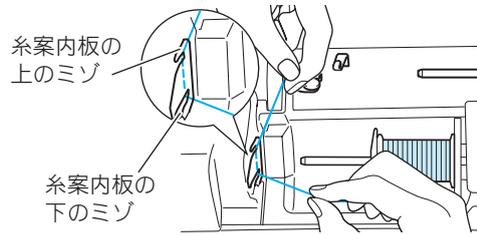


- 4 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸こまを差し込みます。

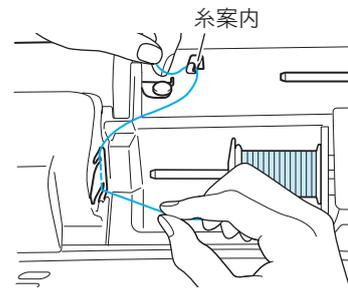
• 糸は糸こまの手前から出してください。



- 5 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。
- 6 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板の下のミゾに通してから、上のミゾに通します。

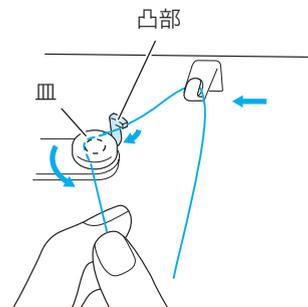


- 7 糸案内に糸をかけます。



- 8 下糸巻き案内の凸部に糸をかけて、皿の間に左回りに糸をかけ、しっかり奥まで入れます。

• 糸が皿の下を通っていることを確認してください。

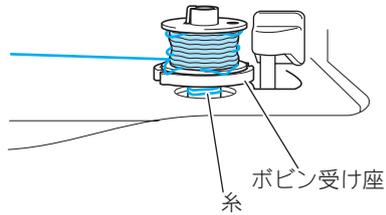


- 9 以降の作業は、P.25の7～10の手順に従ってください。

■ ボビン受け座の下に糸がからまってしまったら

糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていない状態で下糸を巻くと、ボビン受け座の下に糸が巻かれてしまうことがあります。(P.25 参照)

そうなった場合は、以下の手順に従ってボビン受け座の下に巻かれた糸をほどいてください。



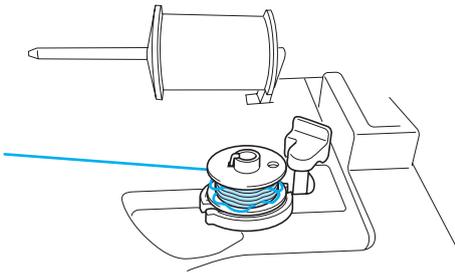
⚠ 注意



ボビン受け座の下に糸が巻かれても、ボビン受け座は外さないでください。受け座のカッターでケガをする恐れがあります。

1 ボビン受け座の下に下糸がからまり始めても、巻き終わって停止するまで待ちます。

- スタート/ストップスイッチを押さないでください。針が動きます。

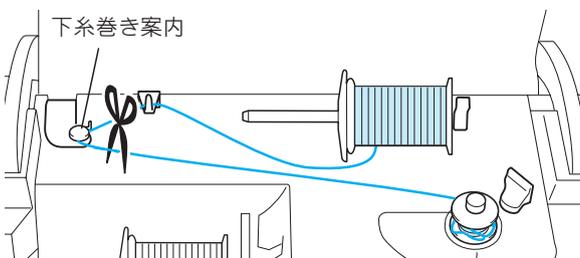


⚠ 注意

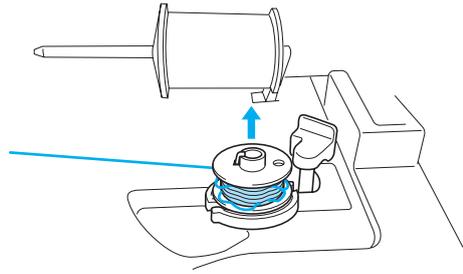


無理にボビンホルダーを右へ戻さないでください。ケガをする恐れがあります。

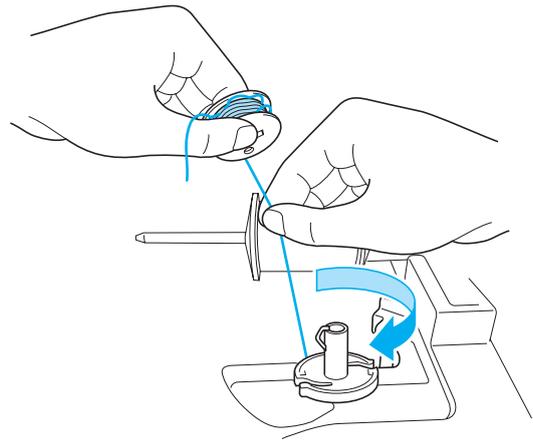
2 下糸巻き案内側で、はさみで糸を切ります。



3 ボビンを軸から外します。



4 図のように左手で糸端を持ち、右手でボビン近くの糸をゆっくりと時計回りに回して、からまった糸をほどきます。



5 下糸巻きをやり直します。



お願い

糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていることを確認してください。(P.25 参照)



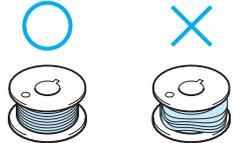
ぬい前の準備

下糸をセットする

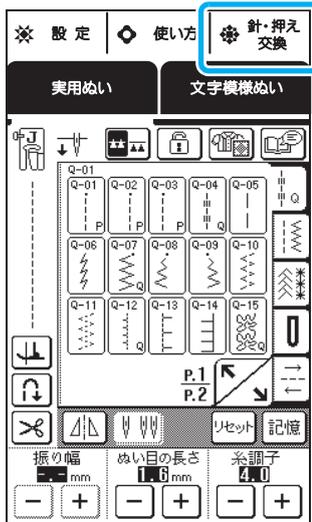
下糸を巻いたボビンをミシンにセットします。このミシンは下糸を引き出さずにぬうことができます。ギャザーよせをするときなど、下糸の引き出しが必要なときは、P.29 を参照してください。

⚠ 注意

- 下糸は正しく巻かれたものを使用してください。下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良の原因となります。



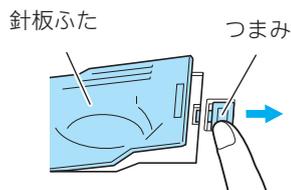
- 下糸をセットするときや交換するときは、必ず **針・押え交換** を押してから行ってください。万一、スタート/ストップスイッチまたは、他のスイッチが押されると、針が作動してケガの原因となります。



- 針・押え交換** を押します。

→ すべてのキーと画面がロックされます。

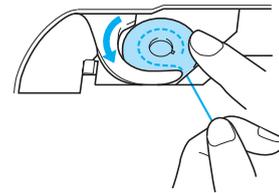
- 針板ふたのつまみを右側に押し、針板ふたを外します。



- ボビンを右手で持ち、左手で糸端を持ちます。



- 矢印の向きから糸が出るように、下糸を巻いたボビンを内かまにセットします。

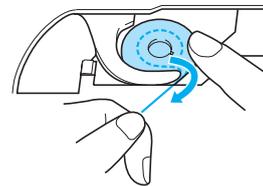


⚠ 注意

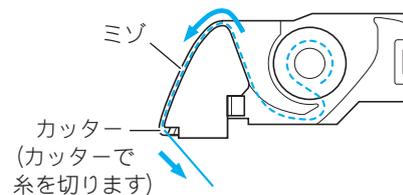


ボビンは必ず指で押さえ正しい方向から糸が出るようにセットしてください。ボビンを逆の方向にセットすると、針折れや糸調子不良の原因となります。

- 右手でボビンを軽く押さえ、左手で糸を軽く引きながらミゾに通します。

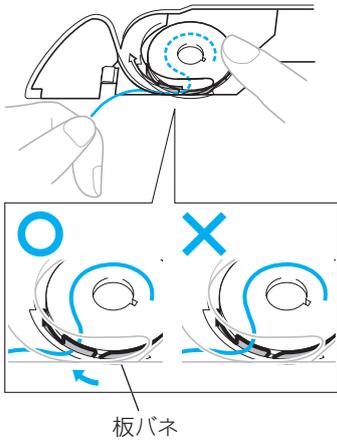


- ミゾにそって糸を通し、手前に引いてカッターで切ります。

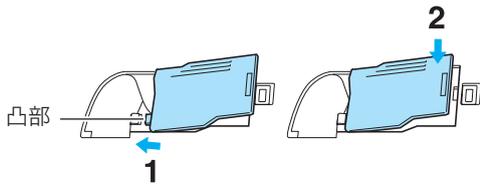


お願い

内かまの板バネの間に確実に糸が入っていないと、糸調子不良の原因となります。詳細は、P.48「糸調子を調節する」を参照してください。



7 針板ふたの左側の凸部を差し込み (1)、右側をカチッと音がするまで押して、針板ふたを閉めます (2)。



8 針・押え交換 または 終了 を押します。

→ すべてのキーと画面がロック解除されます。

下糸を引き出す

ギャザーやフリーモーションキルトをぬうときなど、あらかじめ下糸を引き出しておきたいときは、以下の手順に従って操作してください。

お知らせ

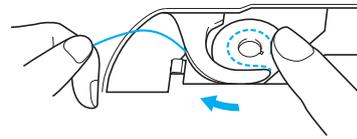
先に上糸を通してから下糸を引き出します。(P.30 参照)

1 P.28「下糸をセットする」の **1** ~ **4** までの手順に従って、ボビンを内がまにセットします。

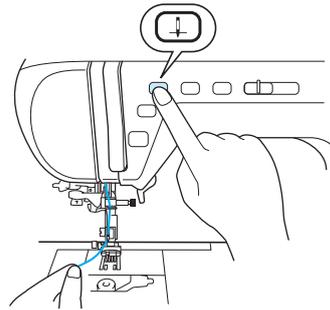
2 下糸を矢印のようにミゾにそって通します。

お願い

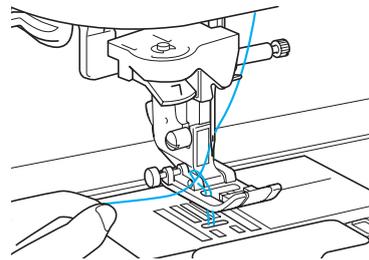
- 糸をカッターで切らないでください。
- 針板ふたは外したままにしてください。



3 上糸を軽く持ち、針上下スイッチを2回押し、針を上げます。

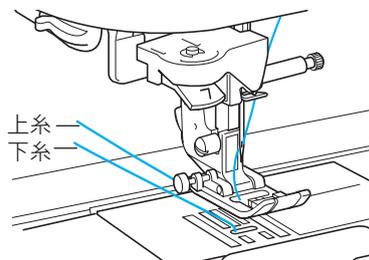


4 上糸を引き上げて、下糸を引っ張り出します。

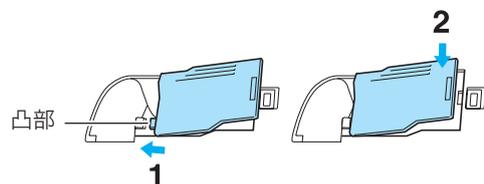


→ 下糸が針板の穴から輪になって出てきます。

5 そのまま下糸を引き出し、上糸とそろえて押えの下を通し、後ろ側へ約 10cm 引き出しておきます。



6 針板ふたを閉めます。



ぬう前の準備

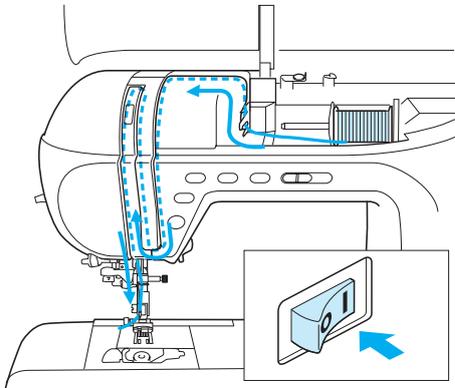
上糸を通す

上糸用の糸をセットし、針に糸を通します。上糸通しの手順はミシン本体にも番号で示されています。

⚠ 注意



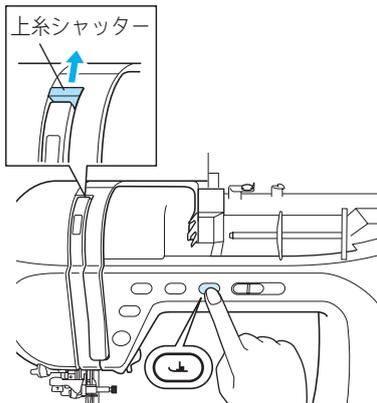
- 上糸は必ず正しく通してください。糸が正しく通されていない場合、糸がからんで針が折れ、ケガをするおそれがあります。
- 別売りの部品（押えなど）を使用する場合は、上糸通しを行ってから本体に取り付けてください。
- 20番以下の太い糸は使用しないでください。



1 電源スイッチを入れます。

2 押え上下スイッチを押して、押えを上げます。

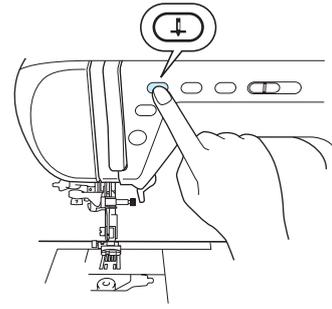
→ 上糸シャッターが開き、糸通しができるようになります。



お知らせ

このミシンには上糸通しを確実にするために、上糸シャッターがついています。

3 針上下スイッチを押して針を上げます。

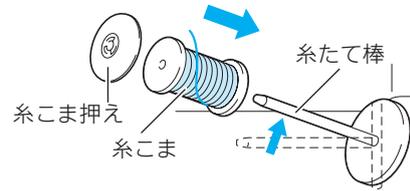


お願い

針を上げずに自動糸通しを行うと、故障の原因となります。

4 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸こまを差し込みます。

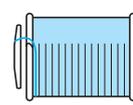
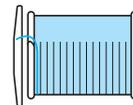
- 糸は糸こまの手前から出してください。



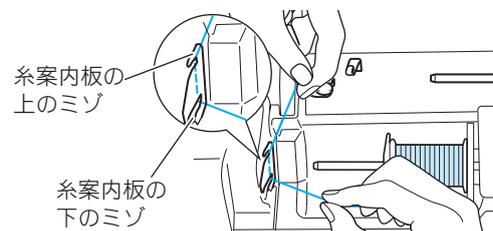
5 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。

⚠ 注意

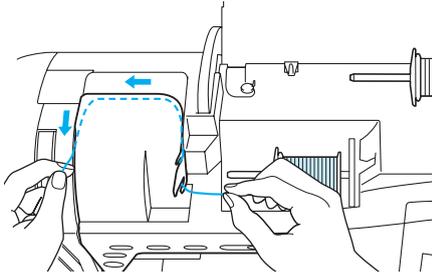
- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。
- 糸こま押え（大）（中）（小）は糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。



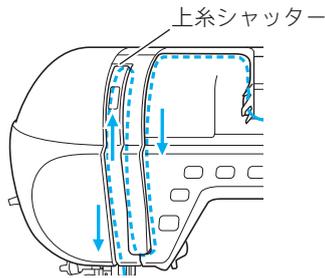
6 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板の下のミゾに通してから、上のミゾに通します。



- 7** 糸こまからの糸を右手で保持しながら、左手で糸端を持って矢印のようにミゾにそって糸を通します。

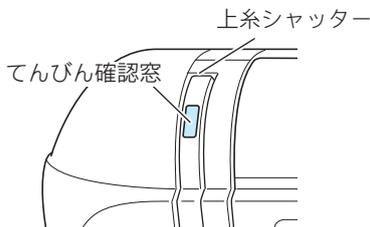


- 8** 矢印のようにミゾに沿って下→上→下の順に糸を通します。

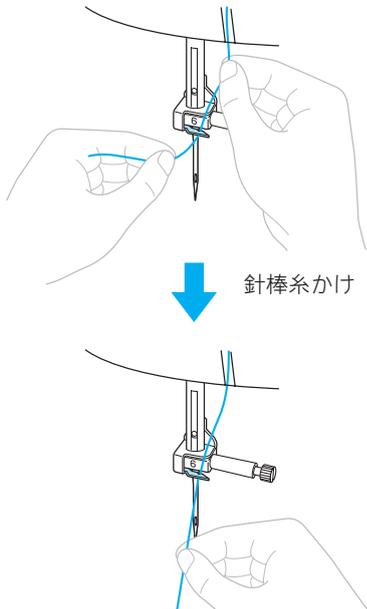


お知らせ

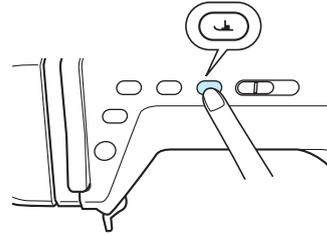
てんびん確認窓からてんびんの位置が確認できます。糸通しの前に、てんびんが上がっていることを確認してください。



- 9** 針棒糸かけ 6 に糸をかけます。
 • 右手で糸を押さえ、左手で糸端を持ってかけます。



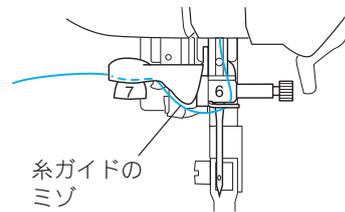
- 10** 押え上下スイッチを押します。



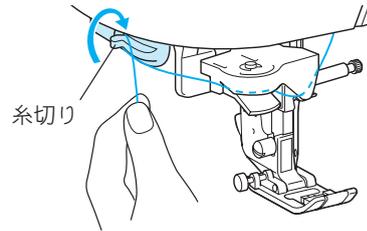
→ 押えが下がります。

- 11** 糸案内皿 7 に糸をかけます。

- 糸ガイドのミゾに糸が通っていることを確認してください。
- 糸は、糸案内皿の奥まで確実に入れてください。針穴に糸が通らないことがあります。

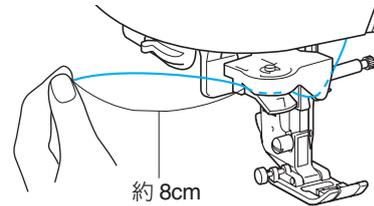


- 12** 図のように糸を糸切りの下から上へかけて、糸を切ります。



お願い

メタリック糸など、糸こまからほどけやすい糸を使用する場合、糸切りで糸を切ると自動糸通しができないことがあります。このようなときは、糸案内皿 7 に糸をかけた後、糸切りを使用せずに、糸を約 8cm 引き出します。



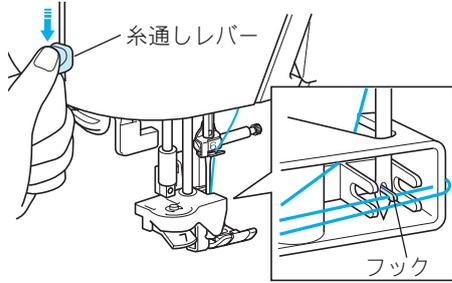
13 本体左側面の糸通しレバーをカチャと音がするまでゆっくりと下げます。

- フックが回転して、針穴に入ります。



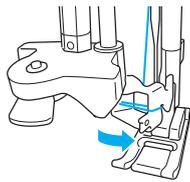
お願い

- 糸通しレバーを早く下げると、糸を通せないことがあります。
- 布などがフックに接触しないように注意してください。



お願い

- 糸通しレバーをいっぱいまで下げないと、フックが完全に回転しないため、糸が針穴に通りません。糸通しレバーを下げたとき、フックが図の位置までしか回転せず、糸が通らなかった場合は、**11** からやり直してください。



- 針が上がっていないと、糸通し装置で糸を通すことができません。糸を通す前に、針を針上下スイッチで上げておいてください。詳細は、P.30「上糸を通す」**3** を参照してください。

14 糸通しレバーから手を離します。

→ 針穴に糸が通ります。

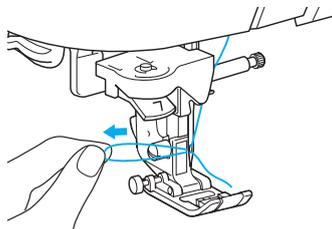
15 押え上下スイッチを押して押えを上げます。針穴に通った糸端をゆっくりと引き出します。



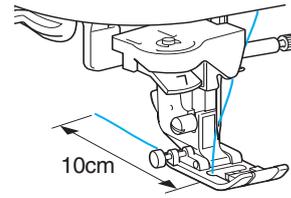
お願い

無理に引っ張って、針を曲げないように注意してください。

- 針穴を通った糸が輪になった場合は、輪を後ろ側に引っ張り、針穴から糸を引き出します。



16 押えの下から後ろ側へ10cmほど糸を引き出します。



17 押え上下スイッチを押して、押えを下げます。

- これで上糸通しの手順が完了しました。



お願い

- 糸通し装置は家庭用ミシン針 (HA × 1) 11 ~ 16 番の範囲で使用してください。なお、針と糸の適正な組み合わせは、P.38「針の種類と使い分け」を参照してください。
- 自動糸通しが正常に行なわれなかった場合は、手順9の針棒糸かけ6に糸をかけるところからやり直してください。
- 糸によっては糸通し装置が使用できないものがあります。その場合は手順9の針棒糸かけ6に糸をかけた後、糸通しレバーを使用しないで、針の手前から向こう側に手で針穴に糸を通してください。

2本針を使用する

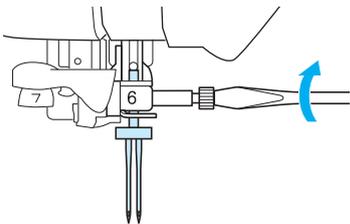
2本針を使用すると、同じ模様を平行にぬうことができます。下糸は1本ですが、上糸に配色のよい2本の糸を使うと変化のある模様が出来ます。糸は、同質で同じ太さのものを使います

模様を選んだときに  が表示される模様のみ、2本針が使用できます。2本針が使用できる模様は、巻末の「ぬい方早見表」で確認してください。

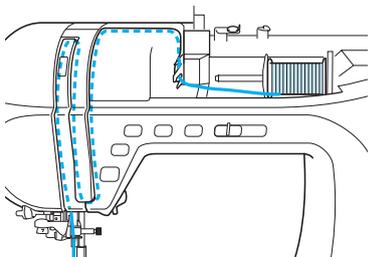
⚠ 注意

- 2本針は必ずブラザー専用2本針を使用してください。その他の針を使用すると針折れや故障の原因となります。
- 2本針を使用するときは必ず2本針の設定にしてください。2本針の設定になっていない状態で2本針を使用すると、針が折れ故障の原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
- 2本針を使用するときは、<J>押えを使用してください。糸や布地によってぬい目が詰まる場合は、<N>押えを使用してください。

- 1**  を押して、2本針を取り付けます。
(P.37 参照)

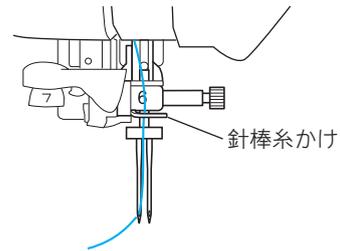


- 2** 1本針と同じ手順で1本目の糸を通します。
(P.30 参照)

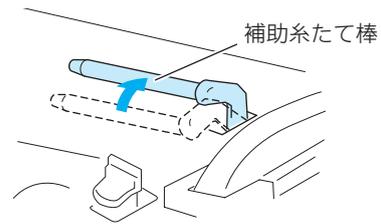


- 3** 糸を針棒糸かけ6にかけ、左側の針に手で糸を通します。

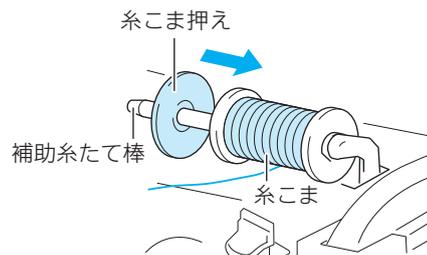
- 2本針に糸を通すときは、糸通し装置を使用しないでください。



- 4** 補助糸たて棒を上におこします。

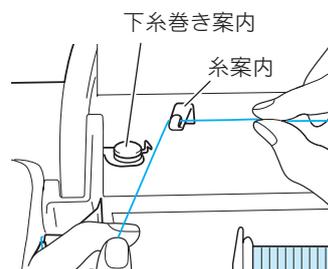


- 5** もう1つの糸こまを、糸が手前から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。



- 6** 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸を糸案内にかけます。

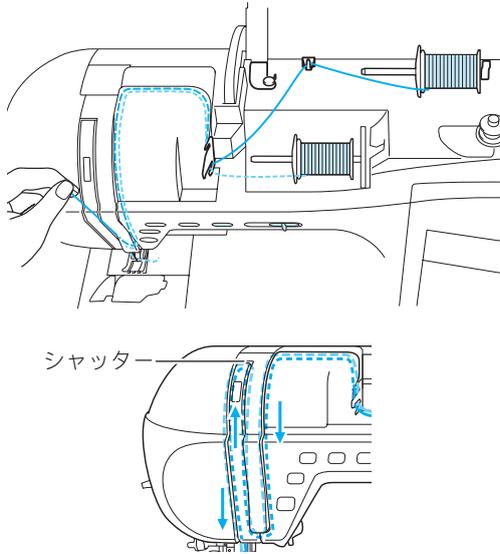
- 下糸巻き案内に糸をかけないように注意してください。



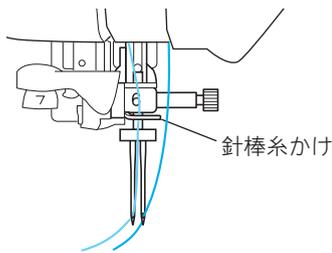
1

ぬい前の準備

- 7** 糸こまからの糸を両手で持ち、糸案内板に下から上へ糸をかけます。左手で糸端を持って矢印のようにミゾにそって糸を通します。



- 8** 針棒糸かけには糸をかけずに、右側の針に手で糸を通します。



お願い

糸通し装置は使用できません。針の手前から向こう側に、手で針穴に糸を通してください。糸通し装置を無理に使用すると故障の原因となります。

- 9** を押すか、画面の を押します。

- 10** 模様を選びます。

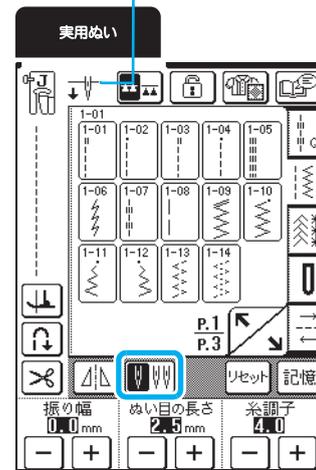
お願い

模様を選んだときに、 が薄く () 表示されている模様は、2本針でぬうことはできません。

- 11** を押して2本針の設定にします。

• 1本針の場合よりも振り幅がせまくなります。

1本針 / 2本針設定の表示



→ 1本針 / 2本針設定の表示が に変わります。

注意



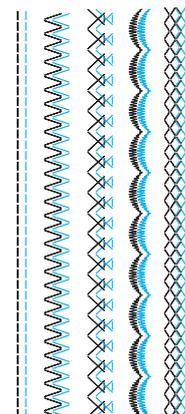
2本針を使用するときは必ず2本針の設定にしてください。2本針の設定になっていない状態で2本針を使用すると、針が折れ故障の原因となります。

- 12** 押えレバーを下げた後、スタート/ストップスイッチを押します。



お知らせ

2本針でぬう方向を変えるときは、針を布地から抜いてから押えレバーを上げ、布地を回します。



押えの交換



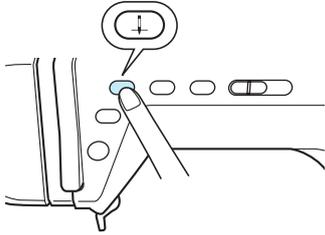
ぬい前の準備

注意

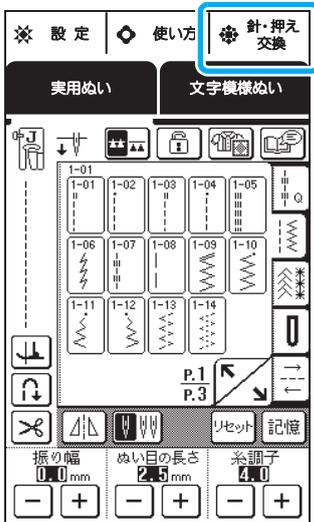
- 押えを交換する前に必ず **針・押え交換** を押してください。 **針・押え交換** が押されていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因となります。
- 模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。(巻末の「ぬい方早見表」参照)
- 必ず本機純正の押えを使用してください。その他の押えを使用するとケガや故障の原因となります。

押えを取り外す

1 針上下スイッチを押して針を上げます。



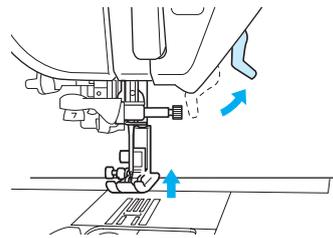
2 **針・押え交換** を押します。



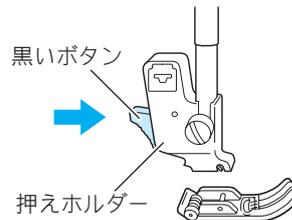
→ 画面が変わり、すべてのキーと操作スイッチがロックされます。



3 押えレバーを上げます。



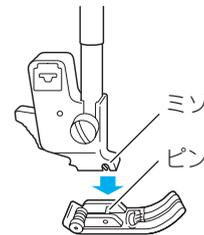
4 押えホルダーの黒いボタンを押して、押えを外します。



押えを取り付ける

1 押えホルダーのミゾと押えのピンが合うように押えを置き、押えレバーを下げます。

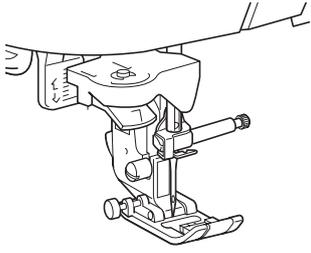
→ 押えのピンがミゾにはまります。



2 **針・押え交換** または **終了** を押します。

→ すべてのキーと操作スイッチがロック解除され、元の画面に戻ります。

- 3** 押えレバーを上げて、押えが確実に取り付けられていることを確認します。



針の交換



ぬい前の準備

注意



針を交換する前に必ず **針・押え交換** を押してください。 **針・押え交換** が押されていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチを押されると、ミシンが作動してケガの原因となります。



- 針は必ず家庭用ミシン針 (HA × 1) を使用してください。その他の針を使用すると、針折れや故障の原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。

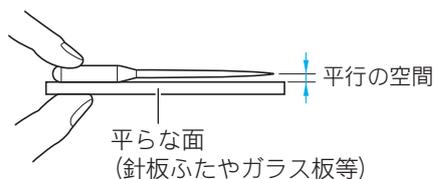
正しい針の見分け方

平らな物 (針板、ガラス板など) に針の平らな面を合わせ、すき間が平行かどうかを確認します。

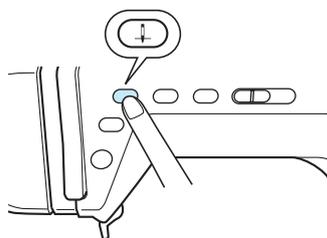


お願い

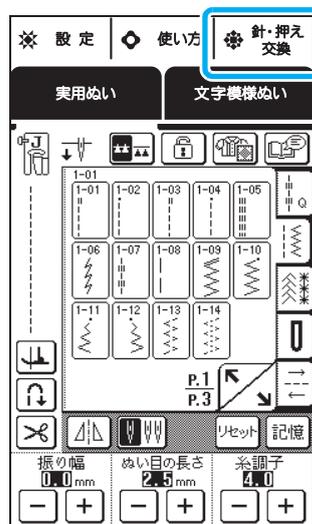
針先が曲がったり、つぶれているものは使用しないでください。



1 針上下スイッチを押して針を上げます。



2 **針・押え交換** を押します。



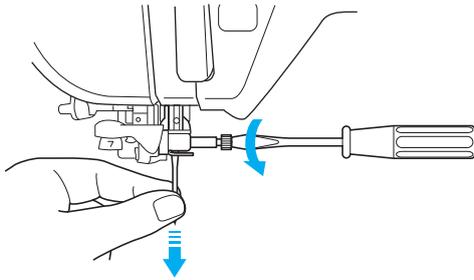
→ 画面が変わり、すべてのキーと操作スイッチがロックされます。



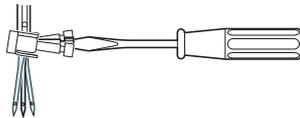
3 押えの下に布または紙を置いて針板の穴をふさぎます。

お願い
針を交換する前に、押えの下に布や紙を置いて、針が針板の穴から下へ落ちないようにしてください。

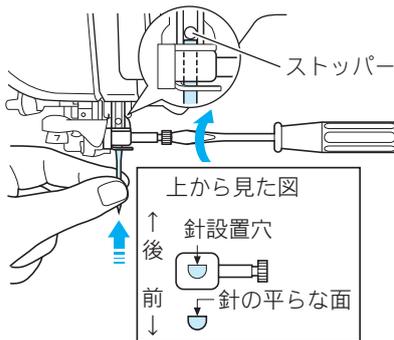
4 左手で針を持ちながら、付属のドライバーで針止めネジを手前に回してゆるめ、針を抜きます。



お願い
とめネジをゆるめたりしめたりするときは、大きな力を加えないでください。故障の原因となります。



5 新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、ストッパーに当たるまで差し込みます。ドライバーでとめネジをしっかりとしめます。



注意

針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、とめネジを付属のドライバーで確実にしめてください。針が正しく取り付けられていないと、針折れや故障の原因となります。

6  または  を押します。

→ すべてのキーと操作スイッチがロック解除され、元の画面に戻ります。

針の種類と使い分け

ミシン針は布地や糸の太さによって使い分けます。次の表を参考にして、布地に合った糸と針を選んでください。

お知らせ
糸は数字が小さいほど太く、針は数字が大きいほど太くなります。

布地の特徴・種類	ミシン糸		針の種類	
	種類	太さ		
普通地	ブロード	綿糸	60 ~ 90	11 ~ 14
	タフタ	合繊糸		
	フラノ ギャバシン	絹糸	50	
薄地	ローン	綿糸	60 ~ 90	9 ~ 11
	ジョーゼット	合繊糸		
	ポーラ	絹糸	50	
厚地	デニム	綿糸	30	16
			50	
	コーデュロイ ツイード	合繊糸 絹糸	50 ~ 60	14 ~ 16
のびる布地	ジャージ	ニット用糸	50 ~ 60	ゴールデン針 11
	トリコット			
ほつれやすい布地		綿糸	50 ~ 90	9 ~ 14
		合繊糸		
		絹糸	50	
ステッチ糸の場合		合繊糸	50	14 ~ 16
		絹糸		

ゴールデン針

伸縮性のある布地や目がとびやすい布地に使用します。

ナイロン透明糸

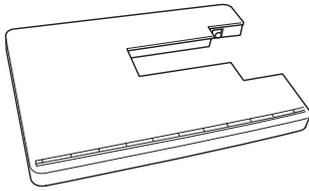
布地や糸にかかわらず 14 ~ 16 番の針を使用してください。

注意

布地と糸と針の組み合わせは、上の表に従ってください。組み合わせが適切でない場合、ぬい目がふぞろいになり、ぬいじわや目とびの原因となります。特に厚い布地（デニム等）を細い針（9 ~ 11 番）でぬうと、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

大きい布をぬう

ワイドテーブルを使用すると、大きい布の縫製がしやすくなります。



⚠ 注意



ワイドテーブルを取り付けたままミシンを移動しないでください。破損やケガの原因となります。



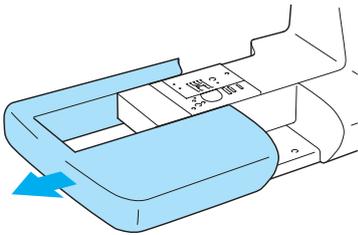
ワイドテーブルをアイロン台などの他の目的で使用しないでください。破損やケガの原因となります。

1 ワイドテーブル裏面の脚を起こします。

4本の脚をカチッと音がするまで引き上げます。



2 電源を切り、補助テーブルを左へ引いて取り外します。

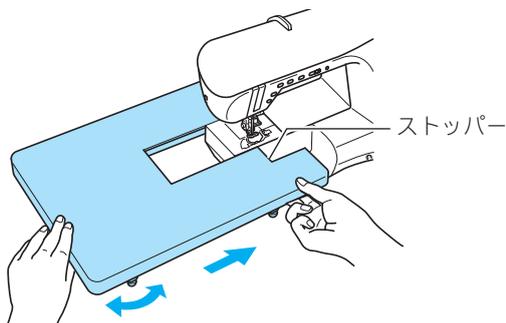


→ フリーアームの状態になります。

3 ワイドテーブルを取り付けます。

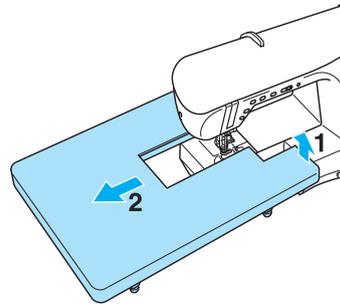
水平にして、ストッパーが差し込まれるまで、ゆっくりと取り付けます。

脚の先端のゴム足を回して高さを調節します。ワイドテーブルの高さが、針板面と同じ高さか、少し低くなるようにします。



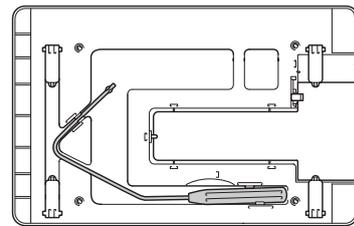
4 使い終わったら、ワイドテーブルをゆっくりと外します。

ワイドテーブルを少し持ち上げながら左へ引きます。



お知らせ

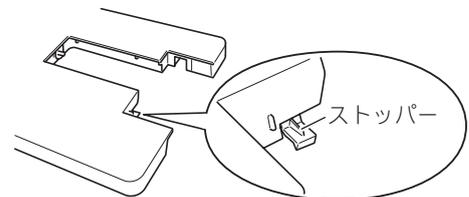
ニーリフターは、ワイドテーブルの裏面に取り付けて収納できます。



5 補助テーブルを元の位置に取り付けます。

⚠ 注意

ワイドテーブルを無理に押し込んだり、ひっぱったりしないでください。ストッパーが破損するおそれがあります。



ぬう前の準備



第 2 章 基本操作

基本のぬい方	42
ぬってみましょう	42
■フットコントローラーを使用する	43
■ニーリフターを使用する	44
ほつれ止めをする	44
カーブをぬう	44
ぬい方向を変える	45
■5mm 以下のぬいしろでぬう場合	45
厚い布地をぬう	45
■押えの下に布地が入らない場合	45
■布地が送られない場合	45
面ファスナー（マジックテープ®）をぬう	46
薄い布地をぬう	46
伸びる布地をぬう	46
ビニールや皮をぬう	46
模様の設定	47
ジグザグの振り幅を調節する	47
ぬい目の長さを調整する	48
糸調子を調節する	48
■正しい糸調子	48
■上糸が強すぎる（下糸が表に出る）場合	49
■上糸が弱すぎる（上糸が裏に出る）場合	49
便利な機能	50
自動止めぬい／返しぬいをする	50
自動糸切りをする	50
ピボット設定	51
自動押え圧補正	52
画面をロックする	53

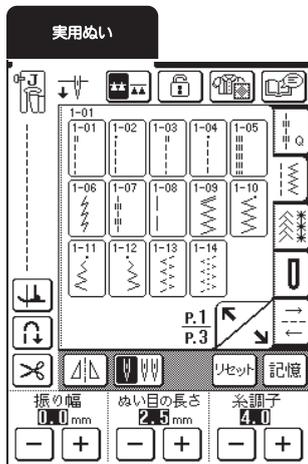
基本のぬい方

⚠ 注意

- ミシン操作中は、針の動きに十分にご注意ください。また、針、プーリー、天びんなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
- 押えの交換は、必ず  を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。
- 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押しすぎたりしないでください。ケガの原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
- ぬう際には、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。
- ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

ぬってみましょう

- 電源スイッチを入れ、針上下スイッチを押して針を上げます。
- 模様を選びます。



→ 液晶画面の左上に正しい押えが表示されます。

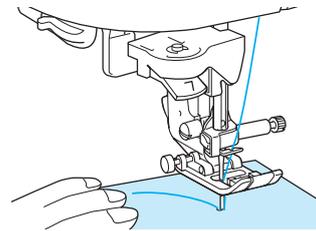
- 押えを取り付けます。(P.35 参照)

⚠ 注意

- 模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。

- 布地を押えの下に置き、左手で布地と糸端を押さえ、プーリーを回してぬい始め位置に針をさします。

- <J>押えの左側の黒いボタンは、布地が送られないときや布地に段差があるときに使います。(P.45 参照) 通常は黒いボタンを使わずにぬいめます。

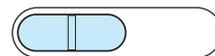


- 押えレバーを下げます。
- スピードコントロールレバーでぬう速さを調節します。

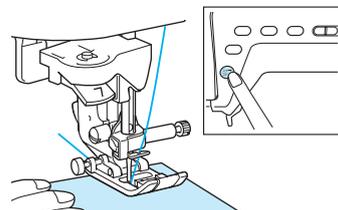
📖 お知らせ

ぬっている途中でも、ぬう速さを調節することができます。

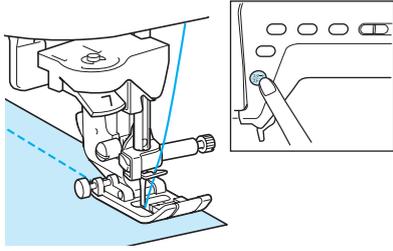
ゆっくり ← → はやく



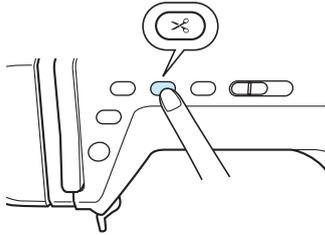
- 布地に軽く手を添え、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。



- 8 ぬい終わったらもう一度スタート/ストップスイッチを押します。



- 9 糸切りスイッチを押して糸を切ります。



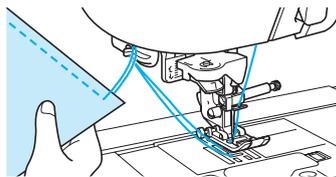
→ 自動的に針が上位置に戻ります。

注意

- 糸を切った後は、糸切りスイッチを押さないでください。糸がからまったり、針折れやミシンの損傷の原因となります。
- 押えの下に布地がないときや、ミシンが動いているときは糸切りスイッチを押さないでください。糸がらみや故障の原因となります。

お願い

ナイロン糸など特殊な糸を切る場合は、本体側面の糸切りを使用してください。



- 10 針が完全に止まったら、押えを上げ布地を取り出します。

お知らせ

布地を取り出しやすくするため、糸切りスイッチを押すと自動的に送り歯が下がります。ぬい始めると、送り歯は上がります。

お願い

このミシンには下糸残量センサーが付いています。下糸が少なくなるとミシンは自動的に止まり、画面にメッセージが表示されます。その場合は、早めに下糸を補充してください。ただし、スタート/ストップスイッチを押すと数針ぬうことができます。

■ フットコントローラーを使用する

フットコントローラーで操作できます。

注意



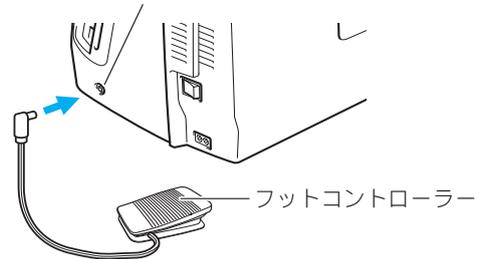
フットコントローラーに糸くずやほこりなどがたまらないようにしてください。火災・感電の原因となります。

お知らせ

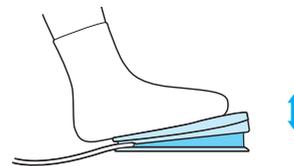
フットコントローラージャックにフットコントローラーのプラグが差し込まれているときは、スタート/ストップスイッチは使用できません。

- 1 本体左側面のフットコントローラージャックにプラグを差し込みます。

フットコントローラージャック



- 2 ゆっくりとフットコントローラーを踏み、ぬい始めます。



お知らせ

スピードコントロールレバーで設定した速度が、フットコントローラーを踏み込んだときの最高速度になります。

- 3 フットコントローラーから足を離すと、ミシンは停止します。



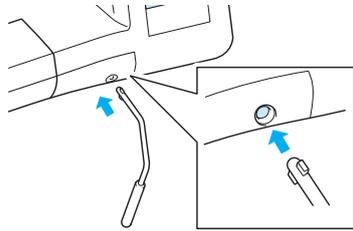
2

基本操作

■ ニーリフターを使用する

ニーリフターを使うと、ひざで押えの上げ下げができ、両手が使え便利です。

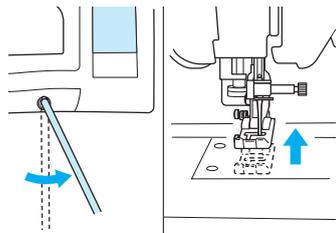
- 1 ニーリフターの先端の突起部をミシン本体の前面にある差し込み穴のミゾに合わせ、ニーリフターを押し込みます。



お願い

ニーリフターが十分に押し込まれていないと、使用中に外れることがあります。

- 2 押えを上げるときは、ニーリフターをひざで右に押します。押えを下げるときは、ニーリフターからひざを放します。



⚠ 注意

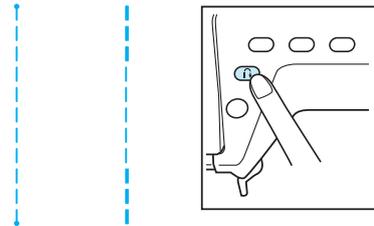


縫製中は、ニーリフターにひざが触れないように注意してください。縫製中にニーリフターを押すと、針が折れたり、糸調子が変わる可能性があります。

ほつれ止めをする

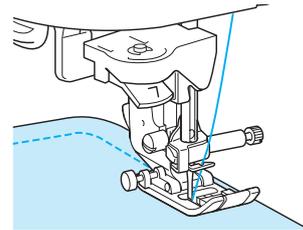
一般的にぬい始めとぬい終わりにはほつれ止めが必要です。ほつれ止めをするには、返しぬいスイッチを押します。

返しぬいスイッチを押している間、模様によって止めぬいまたは返しぬいをします。押しつづけている間、止めぬいの場合は同じ場所で3～5針ぬってから止まります。返しぬいの場合は逆方向に低速でぬいます。また、このミシンは自動止めぬい/返しぬいを設定することができます。(P.50 参照)



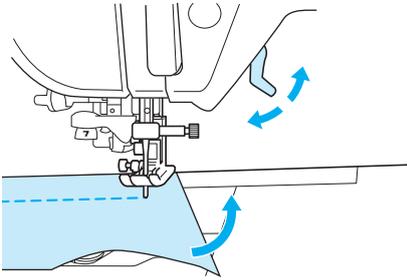
カーブをぬう

ぬい目と布端が平行になるように、ミシンを止めて少しずつ布地の向きを変えながらぬいます。



ぬい方向を変える

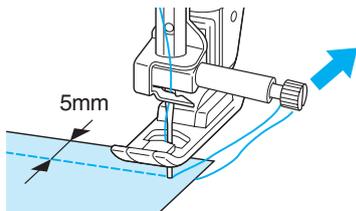
方向を変える位置でミシンを止め、針を布地にさしたまま押えを上げます。針を軸にして布地を回し、再び押えを下げてぬい始めます。



ぬい方向を変えるときは、ピボット設定を選択しておくくと便利です。布の角でミシンを止めたときに、針が布にさされた状態で止まり自動的に押えが上がるため、布を回転させやすくなります。(P.51 参照)

■ 5mm 以下のぬいしろでぬう場合

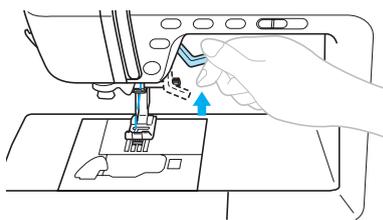
角部にしつけ糸を付け、方向を変えたらしつけ糸を後ろに引っ張りながらぬいます。



厚い布地をぬう

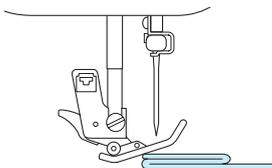
■ 押えの下に布地が入らない場合

押えレバーをさらに上に上げると、押えがもう一段階上がります。(押えレバーは固定されません。)



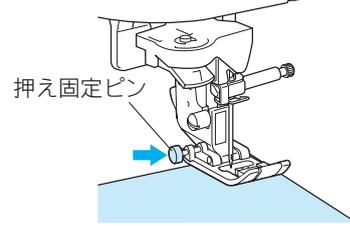
■ 布地が送られない場合

ぬい始めに布地が送られないときや布地に段差があって送られない場合は、< J > 押えの押え固定ピン (左側の黒いボタン) を使います。

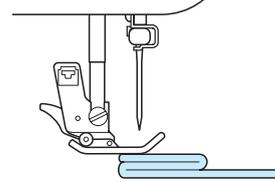


1 押えレバーを上げます。

2 < J > 押えの押え固定ピン (左側の黒いボタン) を押したまま、押えレバーを下げます。



- 押えが水平になり、布地が送られます。ぬい進めると押えはもとに戻ります。

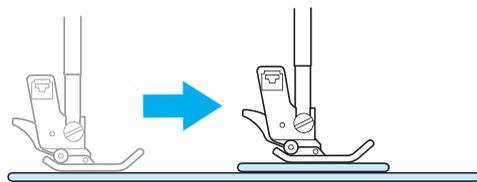


⚠ 注意

6mm 以上の厚物をぬったり、無理に布地を押しこんだりすると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

📖 お知らせ

設定画面で「自動押え圧補正」を「ON」にすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取ります。スムーズに布送りができ、きれいに仕上げることができます。(P.52 参照)



2

基本操作

面ファスナー (マジックテープ®) をぬう

⚠ 注意



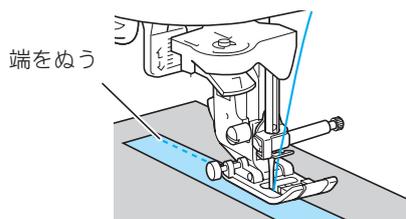
- 面ファスナーは、のりが付いていない縫製用のものを使用してください。のりが針やかまに付着すると、故障の原因となります。
- 面ファスナーを細い針 (9 ~ 11 番) でぬうと、針が折れたり曲がったりする恐れがあります。



お願い

ミシンでぬう前に、しつけをして面ファスナーと布をぬい合わせておいてください。

プーリーを手で回して面ファスナーに針をさし、針がスムーズに通ることを確認してから、面ファスナーの端を低速でぬいます。針が通らない場合は、厚地用の針と糸 (P.38 参照) に交換してください。

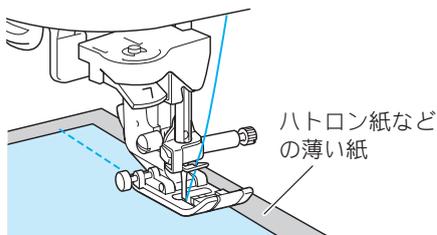


お知らせ

“マジックテープ®” は、株式会社クラレの、面ファスナーの登録商標です。

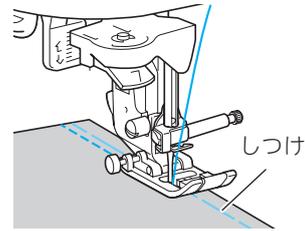
薄い布地をぬう

アイロンスプレーのりを使ってアイロンをかけたり、布地の下にハトロン紙などの薄い紙または接着芯を敷いてぬうと、ぬいやすくなります。紙や接着芯を敷く場合は、ぬい終わった後にていねいに取り除きます。

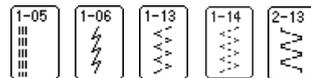


伸びる布地をぬう

あらかじめしつけをして、布地を引っ張らないようにぬいます。

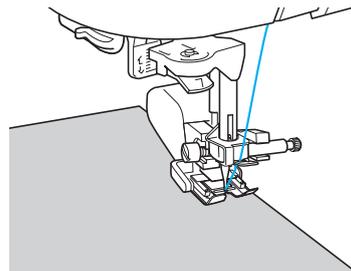


また、ニット用の糸を使用したり伸縮ぬいを使用すると、きれいにぬうことができます。



ビニールや皮をぬう

ビニールコーティングや皮革など、押えに貼り付いてぬいにくい素材には、別売りのウォーキングフットを使用します。



模様の設定

ジグザグの振り幅やぬい目の長さ、上糸調子は、あらかじめ模様ごとに標準値に設定されています。この設定は、必要に応じて変更することができます。

お願い

- 模様によっては、設定を変えられないものがあります。(巻末「ぬい方早見表」参照)
- 設定を変更したあとに、ミシンの電源スイッチを切ったり、他の模様を選択したりすると、もとの数値に戻ります。設定を記憶させておきたいときは、P.57「模様の設定を記憶する」を参照してください。



基本操作
2

ジグザグの振り幅を調節する

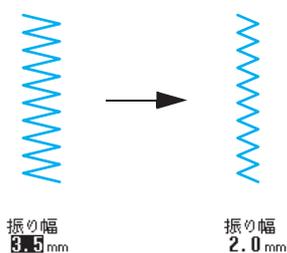
ジグザグの振り幅（模様の幅）を広くしたりせまくしたりすることができます。



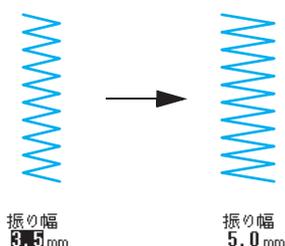
お知らせ

フットコントローラーを使うと、スピードコントロールレバーでジグザグの振り幅を調節することができます。(P.65 ④ ~ ⑧ 参照)

振り幅の **[-]** を押すごとに表示の数値が小さくなり、ジグザグの振り幅がせまくなります。



振り幅の **[+]** を押すごとに表示の数値が大きくなり、ジグザグの振り幅が広がります。



リセット を押すと、標準の設定に戻ります。

お知らせ

- **■ mm** と表示されているときは、設定を変更することができません。
- 直線模様（直線（左基線）、三重ぬい、しつけなど）を選択した場合は、模様の幅を変更すると針の位置が移動します。振り幅の **[+]** を押すと針は右に移動し、**[-]** を押すと針は左に移動します。詳細は P.71「針位置の変え方（左基線・中基線の模様）」を参照してください。
- ぬいながらスピードコントロールレバーで模様の振り幅を調節することもできます。P.65「サテンぬいのキルト」を参照してください。

注意



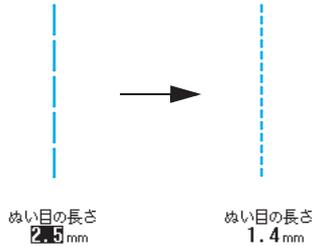
振り幅を調節したときは、プーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

ぬい目の長さを調整する

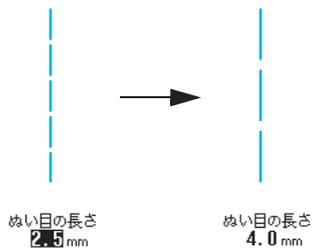
ぬい目の長さをあらくしたり細かくしたりすることができます。



ぬい目の長さの「-」を押すごとに表示の数値が小さくなり、ぬい目が細くなります。



ぬい目の長さの「+」を押すごとに表示の数値が大きくなり、ぬい目があらかくなります。



リセットを押すと、標準の設定に戻ります。



お知らせ

■ mm と表示されているときは、設定を変更することができません。

⚠ 注意



ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

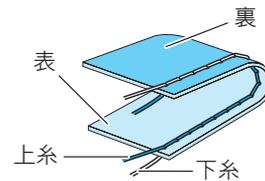
糸調子を調節する

通常は、布地や糸の種類に関係なく、自動的に標準の糸調子が取れるように設定されています。糸調子が合わないときや、ナイロン透明などの特殊な糸や素材を使用するときは、上糸の調子を調節します。



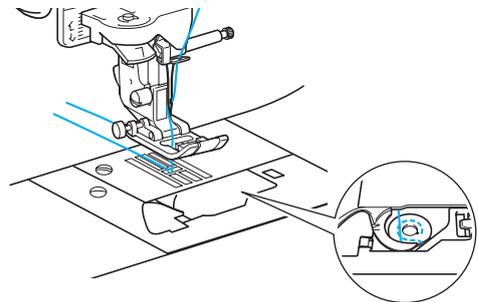
■ 正しい糸調子

上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。糸調子が正しく設定されていないと、ぬい目がきたなくなり、布地にしわがよることがあります。



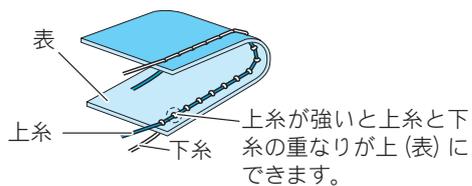
💡 お願い

下糸が正しくセットされていないと、上糸が強くなることがあります。上糸が強いときは、下糸のセットを再度行ってください。P.28「下糸をセットする」を参照してください。



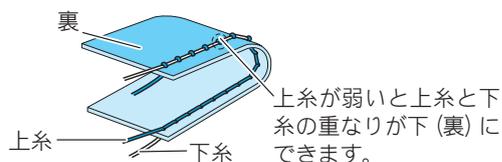
■ 上糸が強すぎる（下糸が表に出る）場合

糸調子の **[-]** を押します。押すごとに表示の数値が小さくなり、上糸が弱くなります。



■ 上糸が弱すぎる（上糸が裏に出る）場合

糸調子の **[+]** を押します。押すごとに表示の数値が大きくなり、上糸が強くなります。



リセット を押すと、標準の設定に戻ります。

💡 お願い

上糸が正しくセットされていないと、上糸が弱くなることがあります。上糸が弱いときは、上糸のセットを再度行ってください。P.30「上糸を通す」を参照してください。

📖 お知らせ

- 実際に使用される布や糸の種類によって糸調子は変わりますので、必ず試しぬいをして、糸調子を調節してください。
- 糸調子を極端に弱く設定すると、ミシンが途中で停止する場合がありますが、故障ではありません。正しい糸調子に合わせてぬい直してください。



2

基本操作

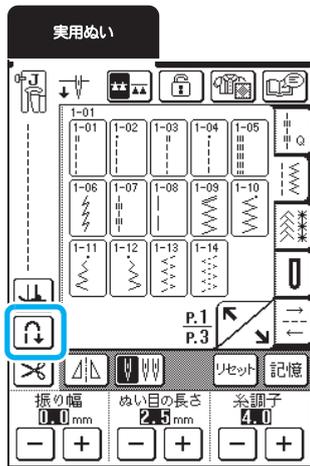
便利な機能

自動止めぬい／返しぬいをする

模様を選んだときに自動止めぬいを設定しておく、ぬい始めと返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をします。

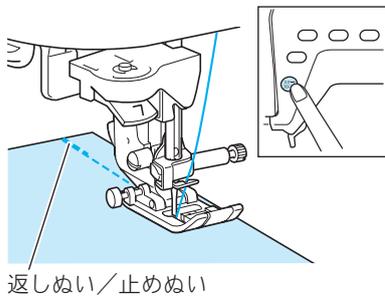
- 1 模様を選びます。
- 2  を押して、自動止めぬい／返しぬいを設定します。

お知らせ
ボタン穴かがりやかんどめなど、自動止めぬいが設定されている模様があります。

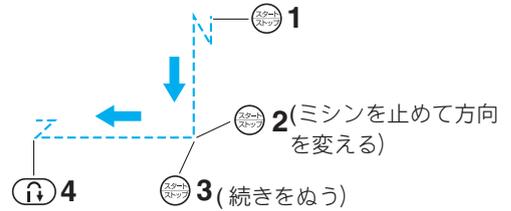


→ 表示が  に変わります。

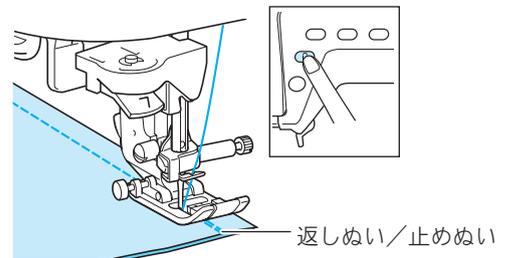
- 3 布地をぬい始めの位置に合わせてスタート／ストップスイッチを押すと、自動的に返しぬい／止めぬいをしてぬい始めます。



お知らせ
ぬっている途中でスタート／ストップスイッチを押して止めたあと、再びぬい始めた場合は返しぬい／止めぬいをしません。



- 4 返しぬいスイッチを押すと、自動的に返しぬい／止めぬいをして止まります。



お知らせ

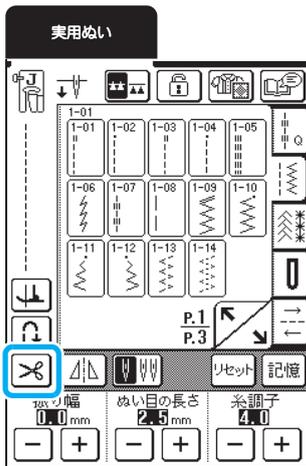
- 自動止めぬいを解除するときは、もう一度  を押します。表示が  に変わります。
- 電源を切ると、自動止めぬい／返しぬいの設定は解除されます。

自動糸切りをする

模様を選んだときに自動糸切りを設定しておく、返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をして糸を切ります。ボタン穴かがりやかんどめをぬうときに便利です。

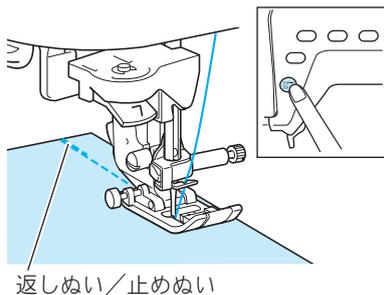
お知らせ
自動糸切りは、自動止めぬいを設定しているときに設定できます。

- 1 模様を選びます。
- 2  を押して、自動糸切りを設定します。



→   になり、自動糸切りと自動返しぬい/止めぬいが設定されます。

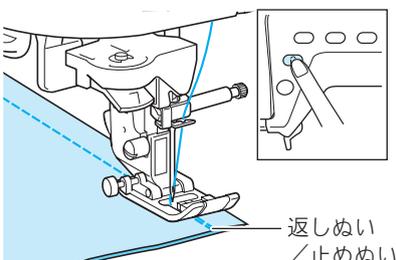
- 3 布地をぬい始めの位置に合わせてスタート/ストップスイッチを押すと、自動的に返しぬい/止めぬいをしてぬい始めます。



お知らせ

ぬっている途中でスタート/ストップスイッチを押して止めたあと、再びぬい始めた場合は返しぬい（または止めぬい）をしません。

- 4 返しぬいスイッチを押すと、自動的に返しぬい/止めぬいをして糸を切ります。



お知らせ

自動糸切りを解除するときは、もう一度  を押します。表示が  に変わります。

ピボット設定

ピボット設定を選択してスタート/ストップスイッチを押すと、針が下がった状態でミシンは停止し、押えは自動的に指定の高さに上がります。もう一度スタート/ストップスイッチを押すと、押えは自動的に下がり、続きをぬいます。この機能は、ミシンを止めて布地を回転させるときに便利です。

注意



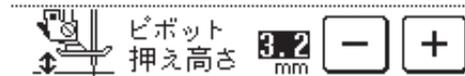
ピボット設定が選択されている場合、スタート/ストップスイッチやフットコントローラーを押すと、押えが上がっていてもミシンが作動します。**事故を防ぐために、針の付近に手や物を近づけないように注意してください。**

お知らせ

ピボット設定選択時のミシン停止中の押えの高さは、使用する布地の種類に合わせて、変更できます。

 を押して、設定画面 P.2 を表示します。

「ピボット押え高さ」の  または  を押して、3つの高さ（3.2mm、5.0mm、7.5mm）のいずれかを選びます。押えを高くするには、数値を大きくします。（通常、3.2mm に設定されています。）



お願い

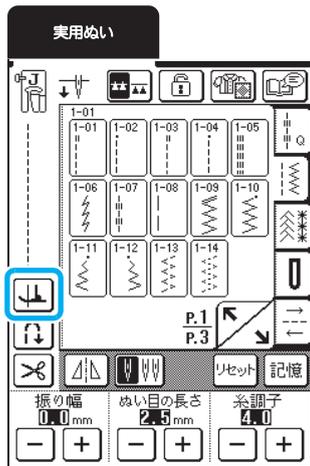
- 設定画面 P.1 の「針位置」が上に設定されている場合、ピボット機能は使用できません。
- 画面の左上に < J >、< N >、< C > または < O > 押えが表示されている模様にも、ピボット機能が使用できます。他の模様を選択すると、ピボットキーは薄く表示され、ピボット機能は使用できません。
- 自動糸切り機能を設定し、返しぬいキーを押して自動糸切りをすると、押えは完全に上がった状態になります。この場合は、押え上下スイッチを押して押えを下げてから、スタート/ストップスイッチを押して操作を続けます。



2

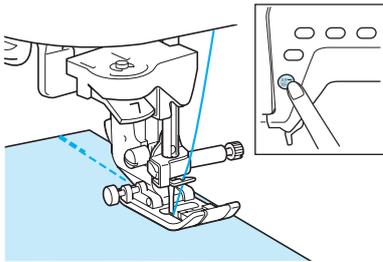
基本操作

- 1 模様を選びます。
- 2  を押して、ピボット設定を選択します。



→ 表示が  に変わります。

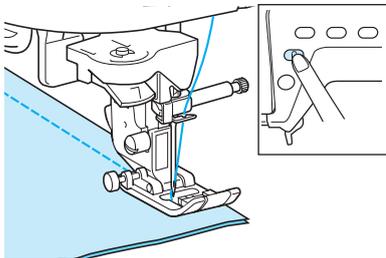
- 3 布地をぬい始めの位置に合わせ、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。



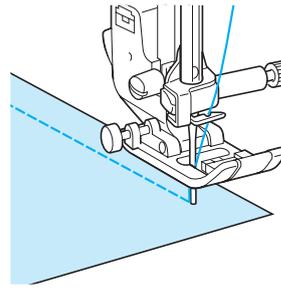
お知らせ

ぬっている途中でスタート/ストップスイッチを押して止めたあと、再びぬい始めた場合は返しぬい/止めぬいをしません。

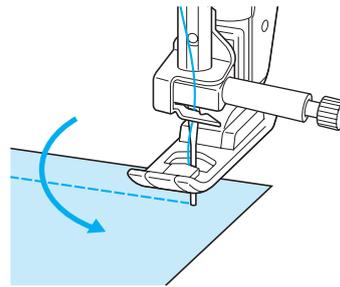
- 4 スタート/ストップスイッチを押して、方向を変える位置でミシンを止めます。



→ 針が布地にささった状態でミシンが止まり、押えが上がります。



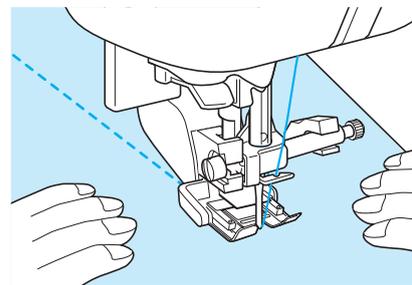
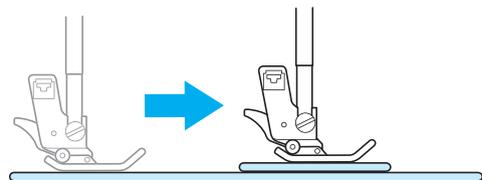
- 5 布地を回転して、スタート/ストップスイッチを押します。



→ 押えが自動的に下がり、ぬい始めます。

自動押え圧補正

縫製中、内蔵センサーが布地の厚さを感知し、自動的に押え圧を調節します。そのため、布地をスムーズに送ることができます。厚地や段差がある布地 (P.45)、キルト (P.63) をぬう場合に便利です。



- 1  設定 を押します。

→ 設定画面が表示されます。

- 2  を押して P.2 を表示し、「自動押え圧補正」を「ON」に設定します。



- 3  を押すと、元の画面に戻ります。

画面をロックする

振り幅やぬい目の長さなどの設定をロック（固定）することができます。画面をロックすると、大きな布や作品をぬう場合に、布が画面に触れて設定が変わったり、途中でミシンが止まったりすることを防ぎます。実用模様と文字模様ぬいの際に設定できます。

- 1 模様を選びます。
- 2 振り幅やぬい目の長さなどを設定します。
- 3  を押します。
→ 表示が  に変わります。
- 4 ぬい始めます。
- 5 ぬい終わったら、 を押して画面ロックを解除します。

お願い

- 画面がロックされると、 と



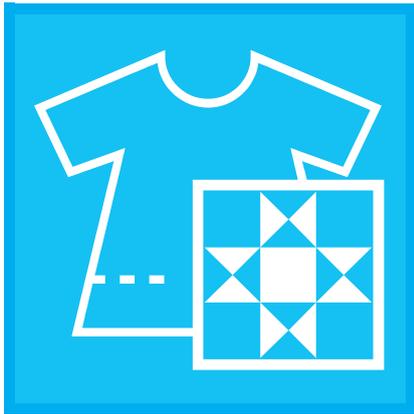
以外のキー操作はできません。模様を選び直したり、設定を変更する場合は、 を押して  にして画面ロックを解除してから操作してください。

-  のいずれかのキー操作をして、画面ロックは解除されます。
- 電源スイッチを切ると、画面ロックは解除されます。



2

基本操作



第 3 章

実用ぬい

実用ぬいの選び方	56	すそ上げをする	84
■ 模様選択画面	56	アップリケぬい	86
模様を選ぶ	57	■ 急なカーブをぬう場合	86
■ 模様を左右反転する	57	■ シェルタックぬい	86
模様の設定を記憶する	57	■ スカラップぬい	87
ぬい方キーを使って模様を選ぶ	58	■ つき合わせぬい	88
いろいろなぬい方	60	■ スモッキングぬい	88
キルトぬい	60	■ ファゴティングぬい	89
■ ピーシング	62	■ ゴムひもつけ	89
■ ガイド付ピーシング押えを使う	63	■ ヘアルーム	90
■ ウォーキングフットを使うキルトぬい	63	■ デイジーステッチ	90
■ キルターを使用する	64	■ ドロンワーク (1)	91
■ アップリケ	64	■ ドロンワーク (2)	91
■ サテンぬいのキルト	65	■ ボタン穴かがり	92
■ フリーモーションキルト	66	■ ぬい目のあらしきを変えるとき	95
■ オープントゥキルト押え<O>を使用する	67	■ 振り幅を変えるとき	95
■ エコーキルト	68	■ 伸びる布地をぬうとき	95
直線ぬい	70	■ ターニング (つくろいぬい)	96
■ 針位置の変え方 (左基線・中基線の模様)	71	■ かんどめ	98
■ 針板と針板カバーを基準にする場合	72	■ 厚地の場合	99
■ しつけぬい	72	■ ボタンつけ	100
■ 直線針板と直線押えを使用する場合	72	■ 4つ穴ボタンをつける	100
ダーツ	74	■ ボタン足をつける	101
ギャザー	75	■ アイレット	102
折り伏せぬい	76	■ 横送り (直線・ジグザグ)	103
ピンタック	76	■ ファスナーつけ	103
ジグザグぬい	77	■ つき合わせ	103
■ たちめかがり	77	■ 脇あき	104
■ アップリケ	78		
■ パッチワーク (クレイジーキルト)	78		
■ カーブをぬう場合	78		
■ コードガイドふたを使用する	78		
点線ジグザグぬい	79		
■ ゴムひもつけ	79		
■ たちめかがり	79		
たちめかがり	80		
■ たちめかがり押え<G>を使ったたちめかがり	80		
■ ジグザグ押え<J>を使ったたちめかがり	81		
■ サイドカッター押え<S> (別売) を使ったたちめかがり	82		

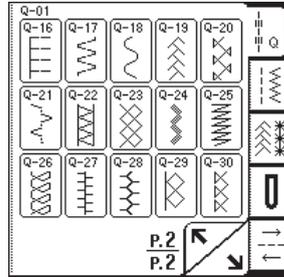
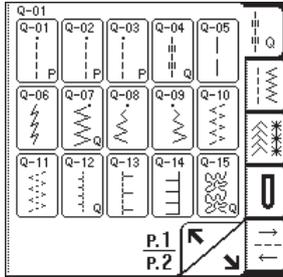
実用ぬいの選び方

■ 模様選択画面

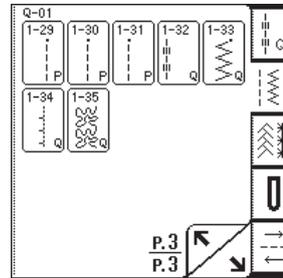
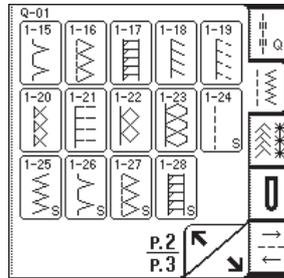
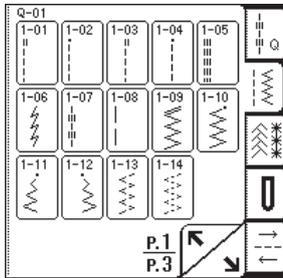


を押すと、前または次のページが表示されます。

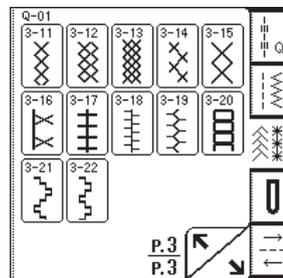
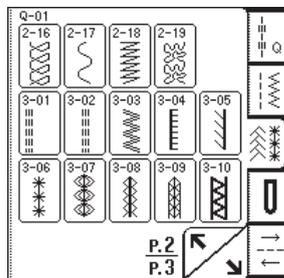
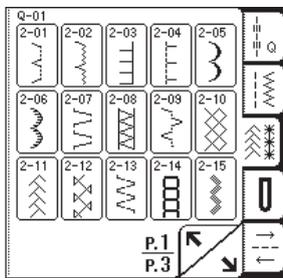
キルト模様



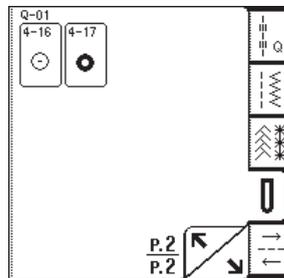
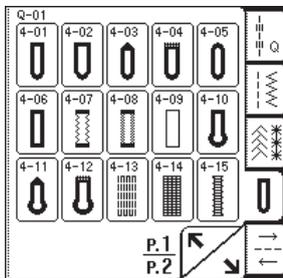
直線・たちめかがり・キルト模様



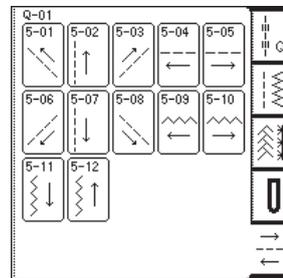
飾り模様・ヘアールーム



ボタン穴かがり・かんどめ



横送り模様

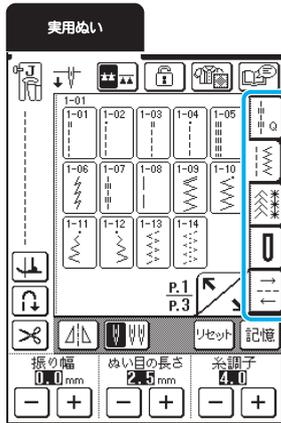


模様を選ぶ

1 電源スイッチを入れて、画面を指で軽く押します。

→ 設定に基づいて、「Q-01 ピーシング直線 (中基線)」、「1-01 直線 (左基線)」、「1-03 直線 (右基線)」のいずれかが自動的に選択されます。

2  を押してぬいたい模様の画面を表示し、模様を選びます。



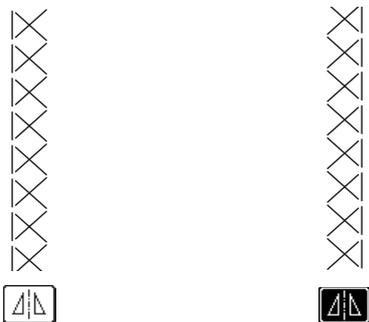
→ 選んだ模様が押え記号の下に表示されます。

 **お知らせ**
 模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

■ 模様を左右反転する

 を押すと、表示が  に変わります。選んだ模様が左右に反転します

 **お願い**
 模様を選んだときに、 が薄く  表示されている模様は、左右に反転することはできません (ボタン穴かがり、横送り模様など)。



模様の設定を記憶する

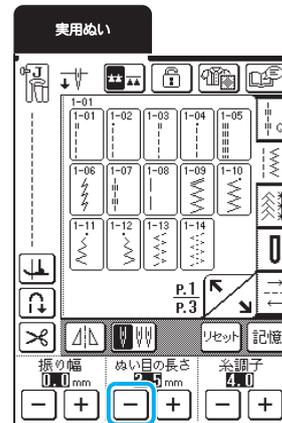
ジグザグの振り幅やぬい目の長さ・糸調子・自動糸切りや自動止めぬいなどは、あらかじめコンピュータにより模様ごとの標準値に設定されています。お好みの数値に設定しておきたいときは、設定した後に **記憶** を押すと、模様ごとに記憶することができます。

例) 直線のぬい目の長さを、いつも 2.0mm で使うには

1  を押し、直線模様を選びます。

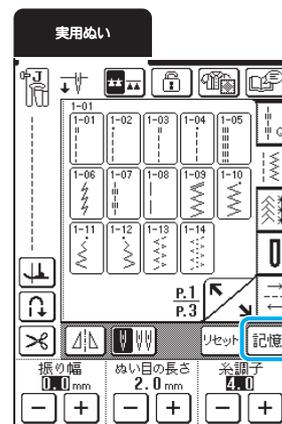
 **お知らせ**
 標準のぬい目の長さは 2.5mm です。

2 ぬい目の長さを 2.0mm に設定します。



3 **記憶** を押します。

• 元の標準設定に戻したいときは、**リセット** を押してから **記憶** を押します。



3

実用ぬい

 **お知らせ**

- 次に同じ直線模様を選んだときは、ぬい目の長さは 2.0mm に設定されています。
- 変更した設定だけでなく、模様のすべての設定（ジグザグの振り幅、ぬい目の長さ、糸調子、自動糸切り、自動止めぬい、左右反転、2本針の設定）が記憶されます。電源スイッチを切っても、同じ模様を選ぶと記憶された設定が表示されます。記憶された設定は、再度設定を変えて **記憶** を押すか、**リセット** を押して標準の設定に戻し、もう一度 **記憶** を押さない限り変わりません。

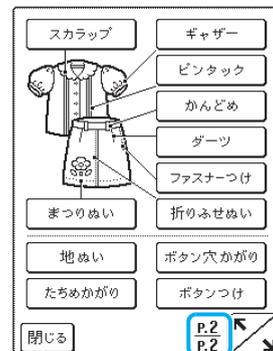
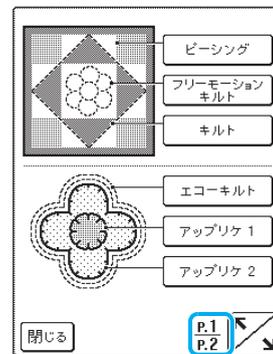
ぬい方キーを使って模様を選ぶ



実用ぬいでは、 を押して、ぬい方から模様を選択することもできます。どの模様を選んだらよいか分からない場合や、どのようにしてぬうのか分からない場合に、 を使うと用途に応じた適切な模様を選ぶことができ、操作手順を確認しながらぬうことができるのでとても便利です。初心者の方はこの方法で模様を選ぶことをお勧めします。

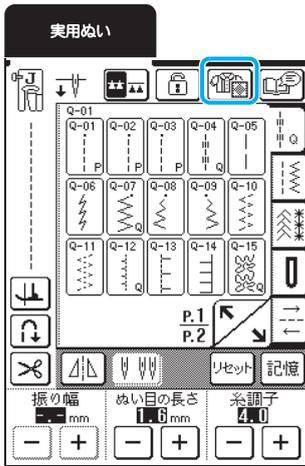
 **お知らせ**

 を、キルト模様選択画面を表示中に押すと P.1 が表示されます。実用模様選択画面を表示中に押すと、P.2 が表示されます。

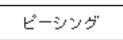


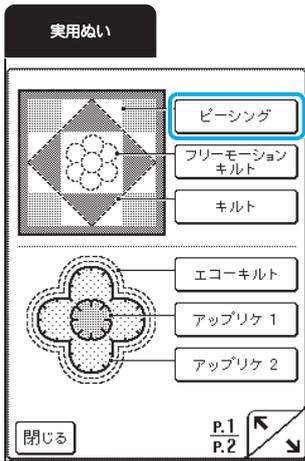
例) ピーシングをしたいとき

1 を押します。



→ ぬい方の一覧が表示されます。

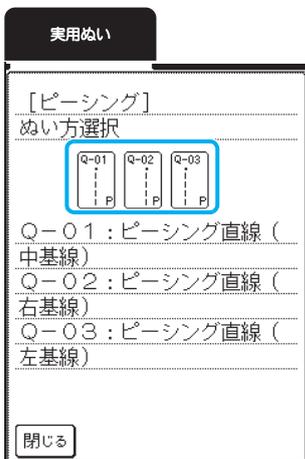
2 を押します。



→ ピーシング用の模様一覧が表示されます。

3 模様を選びます。

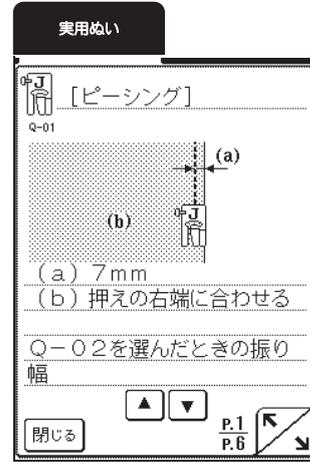
- を押すと、元の画面に戻ります。



→ 選んだ模様のぬい方の操作手順が表示されます。

4 操作手順に従って操作します。

- またはを押すと、矢印の方向にスクロールします。
- を押すと、次のページが表示されます。
- を押すと、元の画面に戻ります。



5 ぬい終わったら、を押します。



3

実用ぬい

いろいろなぬい方

キルトぬい

美しく実用的なキルトを簡単にすばやく仕上げることができます。ニーリフターやフットコントローラーを使用すると、両手が使えて便利です。(P.43「フットコントローラーを使用する」、P.44「ニーリフターを使用する」参照)

「Q-01」～「Q-30」の30個のキルト模様と模様キーに「P」または「Q」が表示されている実用模様が、キルトぬい用の模様です。

ぬい方	名前	押え		主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針**
					自動	手動	自動	手動	
	ピーシング直線 (中基線)			ピーシング用の直線です。	—	—	1.6	0.2 - 5.0	×
	ピーシング直線 (右基線)			ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が7mmでぬえるように針位置が設定されています。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 5.0	×
	ピーシング直線 (左基線)			ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が7mmでぬえるように針位置が設定されています。	2.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 5.0	×
	手ぬい風直線 (中基線)			上系にナイロン透明糸、下系にキルトに合った色の糸を使うと手ぬい風のキルト直線になります。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	しつけぬい (中基線)			振り止めに使用します。	3.5	0.0 - 7.0	20.0	5.0 - 30.0	×
	伸縮ぬい			伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	1.0	1.0 - 3.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	ジグザグ			アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンぬいなどに使用します。	3.5	0.0 - 7.0	1.6	0.0 - 4.0	×
	ジグザグ (右基線)			右の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると右を基線にして振り幅が変わります。	3.5	2.5 - 5.0	1.6	0.3 - 4.0	×
	ジグザグ (左基線)			左の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると左を基線にして振り幅が変わります。	3.5	2.5 - 5.0	1.6	0.3 - 4.0	×
	2点ジグザグ			普通地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくるいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	×
	3点ジグザグ			普通地、厚地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくるいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	×
	アップリケ			アップリケやバインディングをするときに使用します。	2.0	0.5 - 5.0	2.0	1.0 - 4.0	×

*—: 調節できません。 ** ×: 使用できません。

ぬい方	名前	押え		主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針**
					自動	手動	自動	手動	
	シェルタック			シェルタックは貝殻を直線状にならべたような円弧状のひだを作るもので、ふち取りなどに用いるほか、ブラウス、ワンピースなどの胸元や袖に飾りぬいとして使用します。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 4.0	×
	アップリケ			アップリケに使用します。	3.5	2.5 - 7.0	2.5	1.6 - 4.0	×
	キルティング模様			キルトで背景を埋めるときに使用します。	7.0	1.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり			伸びる布地のたちめかがりに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	4.0	1.0 - 4.0	×
	ゴムひもつけ			伸びる布地にゴムひもをつけるときに使用します。	5.5	0.0 - 7.0	1.4	0.2 - 4.0	×
	飾りぬい			飾りぬいやゴムひもつけに使用します。	5.0	1.5 - 7.0	2.0	0.2 - 4.0	×
	ファゴティング			ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる手法で、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	ファゴティング			ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる手法で、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0	2.5 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	つき合わせ			コードなどを使った飾りぬい、パッチワークや飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.2	0.2 - 4.0	×
	つき合わせ			パッチワークや飾りぬいに使用します。	5.0	2.5 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	スモッキング			スモッキングや飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	飾りぬい			飾りぬいやアップリケに使用します。	6.0	1.0 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	×
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	5.5	0.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0	1.5 - 7.0	2.0	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい			つき合わせや飾りぬいに使用します。	6.0	1.5 - 7.0	2.0	1.5 - 4.0	×

*一：調節できません。 ** ×：使用できません。



3

実用ぬい

ぬい方	名前	押え		主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針**
					自動	手動	自動	手動	
	たちめかがり			伸びる布地のたちめかがりに使用します。	6.0	1.0 - 7.0	3.0	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり			伸びる布地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	4.0	1.0 - 4.0	×
	ピーシング直線 (右基線)			ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が 7.0mm でぬえるように針位置が設定されています。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 5.0	×
	ピーシング (中基線)			ピーシング用の直線です。	—	—	1.6	0.2 - 5.0	×
	ピーシング直線 (左基線)			ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が 7.0mm でぬえるように針位置が設定されています。	2.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 5.0	×
	手ぬい風直線			上系にナイロン透明糸、下系にキルトに合った色の糸を使うと手ぬい風のキルト直線になります。ぬうときは上系の調子を強くしてぬいます。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	ジグザグ			アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンぬいなどに使用します。	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 4.0	×
	アップリケ			アップリケやバイディングをするときに使用します。	1.5	0.5 - 5.0	1.2	1.0 - 4.0	×
	キルティング模様			キルトで背景を埋めるときに使用します。	7.0	1.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×

* — : 調節できません。 ** × : 使用できません。

⚠ 注意



- 押えの交換は、必ず を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。

■ ピーシング

ピーシングとは、布と布をぬい合わせることをいいます。正確にピーシングを行うために、ぬいしろを 7mm つけて裁断してください。



お知らせ

ぬいしろの幅を変える場合は、振り幅の値を変えて針位置を調節してください。

1

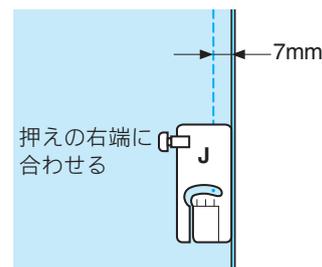
または を押し、<J> 押えを取り付けます。

2

押えの端に布端を合わせてぬいます。

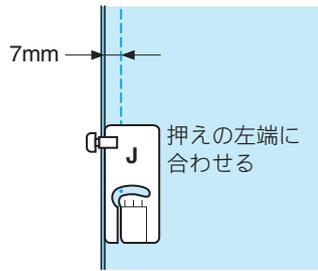


を選んだ場合の振り幅





Q-03
P
を選んだ場合の振り幅



お知らせ

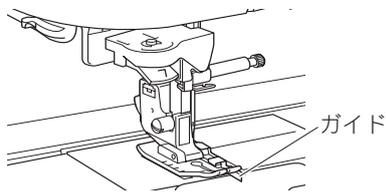
- 振り幅の値は針位置を示します。ぬいしろの幅ではありません。
- 針位置を変えたいときは、振り幅の **+** または **-** を押して調節してください。
- お好みのぬい目の長さや針位置に変えたときは、設定を記憶させると便利です。(P.57 参照)

■ ガイド付ピーシング押えを使う

このキルト押えを使うと、6.4mm または 3.2mm のぬいしろで正確にぬうことができます。キルトのピーシングや、飾りぬいに使うことができます。

1

Q-01
P
を押し、次にガイド付ピーシング押えを取り付けます。

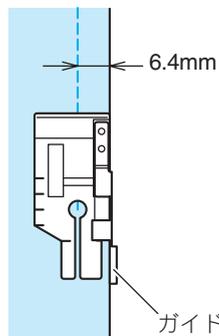


2

押えのガイドとしるしを使うと、正確なぬいしろで仕上がります。

ぬいしろ 6.4mm のピーシング

布端をガイドに当てながら、ぬいます。



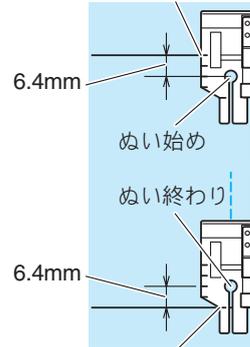
お知らせ

布の正確な置き方については、P.72「針板と針板カバーを基準にする場合」を参照してください。

角のぬいしろを正確に仕上げる

ぬい始め、ぬい終わり、布地の回転時の針位置を、布端から 6.4mm の位置に合わせます。

このしるしに布端を合わせて、ぬい始めます。



ぬい終わりや布地を回転するときは、このしるしに布端を合わせてミシンを止めます。

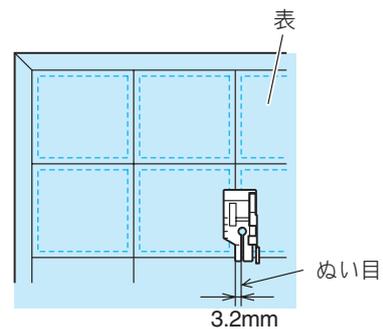


お知らせ

ピボット設定については、P.51 を参照してください。

3.2mm の飾りぬいキルト

布端を押えの左端に合わせて、ぬいます。



■ ウォーキングフットを使うキルトぬい

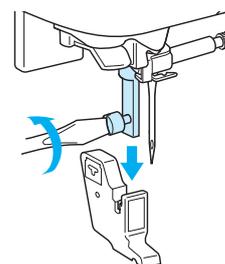
キルトぬいとは、トップ布、キルト芯、裏布をぬい合わせることをいいます。ウォーキングフットを使うと、トップ布、キルト芯、裏布のぬいずれを防ぐことができます。ウォーキングフットにはミシンの送り歯に連動する送り歯があり、布地をはさみこみながら布を送ります。

1

押えを外します。(P.35 参照)

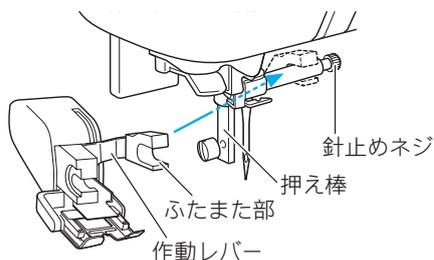
2

付属のドライバーで押えホルダーのネジを緩め、押えホルダーを外します。

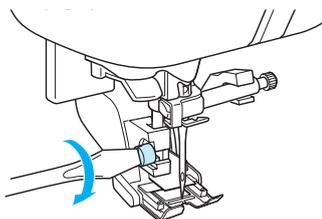


実用ぬい

- 3** ウォーキングフットの作動レバーのふたまた部で針止めネジの棒を後ろからはさみ、ウォーキングフットを押え棒に取り付けます。



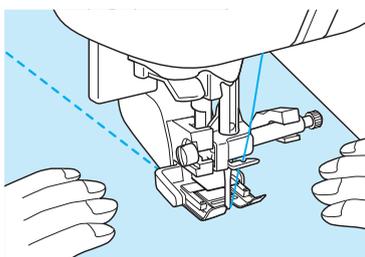
- 4** 押えレバーを下げ、押えホルダーのネジを付属のドライバーで確実にしめます。



- 5** 両手で布を押さえながらぬいます。

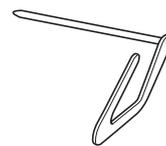
お願い

- ぬう速度は、中～低速度にしてください。
- 返しぬいはしないでください。また、横送りや返し送りをする模様は使わないでください。
- ぬい始める前に、必ずキルト面をしつけ止めしてください。キルト専用のミシン針、ミシン糸も市販されています。
- 設定画面で「自動押え圧補正」を「ON」にすると、布送りがスムーズになりきれいに仕上げることができます。自動押え圧補正については、P.52を参照してください。



■ キルターを使用する

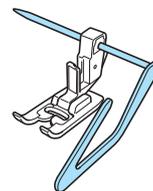
キルターを使用すると、ぬい目を平行にそろえて等間隔にぬうことができます。



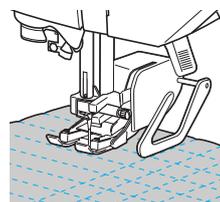
- 1** ウォーキングフットまたは押えホルダーの穴に、キルターの棒を差し込みます。
ウォーキングフット



押えホルダー



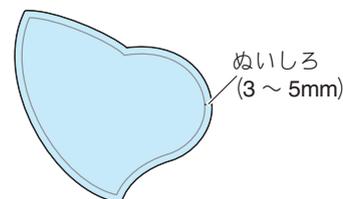
- 2** ぬい終わったぬい目とキルターのガイドが合うように、棒の長さを調節します。



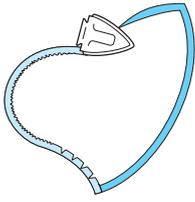
■ アップリケ

上糸にナイロン透明糸を使うと、ぬい目を目立たなく仕上げることができます。

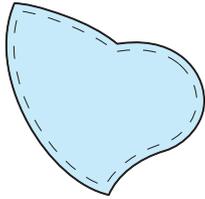
- 1** アップリケ布に3～5mmのぬいしろをつけて裁断します。



- 2 アププリケ布の裏に厚紙の型紙を置き、アイロンでぬいしろを内側に折ります。カーブの部分は、必要に応じて切り込みを入れます。

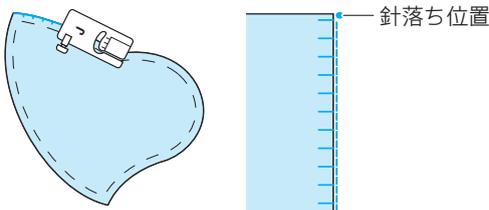


- 3 型紙を取り除き、アププリケ布を表に戻します。しつけまたはまち針で、土台布に留めます。



- 4  を押し、< J > 押えを取り付けます。

- 5 針落ち位置を確認し、針がアププリケ布の端よりもわずかに外側に落ちるようにまわりをぬいます。



注意



ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりしするおそれがあります。

■ サテンぬいのキルト

フットコントローラーを使用してぬいます。スピードコントロールレバーで振り幅を調節することにより、微妙に振り幅を変化させながらサテン模様をぬうことができます。

- 1 フットコントローラーを取り付けます。(P.43 参照)

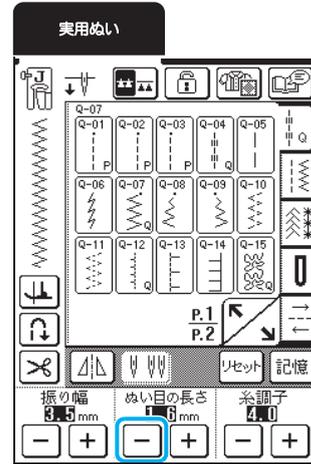
- 2  を押し、< J > 押えを取り付けます。

- 3 ぬい目の長さの  を押して、ぬい目を細かくします。



お知らせ

ぬい目の長さを 0.3 ~ 0.5mm に設定すると、きれいなサテン模様になります。(ぬい目の設定は、布地の種類や糸の太さによって異なります。)



- 4  を押します。

- スピードコントロールレバーをジグザグの振り幅調節レバーに切り替えます。

- 5 「振り幅コントロール」の「ON」を押します。

- ぬう速さはフットコントローラーで調節します。



- 6  を押します。



3

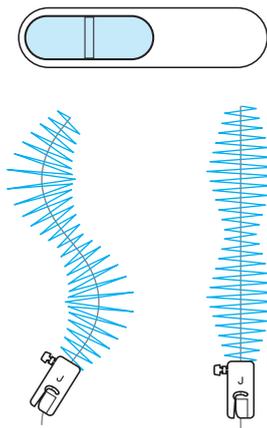
実用ぬい

7 ぬいながら、スピードコントロールレバーを左右に動かして振り幅を調節します。

お知らせ

- スピードコントロールレバーを左に動かすと幅はせまくなり、右に動かすと幅は広くなります。
- 振り幅は、中心を基線にして左右均等に変わります。(「Q-08」と「1-11」は右側を、「Q-09」と「1-12」は左側を基線にして変わります。)

狭くなる ← → 広くなる



8 ぬい終わったら、「振り幅コントロール」を「OFF」に戻します。

■ フリーモーションキルト

フリーモーションキルトは、ぬう模様によってフリーモーションキルト押え<C>またはオープンキルト押え<O>を使用し、ミシンをフリーモーションモードに設定してぬいます。フリーモーションモードにすると、自動的に送り歯が下がり、布地を自由に動かすことができます。押えはフリーモーションぬいに最適な高さになります。フットコントローラーを取り付けて、一定の速度でぬうことをお勧めします。

フリーモーションキルト押え<C>を使用する

フリーモーションキルト押え<C>は、直線ぬいを使用するフリーモーションぬいに使います。模様は、直線（中基線）の「Q-01」または「1-30」を選んでください。

フリーモーションキルト押え<C>



注意

- フリーモーションキルトでは、布を送る速度がぬう速度に合うように調節します。ぬう速度よりも速く布地が動くと、針が折れたり、他の損傷が起きるおそれがあります。
- フリーモーションキルト押え<C>を使用する場合、模様は「Q-01」または「1-30」を選択して針位置を中央にしてぬうようにしてください。針が中央（中基線）以外の位置にあると、針が折れて、ケガの原因となります。

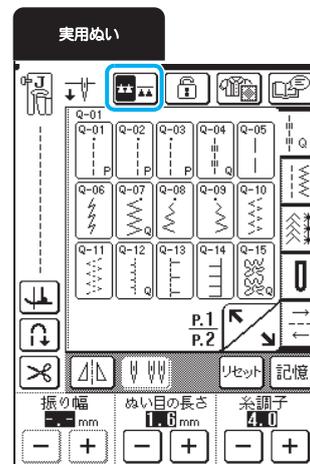
お知らせ

- ぬい始めに内蔵されたセンサーが布地の厚さを感知し、設定画面で指定した高さにキルト押えが上がります。[* 設定]を押して設定画面 P.2 を表示し、「フリーモーション押え高さ」の「-」または「+」を押して、キルト押えを上げる高さを設定します。(P.21 参照) たとえば、やわらかい布地や厚い布地をぬう場合は、数値を高く、薄い布地の場合は数値を低く設定するとぬいやすくなります。



- バランスのとれた糸調子でぬうには、上糸の調節が必要です。(P.48 参照) ぬい始める前に、使用する布地と同質の布地で試しぬいをしてください。

1 [*]を押して送り歯を下げ、ミシンをフリーモーションモードに設定します。



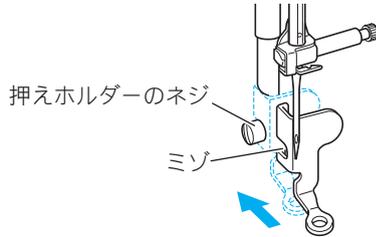
→ 表示が[*]に変わります。送り歯が下がり、押えは指定した高さになります。

2  または  を押します。

→ 画面の左上に、フリーモーションキルト押え<C>が表示されます。

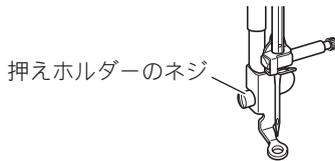
3 押えホルダーを外します。(P.63 参照)

4 フリーモーションキルト押え<C>のミゾを、手前側から押えホルダーのネジに合わせます。



 **お願い**
キルト押えが傾いていないことを確認してください。

5 右手でキルト押えを持ちながら、左手で押えホルダーのネジを付属のドライバーでしめます。

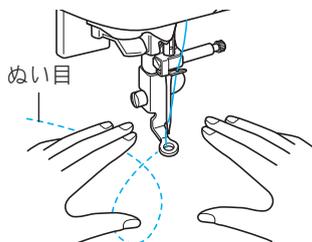


⚠ 注意



ネジをしめるときは、必ず付属のドライバーを使用してください。ネジを確実にしめないと針がキルト押えに当たり、曲がったり折れたりするおそれがあります。

6 両手で布地を引っ張り、一定の速度で布地を送り、ぬい目の長さが均一に約 2.0 ~ 2.5mm になるようにぬいます。



7 ぬい終わったら、 を押して、フリーモーションモードを解除します。

■ オープントゥキルト押え<O>を使用する
オープントゥキルト押え<O>は、ジグザグ模様や飾り模様でフリーモーションキルトをぬう場合や、厚さが均一でない布地にフリーモーションキルトの直線ぬいをする場合に使用します。オープントゥキルト押え<O>を使用すると、いろいろな模様をぬうことができます。

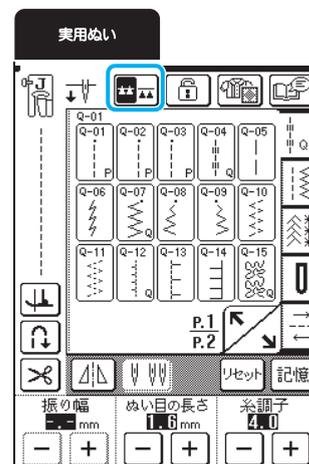
オープントゥキルト押え<O>



 **お願い**
オープントゥキルト押え<O>は、フリーモーション押え<C>を使用する模様(「Q-01」、「1-30」)にも使用できます。厚さが均一ではない布地のフリーモーションぬいには、オープントゥキルト押え<O>を使うことをお勧めします。

 **お知らせ**
バランスのとれた糸調子でぬうには、上糸の調節が必要です。(P.48 参照)
ぬい始める前に、使用する布地と同質の布地で試しぬいをしてください。

1  を押して送り歯を下げ、ミシンをフリーモーションモードに設定します。



→ 表示が  に変わります。送り歯が下がり、押えは指定した高さになります。

2 模様を選びます。

→ 画面の左上に、「Q-01」または「1-30」を選択したときはフリーモーションキルト押え<C>が、その他の模様を選択したときはオープントゥキルト押え<O>が表示されます。

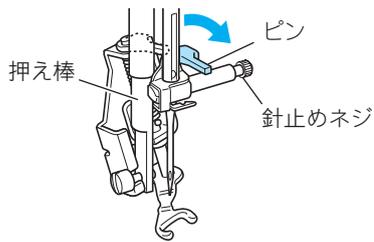
3 押えホルダーを外します。(P.63 参照)



3

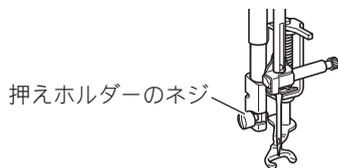
実用ぬい

- 4 オープントゥキルト押え<O>のピンを針止めネジの棒の上に置き、左下部分を押え棒のネジに合わせます。



お願い
キルト押えが傾いていないことを確認してください。

- 5 右手でキルト押えを持ちながら、左手で押えホルダーのネジを付属のドライバーでしめます。

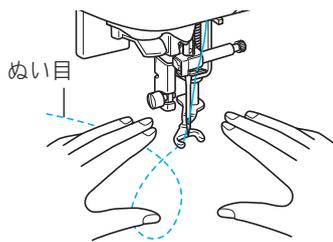


注意



ネジをしめるときは、必ず付属のドライバーを使用してください。ネジを確実にしめないと針がキルト押えに当たり、曲がり折れたりするおそれがあります。

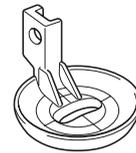
- 6 両手で布地を引っ張り、一定の速度で布地を送り、ぬい目の長さが均一に約2.0～2.5mmになるようにぬいます。



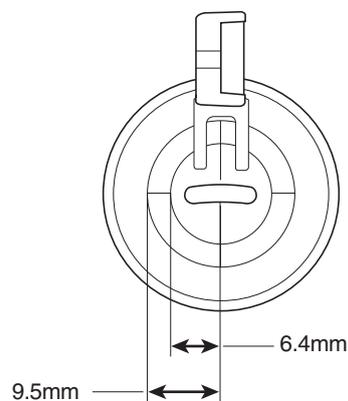
- 7 ぬい終わったら、** を押して、フリーモーションモードを解除します。

■ エコーキルト

モチーフの周囲を等間隔で幾重にもキルトする方法を、エコーキルトと呼びます。モチーフに沿って波状に広がる線が、エコーキルトの特徴です。エコーキルトにはエコーキルト押え<E>を使用します。押えの寸法を参考にして、モチーフの周囲を一定の間隔でぬいます。フットコントローラーを取り付けて、一定の速度でぬうことをお勧めします。



エコーキルト押え<E>の寸法



注意



フリーモーションキルトでは、布を送る速度がぬう速度に合うように調節します。ぬう速度よりも速く布地を動かすと、針が折れたり、他の損傷が起きるおそれがあります。

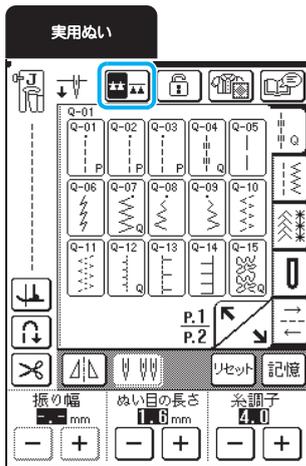
お知らせ

- ぬい始めに内蔵されたセンサーが布地の厚さを感じ、設定画面で指定した高さにキルト押えが上がります。**※ 設定** を押して設定画面 P.2 を表示し、「フリーモーション押え高さ」の **-** または **+** を押して、キルト押えを上げる高さを設定します。(P.21 参照) たとえば、やわらかい布地や厚い布地をぬう場合は、数値を高く、薄い布地の場合は数値を低く設定するとぬいやすくなります。



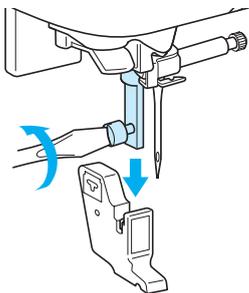
- バランスのとれた糸調子でぬうには、上糸の調節が必要です。(P.48 参照) ぬい始める前に、使用する布地と同質の布地で試しぬいをしてください。

- 1  を押して送り歯を下げ、ミシンをフリーモーションモードに設定します。

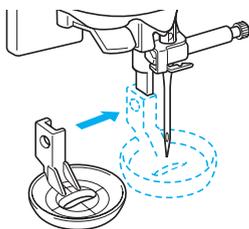


→ 表示が  に変わります。送り歯が下がり、押えは指定した高さに上がります。

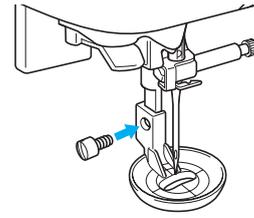
- 2  または  を押します。
- 3 押えを外します。(P.35 参照)
- 4 付属のドライバーで押えホルダーのネジを緩め、ネジと押えホルダーを外します。



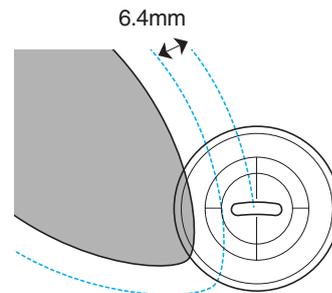
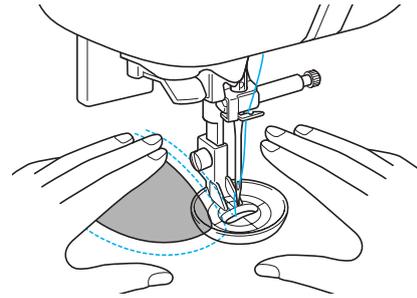
- 5 エコーキルト押え < E > の穴と押え棒のネジ穴を合わせて、押え棒の左側に取り付けます。



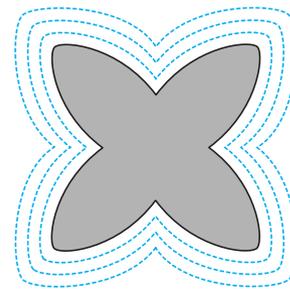
- 6 付属のドライバーでネジをしめます。



- 7 エコーキルト押え < E > の寸法を参考に、モチーフの回りをぬいます。



完成した作品



- 8 ぬい終わったら、 を押して、フリーモーションモードを解除します。



3

実用ぬい

直線ぬい



お願い
2本針 (P.33 参照) を使用するとき、必ず「J」押えを取り付けてください。

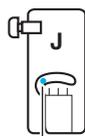
ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針*
				自動	手動	自動	手動	
1-01	直線 (左基線)		地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○ (<J>押えを使用)
1-02	直線 (左基線)		地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと止めぬいをします。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○ (<J>押えを使用)
1-03	直線 (中基線)		ファスナーつけ、地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○ (<J>押えを使用)
1-04	直線 (中基線)		地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと止めぬいをします。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○ (<J>押えを使用)
1-05	3重ぬい		丈夫なぬい目なので、袖つけや股下をぬうときに便利です。また、伸びる布地をぬうときや飾りぬいとしても使用します。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.5 - 4.0	○ (<J>押えを使用)
1-06	伸縮ぬい		伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	1.0	1.0 - 3.0	2.5	1.0 - 4.0	○ (<J>押えを使用)
1-07	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○ (<J>押えを使用)
1-08	しつけぬい		仮り止めに使用します。	0.0	0.0 - 7.0	20.0	5.0 - 30.0	×

* ○ : 使用できます。 × : 使用できません。

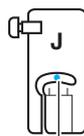
⚠ 注意



- 押えの交換は、必ず を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。



左基線



中基線



返しぬい

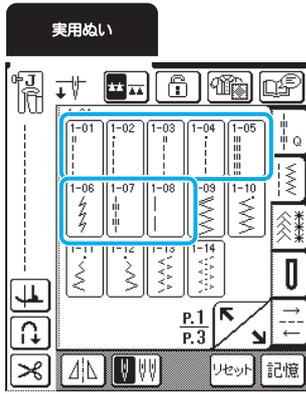


止めぬい

📖 お知らせ

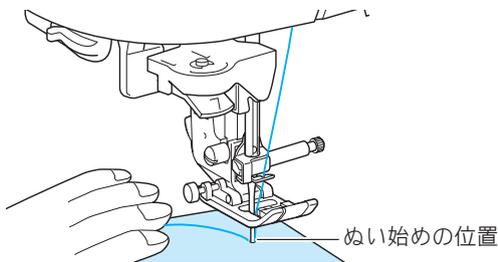
模様の上に「J」が付いている模様は、返しぬいスイッチを押しながら返しぬいができます。
模様の上に「・」が付いている模様は、返しぬいスイッチを押しながら止めぬいができます。

1 模様を選びます。



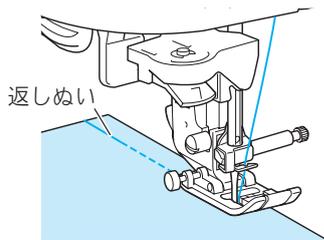
2 <J>押えを取り付けます。

3 左手で糸と布地を押さえ、右手でプーリーを手前に回して、布地のぬい始め位置に針をさします。



4 押えレバーを下げます。

5 返しぬいスイッチを押しながら数針返しぬい（または止めぬい）をしてから、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。

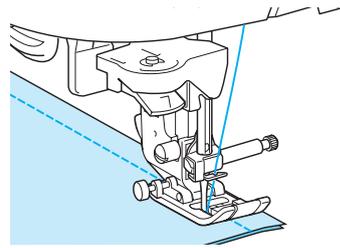


注意



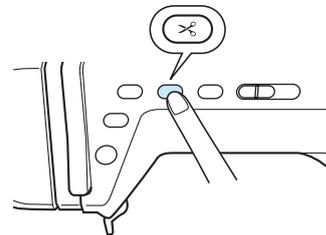
ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

6 ぬい終わりは、返しぬいスイッチを押しながら、数針返しぬい（または止めぬい）をします。



7 糸切りスイッチを押して糸を切ります。

- あらかじめ自動止めぬいと自動糸切りを設定すると、ぬい始めにスタート/ストップスイッチを押したときに自動的に返しぬい（または止めぬい）をします。ぬい終わりは、返しぬいスイッチを押すと、返しぬい（または止めぬい）をして自動的に糸を切ります。

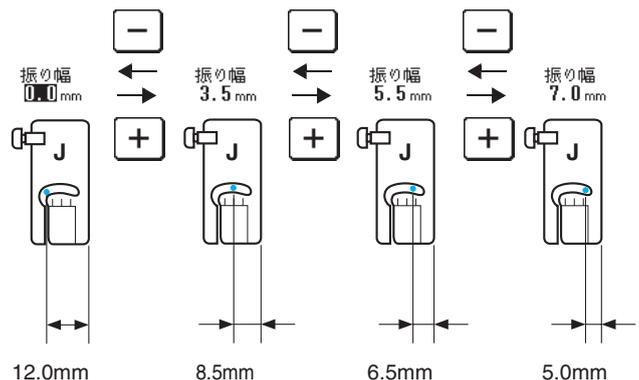
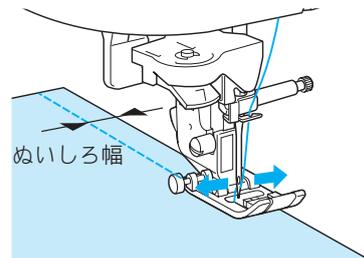


■ 針位置の変え方（左基線・中基線の模様）

左基線と中基線の直線ぬいは、振り幅の **-** または **+** を押して針位置を左右に移動させることができます。押えの右端から針までの長さをぬいしろの幅に合わせて、押えの右端に布端を合わせながらぬえばよいので便利です。

お知らせ

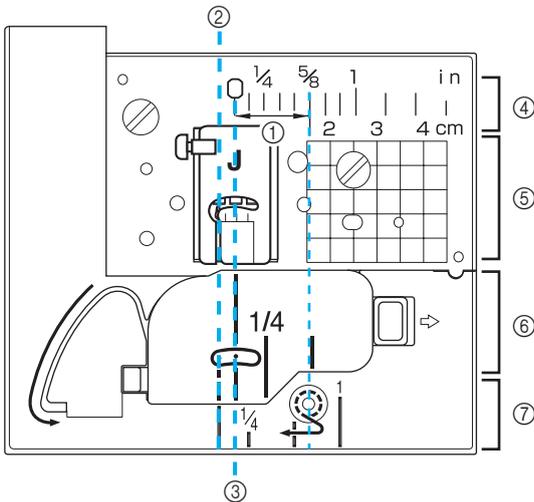
振り幅が **mm** と表示された場合は、別の直線模様を選んでください。



実用ぬい

■ 針板と針板カバーを基準にする場合

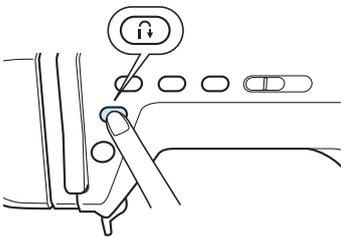
針板には、中基線の直線ぬいの針位置からの長さが表示されています。
 針板カバーには、左基線の直線ぬいの針位置からの長さが表示されています。
 ぬいしろを標準幅の16mmにする場合、振り幅は3.5mmに設定します。
 布端を針板と針板ふたに刻まれている5/8インチ(16mm)の目盛りに合わせてぬってください。



- ① 16mm
- ② 左基線の針位置
- ③ 中基線の針位置
- ④ 中基線の針位置からの長さ <インチ>
- ⑤ 中基線の針位置からの長さ <cm>
- ⑥ 中基線の針位置からの長さ <インチ>
- ⑦ 左基線の針位置からの長さ <インチ>

■ しつけぬい

- ①  を押し、< J > 押えを取り付けます。
- ② ぬい始めに、返しぬいスイッチを押して止めぬいをします。

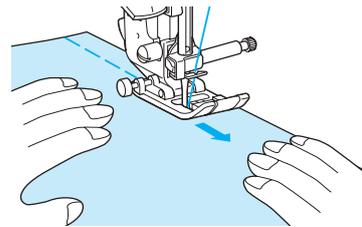


お知らせ

ぬい目の長さは0.5cm～3cmに設定できます。



- ③ 布地を軽く押えながらぬいます。



お知らせ

フットコントローラーを使用すると、作業がしやすくなります。(P.43 参照)

- ④ ぬい終わりに止めぬいをします。

■ 直線針板と直線押えを使用する場合

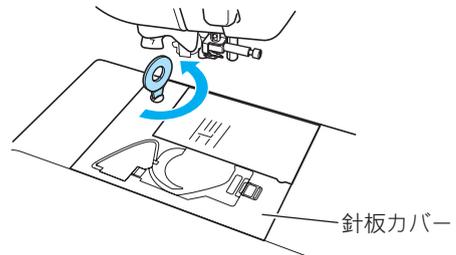
直線針板および直線押えが使用できるのは、中基線の直線ぬいのみです。直線針板と直線押えは、薄地をぬうときや針穴に引き込まれやすい小さな布片をぬうときに使用してください。
 直線押えは、薄地のぬい縮みを防ぐのに適しています。押えの小さなミゾで布をしっかり押さえてぬいます。

⚠ 注意

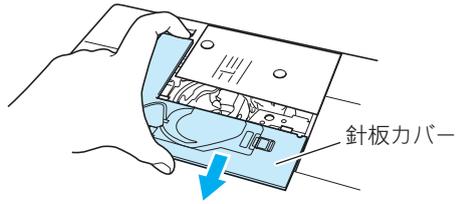


直線押えは必ず直線針板と組み合わせて使用してください。

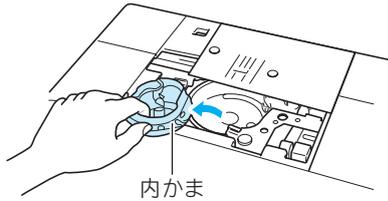
- ① 押え上下スイッチを押して押えを上げ、電源スイッチを切ります。
- ② 針と押えホルダーを外します。(P.37、P.63 参照)
- ③ 補助テーブルを外します。
- ④ 付属のネジ回しを使って、針板カバーのネジをゆるめて外します。



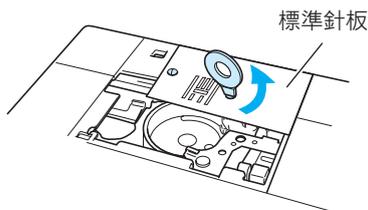
- 5 針板カバーを手前に引いて外します。



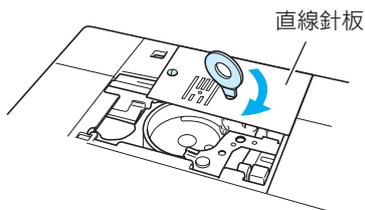
- 6 内かまを取り出します。



- 7 付属のネジ回しを使って標準針板を外します。



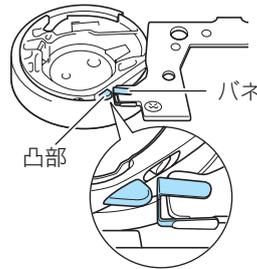
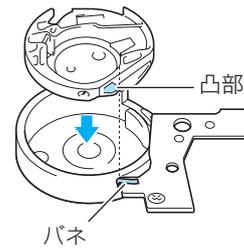
- 8 直線針板をはめ込み、ネジ回しでネジをしめます。



お願い

針板の2つのネジ穴を、針板取り付け部の2つの穴に合わせてください。針板のネジは、ネジ回しで締めてください。

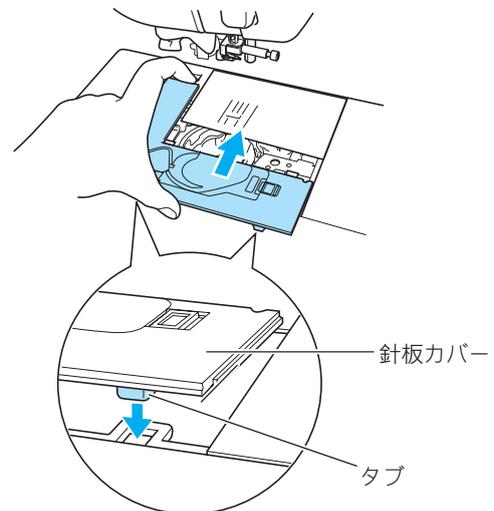
- 9 内かま凸部とバネが合うように、内かまを取り付けてください。



お知らせ

内かまを左右に動かしたとき、凸部の右側がバネに当たり、左側に少し空きができることを確認してください。

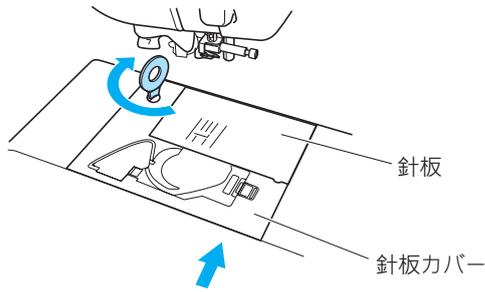
- 10 針板カバーのタブを差し込み、スライドさせて元の位置に戻します。



3

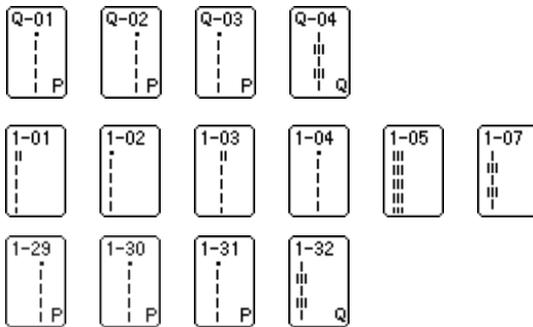
実用ぬい

- 11** 付属のネジ回しを使ってネジをしめます。
- 針板カバーを針板に押し付けながらネジをしめてください。



- 12** 針と押えホルダーを取り付けます。(P.37、P.63 参照)

- 13** 直線ぬいのいずれかを選びます。



お知らせ

直線針板を使用すると、直線ぬいはすべて中基線で行われます。振り幅用のキーを押して、針位置を変えることはできません。

注意



- 直線ぬい以外の模様を選択すると、エラーメッセージが表示されます。
- プーリーを手前に回し、針が直線押えと直線針板に当たらないことを確認してから、スタート/ストップスイッチを押してください。

- 14** 直線押えを取り付けます。



- 15** ぬい始めます。
- ぬい終わったら、必ず直線針板と直線押えを外し、標準針板、針板カバー、<J>押えを取り付けてください。



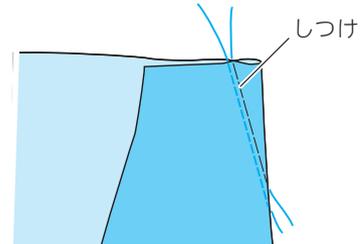
お知らせ

ぬい縮みを起こしやすい薄地には、11番の針を使用しぬい目を短くします。厚地には、14番の針を使用しぬい目を長くします。

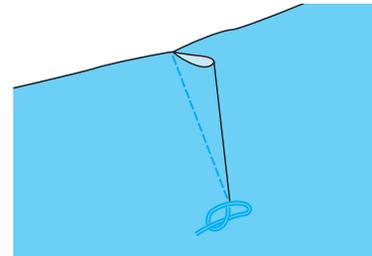
ダーツ

- 1**  を押して、<J>押えを取り付けます。
- 2** ぬい始めに返しぬいスイッチを押して返しぬいをし、幅の広い方から先端に向かって布地を伸ばさないようにぬいます。

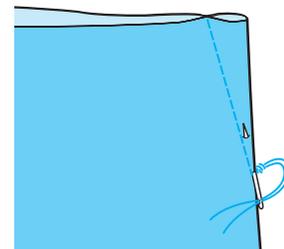
- あらかじめ自動止めぬいを設定しておく、止めぬいしてからぬい始めます。



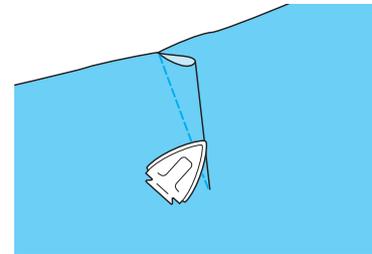
- 3** ぬい終わりは返しぬいをせずに、上糸と下糸を5cm残して切り、2本を一緒に結びます。



- 4** ぬい針で糸端をダーツの中にぬい込みます。



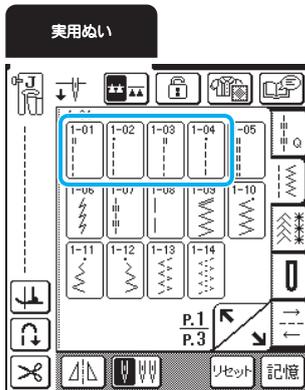
- 5** アイロンでダーツを片側に倒します。



ギャザー

ギャザースカートのウェストや袖などに使います。

- 1 直線ぬいを選び、<J>押えを取り付けます。



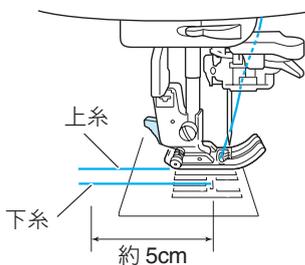
- 2 ぬい目の長さを 4.0mm に、糸調子を 2.0 (ゆるめ) 前後に設定します。



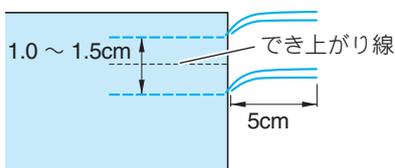
お知らせ

 を押した後、ギャザー を選んだ場合、自動的にぬい目は 4.0mm に、糸調子は 2.0 に設定されます。

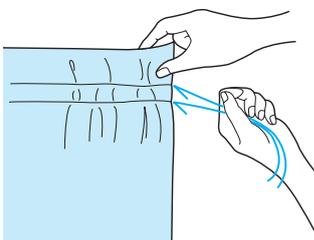
- 3 上糸と下糸を約 5cm 引き出しておきます。(P.29 参照)



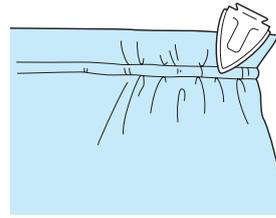
- 4 でき上がり線をはさんで平行に 2 本ぬい、上糸と下糸を端から 5cm 残して切ります。



- 5 下糸を引っ張りながらギャザーを寄せ、糸を結びます。



- 6 ギャザーをととのえ、ぬいしろ部分にアイロンをかけます。



- 7 でき上がり線をぬってしつけを取ります。



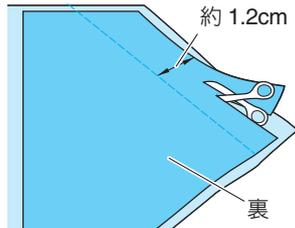
3

実用ぬい

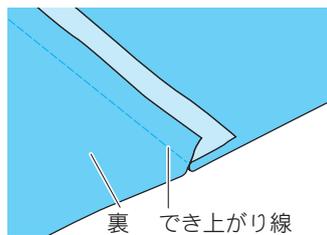
折り伏せぬい

ぬいしろを丈夫にし、きれいに端を始末をしたいときに折り伏せぬいを使います。

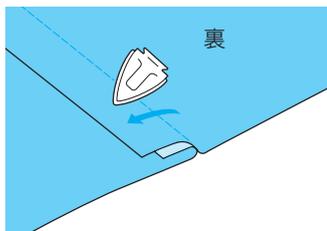
- 1  を押して、<J>押えを取り付けます。
- 2 布地を中表にしてでき上がり線をぬい、裏側のぬいしろを半分切り落とします。
 - あらかじめ自動止めぬいと自動糸切りを設定しておく、ぬい始めに自動的に止めぬいをします。ぬい終わりに返しぬいスイッチを押すと、自動的に止めぬいをして糸を切ります。



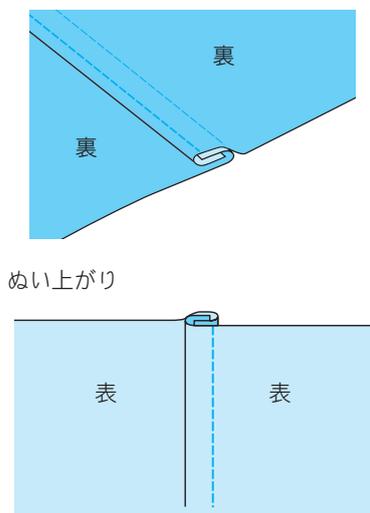
- 3 でき上がり線を軸に布地を広げます。



- 4 切り落としたぬいしろ側へ2枚一緒に倒してアイロンをかけます。



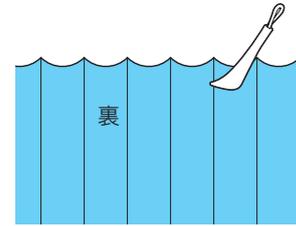
- 5 幅の広いぬいしろで幅の狭いぬいしろをくるみ、折り山の端をぬいます。



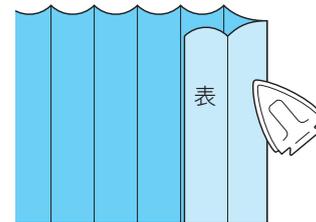
ピンタック

ブラウスなどの装飾に使います。

- 1 布地の裏からへらで折り山に印をつけます。



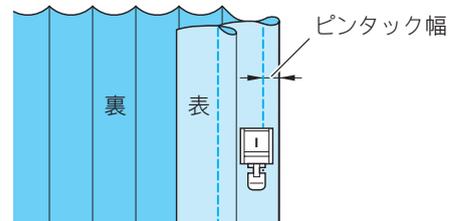
- 2 表に返し、折り山をアイロンで押えます。



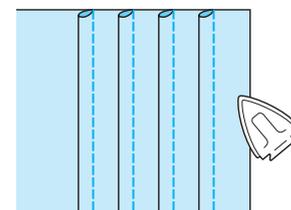
- 3  を押して、<I>押えを取り付けます。

- 4 <I>押えの右側のピンを押えホルダーに取り付け、折り山をぬいます。

- あらかじめ自動止めぬいと自動糸切りを設定しておく、ぬい始めに自動で止めぬいをします。ぬい終わりに、返しぬいスイッチを押すと、自動的に止めぬいをして糸を切ります。



- 5 アイロンで片側に倒します。



ジグザグぬい

ジグザグぬいは、たちめかがりやアップリケ、パッチワークなどいろいろな用途に使えて便利です。



お願い

2本針 (P.33 参照) を使用するときには、必ず < J > 押えを使用してください。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針*
				自動	手動	自動	手動	
1-09	ジグザグ (中基線)		たちめかがりやアップリケなどに使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 4.0	○ (<J>押えを使用)
1-10	ジグザグ (中基線)		たちめかがりやアップリケなどに使用します。返しぬいスイッチを押すと止めぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 4.0	○ (<J>押えを使用)
1-11	ジグザグ (右基線)		右の針位置からぬい始めます。振り幅を調節すると右を基線にして振り幅が変わります。	3.5	2.5 - 5.0	1.4	0.3 - 4.0	○ (<J>押えを使用)
1-12	ジグザグ (左基線)		左の針位置からぬい始めます。振り幅を調節すると左を基線にして振り幅が変わります。	3.5	2.5 - 5.0	1.4	0.3 - 4.0	○ (<J>押えを使用)

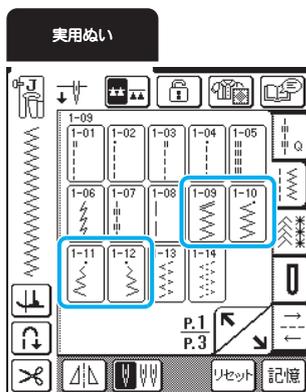
*○: 使用できます。

⚠ 注意



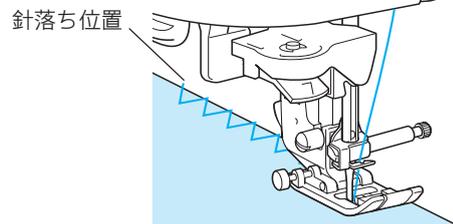
- 押えの交換は、必ず 針・押え交換 を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。

1 模様を選び、< J > 押えを取り付けます。



■ たちめかがり

針を布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいませう。



📖 お知らせ

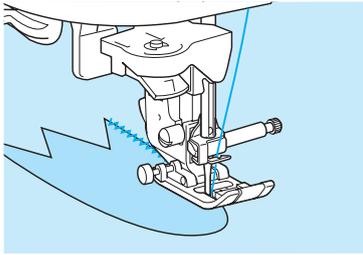
模様の頭に「■」が付いている模様は、返しぬいスイッチを押しながら返しぬいができます。模様の頭に「・」が付いている模様は、返しぬいスイッチを押しながら止めぬいができます。



3 実用ぬい

■ アップリケ

アップリケ布を薄くのり付けするかしつけでとめてから、針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。

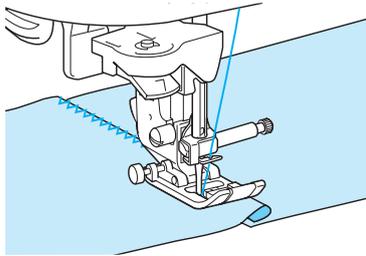


お知らせ

アップリケのぬい方については、P.64 を参照してください。

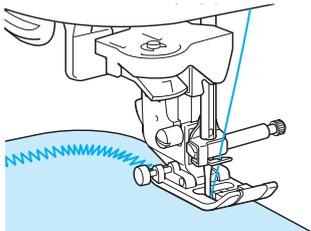
■ パッチワーク (クレイジーキルト)

上側の布地の端を折り、別の布地に重ねて、両方の布地に模様がまたがるようにぬいます。



■ カーブをぬう場合

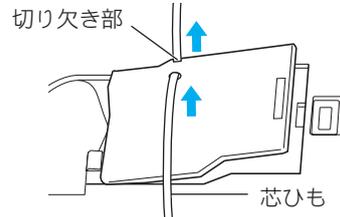
ぬい目の長さを短く設定すると、きれいなぬい目ができます。ぬい目と布端が平行になるように、少しずつ布地の向きを変えながらぬいます。



■ コードガイドふたを使用する

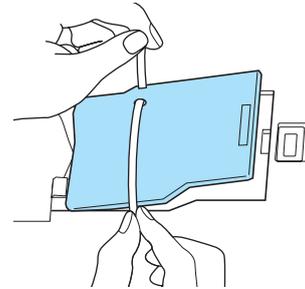
- 1 針板ふたを外します。(P.28 参照)
- 2 コードガイドふたの穴に芯ひもを上から下へ通し、切り欠き部から引き出します。

- 芯ひもは、直径 1.5mm 以下のものを使用してください。



- 3 コードガイドふたをカチッと音がするまで押して閉め、芯ひもが送られるようにします。

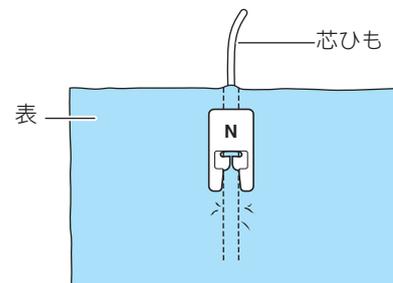
- 芯ひもを引いて、引っかかりがないことを確認してください。



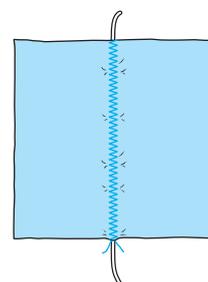
- 4 ジグザグの振り幅を 2.0mm ~ 2.5mm に設定します。

- 5 < N > 押えを取り付けます。

- 6 芯ひもを、押えの下に位置するようにミシンの後ろ側へ引き出します。その上に布地を表面を上にして置きます。



- 7 押えを下げ、ぬい始めます。



点線ジグザグぬい

点線ジグザグぬいは、たちめかがり、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。

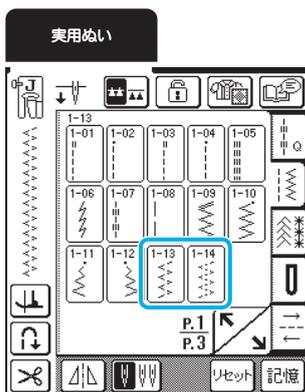
ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針*
				自動	手動	自動	手動	
1-13	2点ジグザグ		普通地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○ (<J>押えを使用)
1-14	3点ジグザグ		普通地、厚地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○ (<J>押えを使用)

*○: 使用できます。

⚠ 注意

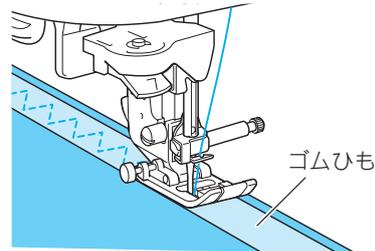
- 押えの交換は、必ず **針・押え交換** を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。

1 模様を選び、<J>押えを取り付けます。



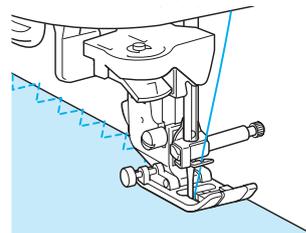
■ ゴムひもつけ

ゴムひもを平らに広げ、前後に伸ばしながらぬいます。



■ たちめかがり

伸びる布地をぬうときに使います。針を布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



3

実用ぬい

たちめかがり

ズボン、スカートなどのぬいしろの始末や、たち目の始末に使用します。
模様によって、たち目かがり押え< G >、ジグザグ押え< J >、サイドカッター押え< S > (別売) を使用します。

■ たち目かがり押え< G >を使ったたちめかがり

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針*
				自動	手動	自動	手動	
	たちめかがり		薄地、普通地のたちめかがりに使用します。	3.5	2.5 - 5.0	2.0	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		厚地のたちめかがりに使用します。	5.0	2.5 - 5.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		厚地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	5.0	3.5 - 5.0	2.5	1.0 - 4.0	×

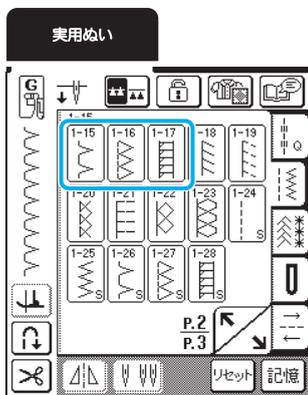
* × : 使用できません。

⚠ 注意

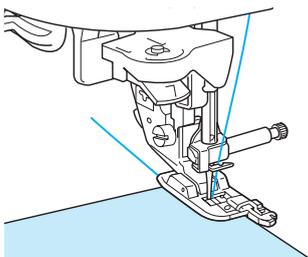


- 押えの交換は、必ず  を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。

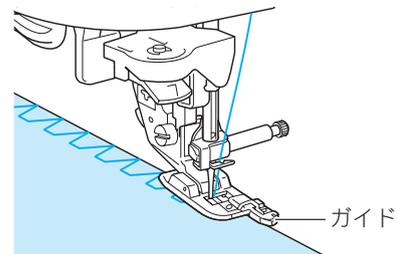
1 模様を選び、< G >押えを取り付けます。



2 押えのガイドに布端を当て押えレバーを下げます。



3 布端をガイドに当てながら、ガイドにそってぬいます。

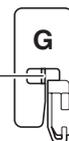


⚠ 注意

- 振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が押えに当たると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。



針が当たらないように注意してください。



- 押えを最上位置まで上げると、針に当たることがあります。

■ ジグザグ押え<J>を使ったたちめかがり

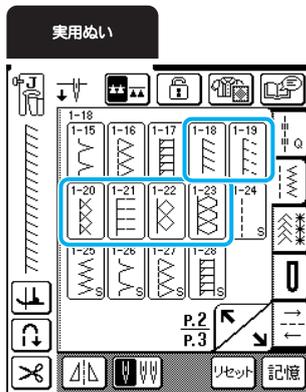
ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針*
				自動	手動	自動	手動	
1-18	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.5 - 4.0	○ (<J>押えを使用)
1-19	たちめかがり		厚地、伸びる布地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.5 - 4.0	○ (<J>押えを使用)
1-20	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	4.0	1.0 - 4.0	○ (<J>押えを使用)
1-21	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	4.0	1.0 - 4.0	×
1-22	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	6.0	1.0 - 7.0	3.0	1.0 - 4.0	○ (<J>押えを使用)
1-23	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	6.0	1.0 - 7.0	1.8	1.0 - 4.0	○ (<J>押えを使用)

* ○ : 使用できます。 × : 使用できません。

注意

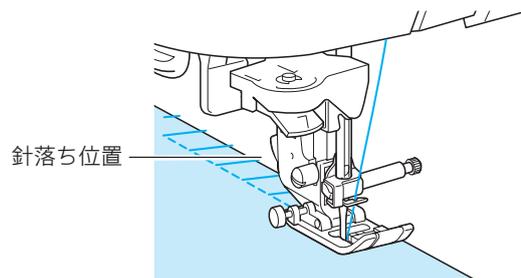
● 押えの交換は、必ず 針・押え交換 を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが動作してケガの原因になります。

1 模様を選び、<J>押えを取り付けます。



2 針を布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。

お知らせ
伸びる布地は、押え圧を弱くするときれいに仕上がります。



3 実用ぬい

■ サイドカッター押え<S> (別売) を使ったたちめかがり

別売りのサイドカッター押え<S>を使用して、布端を切りながらぬいしろを始末することができます。液晶画面で模様「S」と表示されている次の5模様から選択します。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針*
				自動	手動	自動	手動	
	たちめかがり		布を切りながら直線ぬいをします。	0.0	0.0 - 2.5	2.5	0.2 - 5.0	×
	たちめかがり		布を切りながらジグザグぬいをします。	3.5	3.5 - 5.0	1.4	0.0 - 4.0	×
	たちめかがり		布を切りながら薄地・普通地のほつれ止めをします。	3.5	3.5 - 5.0	2.0	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		布を切りながら厚地のほつれ止めをします。	5.0	3.5 - 5.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		布を切りながら厚地のほつれ止めをします。	5.0	3.5 - 5.0	2.5	1.0 - 4.0	×

* × : 使用できません。

⚠ 注意



- 押えの交換は、必ず **針・押え交換** を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。

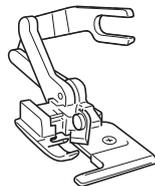


- サイドカッター押えを使うときは、必ずキーに「S」と表示されている模様を選んでください。その他の模様を選ぶと針が押えに当たり、折れてケガをするおそれがあります。

💡 お願い

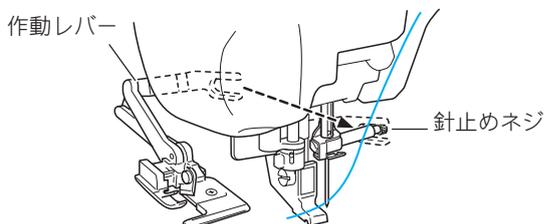
サイドカッター押え<S>を使用するときは、手で針に糸を通すか (P.32 参照)、サイドカッター押え<S>を取り付ける前に糸通し装置で糸を通してください。

サイドカッター押え<S>

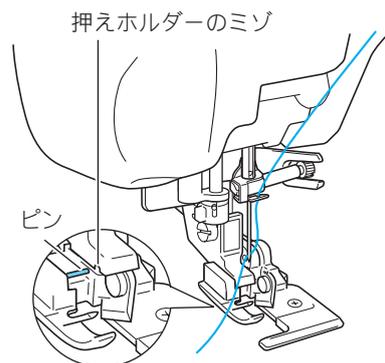


- 1 押えを外します。(P.35 参照)

- 2 サイドカッター押え<S>の作動レバーのふたまた部分で、針止めネジの棒を後ろからはさみます。



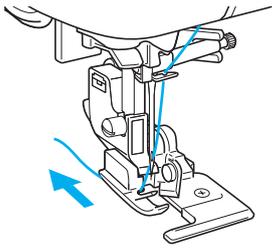
- 3 サイドカッター押え<S>のピンと押えホルダーのミゾが合う位置にサイドカッター押え<S>を置き、押えレバーをゆっくり下げます。



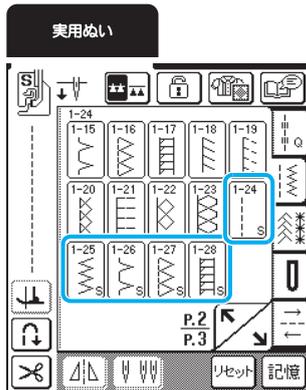
→ サイドカッター押え<S>が取り付けられます。

- 4 押えレバーを上げて、サイドカッター押え<S>が取り付けられていることを確認します。

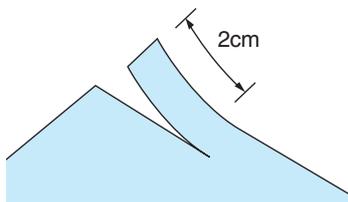
- 5 上糸はサイドカッター押え< S >の下を通して、後ろ側に引き出します。



- 6 模様を選びます。(P.57 参照)

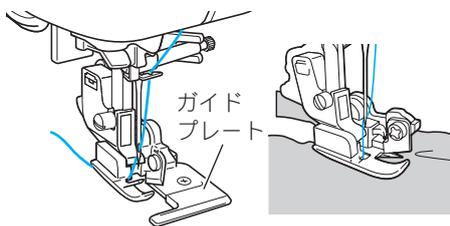


- 7 布地のぬい始めの部分に約 2cm の切り込みを入れます。



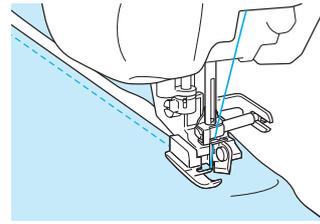
- 8 布地をセットします。

- 布地の切り込みを入れた部分を、サイドカッター押え< S >のガイドプレートの上に置きます。



お知らせ
布地を正しく置かないと、布地が切れません。

- 9 押えレバーを下げ、ミシンをスタートさせます。

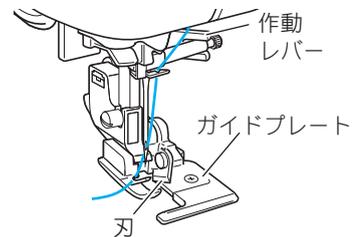


→ ぬいしろを裁断しながらぬっていきます。

注意

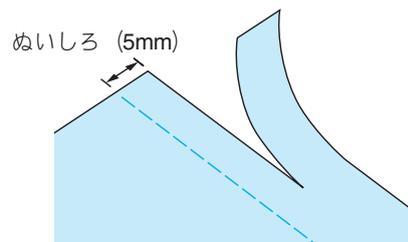


- サイドカッター押え使用時は、ぬうスピードを低速と中速の間でぬってください。破損やけがの原因になります。ぬっている間は、サイドカッター押えの刃や作動レバーに触らないでください。



お知らせ

- 模様を直線  にしてぬった場合、ぬいしろは約 5mm になります。



- サイドカッター押え< S >で切れる布地の厚さは、13 オンスデニム 1 枚程度までです。
- サイドカッター押え< S >を使用したあとは、糸くずやほこりを取り除いてください。
- 布地が切れなくなってきたときは、サイドカッター押え< S >の刃を少量の油を含ませた布でふいてください。



3

実用ぬい

すそ上げをする

スカートやズボンのすそをまつります。まつりぬいは、次の2模様から選択します。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針*
				自動	手動	自動	手動	
2-01	まつりぬい		普通地のまつりぬいに使用します。	00	3 ← ~ → 3	2.0	1.0 - 3.5	×
2-02	まつりぬい		伸びる布地のまつりぬいに使用します。	00	3 ← ~ → 3	2.0	1.0 - 3.5	×

* × : 使用できません。

⚠ 注意



- 押えの交換は、必ず 針・押え交換 を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。

次の手順でまつりぬいをします。



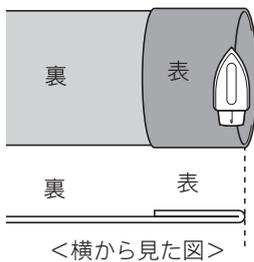
お知らせ

筒の大きさがアームに入らないほど小さいときや、筒の長さが短いときは、布地がうまく送られず、きれいに仕上がらないことがあります。

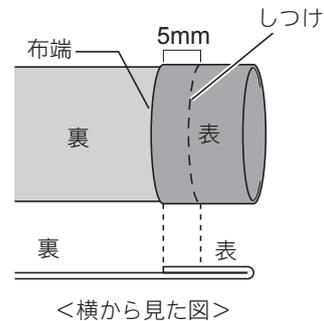
- すそ上げをするスカートやズボンを裏返します。



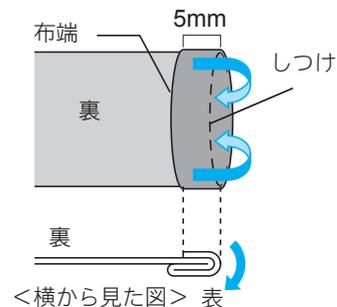
- できあがり線で布を表に返し、アイロンをかけます。



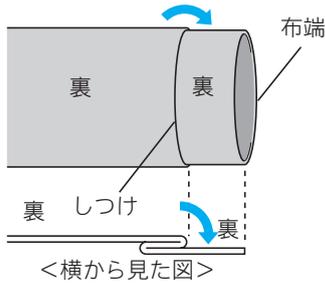
- 布端から約5mmのところにチャコペンで印をつけ、しつけをします。



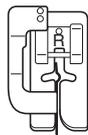
- しつけをしたところから、内側へ折り込みます。



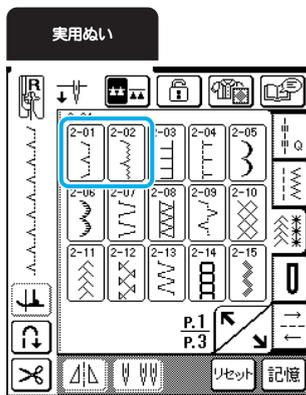
5 布端を開いて裏返します。



6 まつりぬい押え< R >を取り付けます。(P.35 参照)

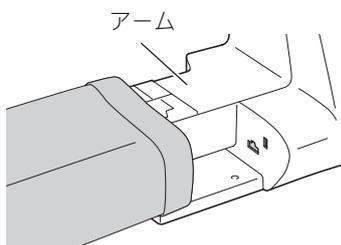


7 模様を選びます。(P.57 参照)

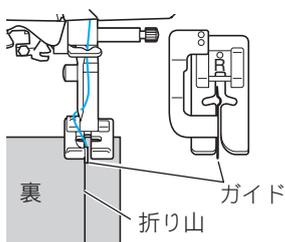


8 補助テーブルを外してフリーアームにします。

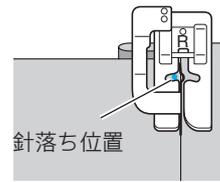
9 アームに布地を入れ、布地を回すことができるのを確認します。



10 押えのガイドと布地の折り山が合うように布地をセットし、押えを下げます。

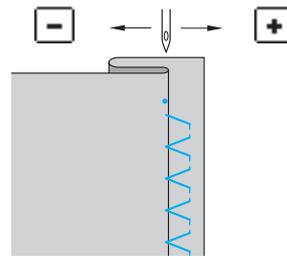


11 プーリーをゆっくり手前に回して針を下げ、針が折り山に少しかかる位置にあるか確認します。



• 針落ち位置を変更するとき、針を上げてからジグザグの振り幅を変更します。

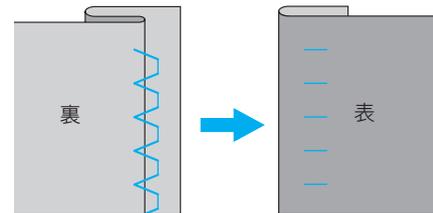
ジグザグの振り幅



針がかかりすぎているとき

針が左側にいきすぎています。

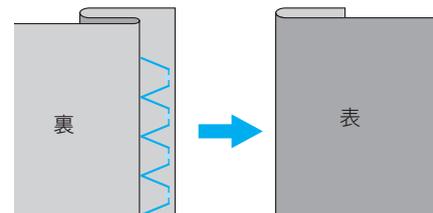
振り幅の **+** を押して針位置を右に動かし、針が折り山に少しかかるように調節します。



針がかかっていないとき

針が右側にいきすぎています。

振り幅の **-** を押して針位置を左に動かし、針が折り山に少しかかるように調節します。

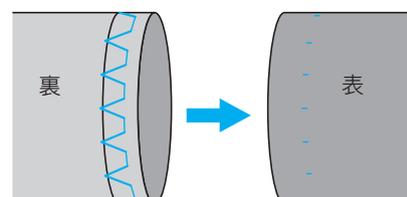


お知らせ

P.47「ジグザグの振り幅を調節する」を参照してください

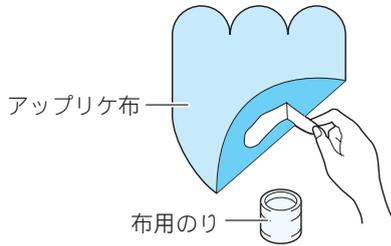
12 折り山に押えのガイドを沿わせてぬいます。

13 しつけをほどき、布地を表に返します。



アップリケぬい

- 1 のりまたはスプレーのりでアップリケ布がずれない程度にのり付けするか、しつけて固定します。

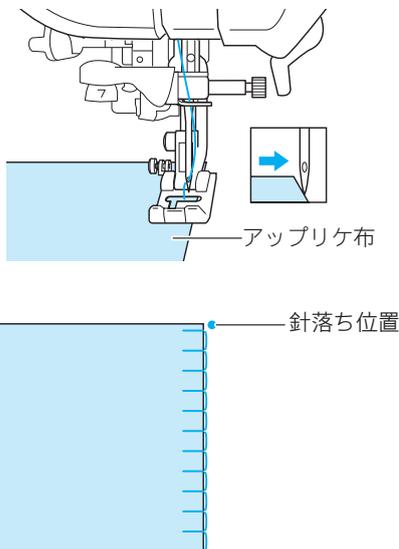


- 2  または  を押します。

お知らせ

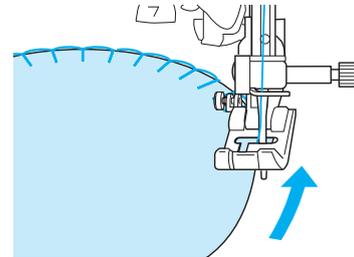
- ジグザグの振り幅やぬい目の長さは、アップリケの形、大きさ、素材に応じて調節してください。(P.47 参照)
- 模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

- 3 <J> 押えを取り付けます。針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちることを確かめてからぬいます。



■ 急なカーブをぬう場合

アップリケ布の外側に針をさしたまま押えを上げて少しずつ方向を変えながらぬうと、きれいなぬい目に仕上がります。
ぬい方向を変えるときは、ピボット機能を有効にしておくと便利です。方向を変えるためにミシンを止めたとき、針が布にささった状態で止まり、押えが自動的に上がるため、布を回転させやすくなります。(P.51 参照)



シェルタックぬい

シェルタックは、貝殻を直線状にならべたような円弧上のひだを作るものです。ふち飾りのほかに、ワンピースやブラウスの衿やそでのふち飾りに使います。

- 1  を押します。

お知らせ

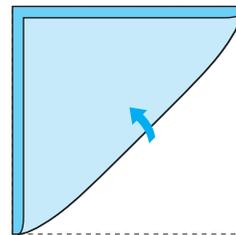
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

- 2 シェルタックの山がきれいにできるように、糸調子を強めにします。

お知らせ

糸調子が弱すぎると、シェルタックの山ができません。

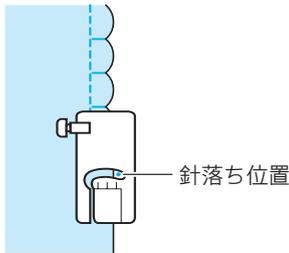
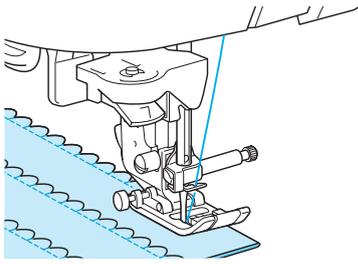
- 3 布地をバイアスに2つ折りします。



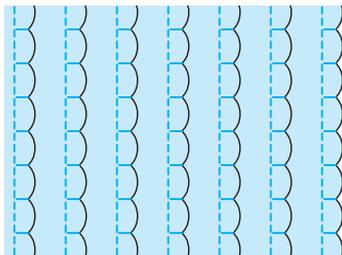
お願い

布地は薄地を使用してください。

- 4 <J>押えを取り付け、針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



- 5 布を広げアイロンで折り山を片側に倒します。



スカラップぬい

スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波型の模様です。ブラウスの衿やハンカチなどのふち飾りに使います。

- 1  を押して、<N>押えを取り付けます。

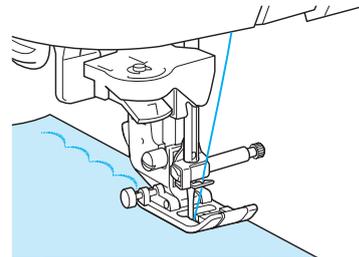
お知らせ

- 模様を選んだときにあらかじめ自動糸切りを設定しておく、ぬい始めに自動的に止めぬいをします。ぬい終わりに返しぬいスイッチを押すと、自動的に止めぬいをして糸を切ります。
- ぬう前に、アイロンスプレーのりを使って布地にアイロンをかけると、きれいに仕上がります。
- 模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

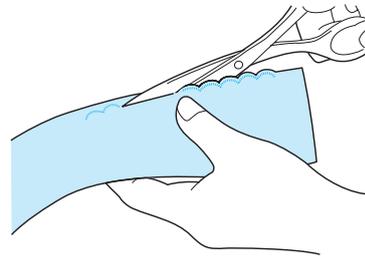
- 2 模様が布端にかからないように、端を残してぬいます。

お願い

実際にぬう前に、試しぬいをしてください。



- 3 糸を切らないように注意しながらぬい目にそって布地を切ります。



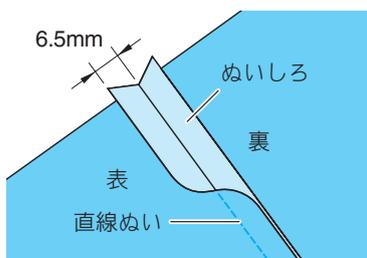
3

実用ぬい

つき合わせぬい

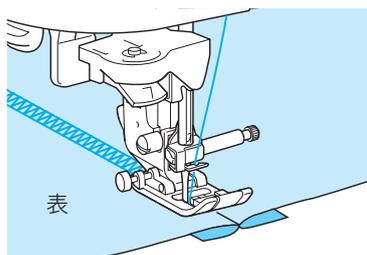
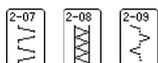
ぬいしろを上から押えてぬいとクレイジーキルトの飾り模様にもなります。

- 1 直線ぬいを選び、<J>押えを取り付けます。
- 2 2枚の布地を中表にしてぬい合わせた後、ぬいしろを割ります。



- 3 布地を表に返し、押えの中心とぬい目を合わせてぬいます。

• 次の模様の中から選びます。



スモッキングぬい

布地をぬい縮めてギャザーをつくり、その上に模様ぬいを施した飾りぬいです。洋服の胸や袖口のひだ飾りに使います。

- 1 直線ぬいを選び、<J>押えを取り付けます。

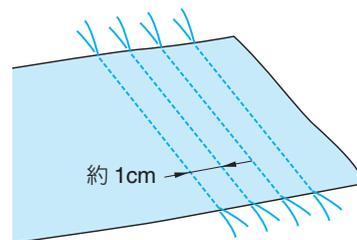


お願い

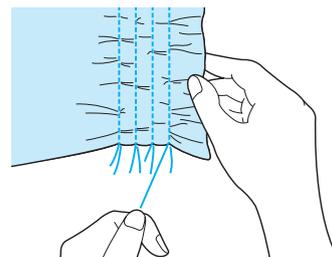
自動止めぬいと自動糸切りは設定しないでください。

- 2 ぬい目の長さは4.0mmに、糸調子は2.0(ゆるめ)に設定します。
- 3 上糸と下糸を約5cm引き出しておきます。

- 4 約1cm間隔で数本ぬいます。



- 5 下糸を引っ張ってギャザーを寄せ、アイロンでギャザーをととのえます。



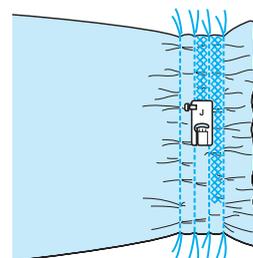
- 6 または  または  を押します。



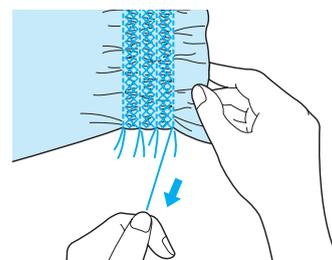
お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

- 7 直線ぬいのぬい目とぬい目の間をぬいます。



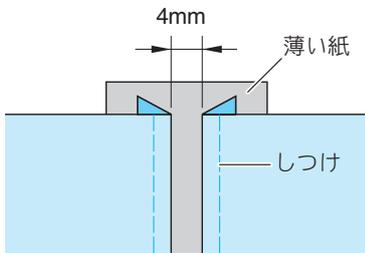
- 8 直線ぬいの糸を引き抜きます。



ファゴティングぬい

ファゴティングとは、布地と布地の間を離して糸でかがる手法で、ブラウスや子供服に使います。

- 1 布地と布地の間隔を 4mm あけて、薄い紙にしつけぬいします。

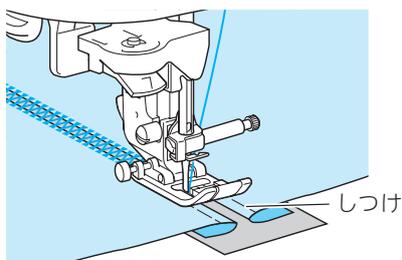


- 2  または  を押して、ジグザグの振り幅を最大 (7.0mm) にします。

お知らせ
 模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

- 3 <J>押えを取り付け、押えの中心を布と布の中心に合わせてぬいします。

お知らせ
 太い糸を使用すると、きれいに仕上がります。



- 4 ぬい終わったら、ていねいに紙をはがします。

ゴムひもつけ

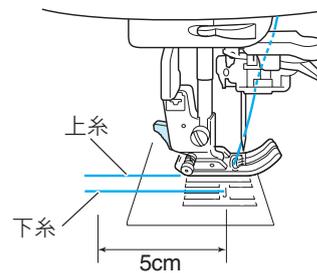
ゴムひもを伸縮性のない布地にぬいます。

- 1 直線ぬいを選び、<J>押えを取り付けます。

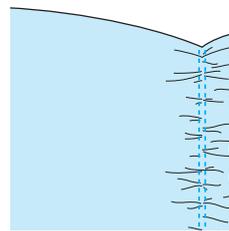
お願い
 自動止めぬいと自動糸切りは設定しないでください。

- 2 ぬい目の長さは 4.0mm に、糸調子は 2.0 (ゆるめ) に設定します。

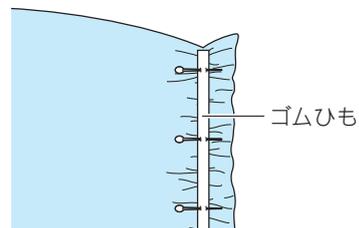
- 3 上糸と下糸を約 5cm 引き出しておきます。(P.29 参照)



- 4 布地の表を上にして直線ぬいを 2 本ぬい、下糸を引っ張ってギャザーを寄せます。



- 5 裏のギャザーの上にゴムひもをまち針で止めます。



- 6  または  を選びます。

お知らせ
 模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。



3

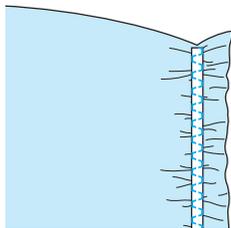
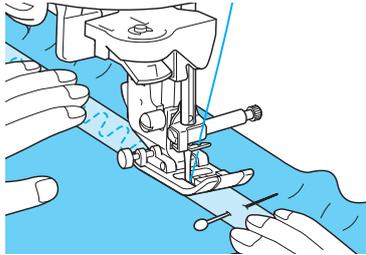
実用ぬい

- 7** 布地とほぼ同じ長さになるようゴムひもを引き伸ばしながら、左手で押えの後ろへ送り出された布地を、右手で押えから一番近いまち針のところを引っ張って、送りのスピードに合わせてぬいます。



お知らせ

フットコントローラーを使用すると、作業がしやすくなります。

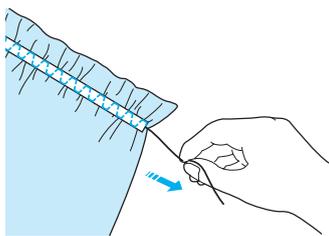


注意



ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

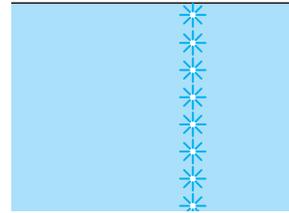
- 8** 直線ぬいの糸を引き抜きます。



ヘアルーム

別売のウィングニードルを使用し、針穴を大きく開けてレース風の飾り模様をぬいます。テーブルクロスや洋服のすそ飾り、シャツの前たての飾りなどに使います。

■ デイジーステッチ



お願い

布地は、平織りの薄地から普通地で、少し張りのあるものを使ってください。



- 1** ウィングニードル (130/705H 100/16) を取り付けます。



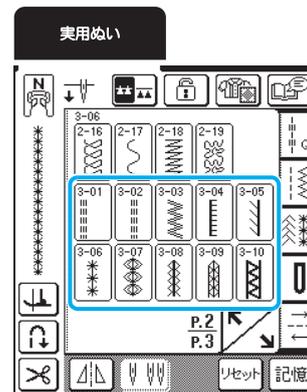
お願い

自動糸通しは使用できません。針の手前から向こう側に手で針穴に糸を通してください。自動糸通しを無理に使用すると故障の原因となります。



- 2** 模様を選び、< N >押えを取り付け、ぬい始めます。

- 「3-01」から「3-22」のいずれかの模様を選びます。



注意



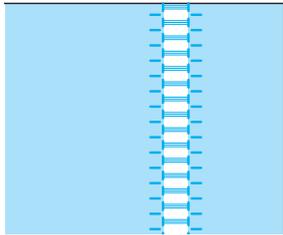
- 自動糸通しスイッチは使用できません。手前から向こう側に、手で針穴に糸を通してください。自動糸通しスイッチを使用すると故障の原因となります。
- ウィングニードル (130/705H) を使用すると、きれいな仕上がりになります。ウィングニードルを取り付け、振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。



お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

■ ドロンワーク (1)

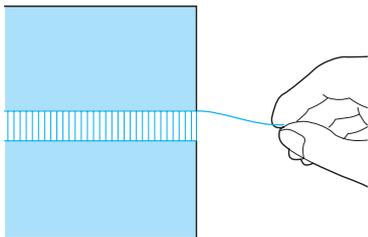


- 1 布地の織り糸を数本抜きとり、約 3mm 分のすき間をあけます。



お知らせ

織りのゆるい布を使うときれいに仕上がります。



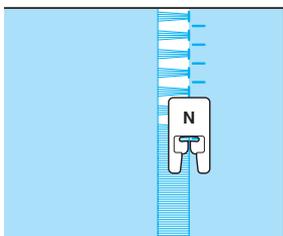
- 2  を押して、< N > 押えを取り付けます。



お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

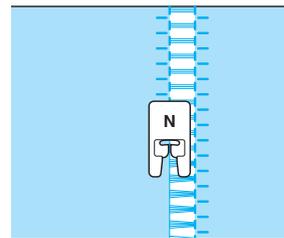
- 3 布地の表を上にして置き、織り糸を抜いた部分の右端をぬいます。



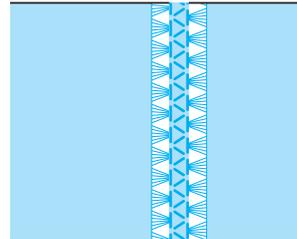
- 4  を押して、模様を左右に反転します。

5

模様が左右対称になるように、織り糸を抜いた部分の左端をぬいます。



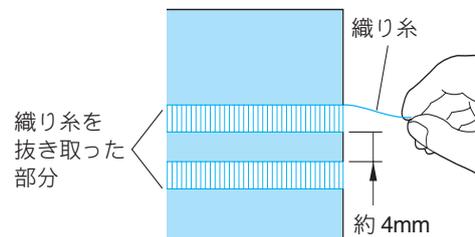
■ ドロンワーク (2)



お知らせ

ウイングニードル (別売) を使用してぬうこともできます。

- 1 図のように、間に布地を約 4mm 残して織り糸を数本抜き取ります。



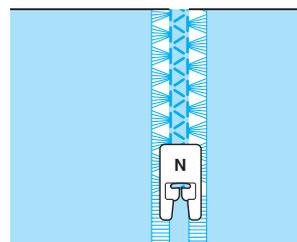
- 2  を押します。



お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

- 3 < N > 押えを取り付け、残した部分の中央をぬいます。



3

実用ぬい

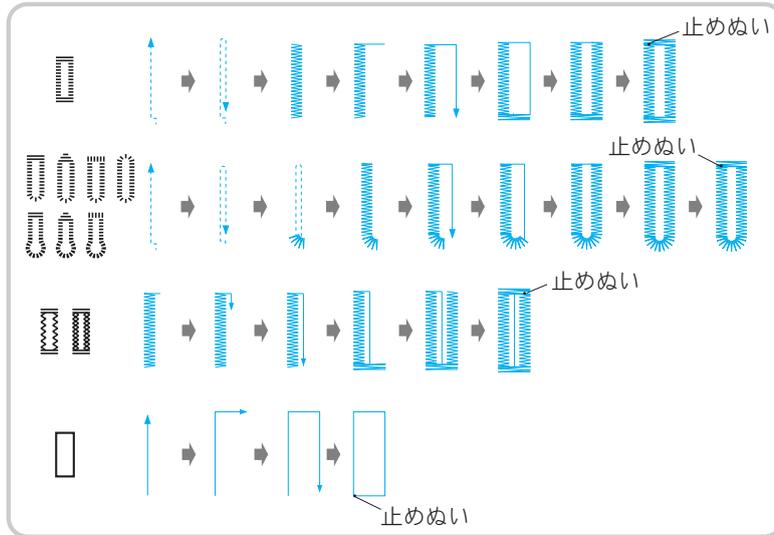
ボタン穴かがり

ボタンの用途や大きさに適したボタン穴かがりを選びます。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針*
				自動	手動	自動	手動	
4-01 	ボタン穴かがり		ねむり穴、横穴用。薄地から普通地のボタン穴かがりに使用します。ブラウス、シャツなどに使用します。	5.0	3.0 - 5.0	0.4	0.2 - 1.0	×
4-02 	ボタン穴かがり		横穴用。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。	5.5	3.5 - 5.5	0.4	0.2 - 1.0	×
4-03 	ボタン穴かがり		横穴用。ウエストベルトなどがかかるところに使用します。	5.0	3.0 - 5.0	0.4	0.2 - 1.0	×
4-04 	ボタン穴かがり		横穴用。厚地のボタン穴かがりに使用します。	5.0	3.0 - 5.0	0.4	0.2 - 1.0	×
4-05 	ボタン穴かがり		ねむり穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。ジャケットやブラウスに使用します。	5.0	3.0 - 5.0	0.4	0.2 - 1.0	×
4-06 	ボタン穴かがり		両止めボタン穴かがり。薄地から普通地のボタン穴かがりに使用します。	5.0	3.0 - 5.0	0.4	0.2 - 1.0	×
4-07 	ボタン穴かがり		伸びる布地や編み地のボタン穴かがりに使用します。	6.0	3.0 - 6.0	1.0	0.5 - 2.0	×
4-08 	ボタン穴かがり		伸びる布地のボタン穴かがりに使用します。	6.0	3.0 - 6.0	1.5	1.0 - 3.0	×
4-09 	ボタン穴かがり		玉ぶち穴かがり（バウンドボタンホール）を作るときに使用します。	5.0	0.0 - 6.0	2.0	0.2 - 4.0	×
4-10 	ボタン穴かがり		はとめ穴。厚地や毛足の長い布のボタン穴かがりに使用します。ブレザー、スーツ、コートなどに使用します。	7.0	3.0 - 7.0	0.5	0.3 - 1.0	×
4-11 	ボタン穴かがり		はとめ穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。ジーンズ、ズボンなどに使用します。	7.0	3.0 - 7.0	0.5	0.3 - 1.0	×
4-12 	ボタン穴かがり		はとめ穴。厚地や毛足の長い布の横穴ボタン穴かがりに使用します。厚手のコートなどに使用します。	7.0	3.0 - 7.0	0.5	0.3 - 1.0	×

* ×：使用できません。

「ボタンの直径+厚み」が約 28mm 以下のボタン穴を作ることができます。
ボタン穴かがりは、次の順で押えの手前から後ろに向かってぬっていきます。



3
実用ぬい

⚠ 注意

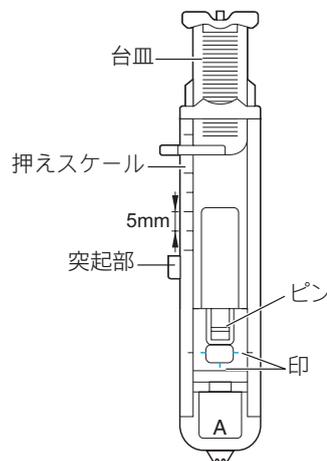
- 押えの交換は、必ず  **針・押え交換** を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。



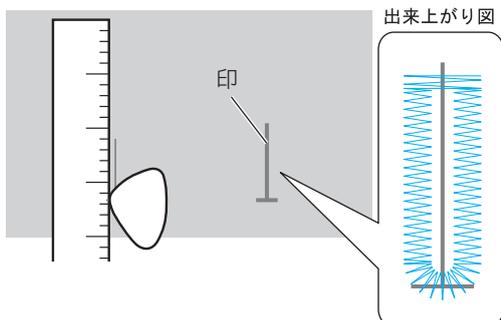
お知らせ

ボタン穴かがりをするときは、ぬい目の長さや振り幅を確認するため、必ず試しぬいをしましょう。

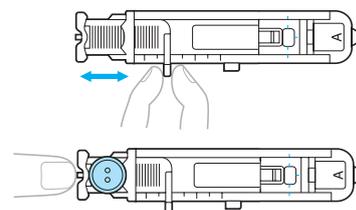
ボタン穴かがりで使用するボタン穴かがり押え < A > の各部の名称は次のとおりです。



- 1 ボタン穴かがりをする位置にチャコペンなどで印を付けます。

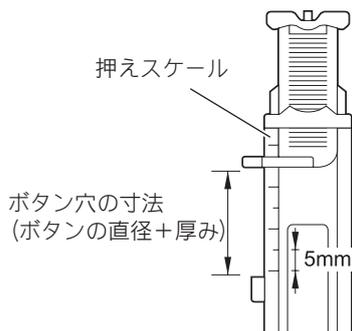


- 2 ボタン穴かがり押え < A > の台皿を引き出し、ボタンをのせてはさみます。

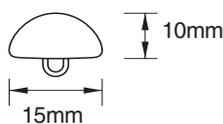


ボタンが台皿にのらないとき

「ボタンの直径+厚み」を、押えスケールの目盛り(1目盛り5mm)に合わせて、ボタンホールの大きさを決めます。

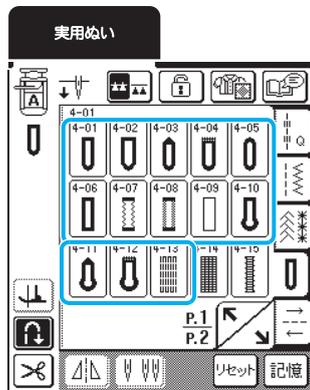


[例] 直径 15mm、厚み 10mm のボタンの場合
→スケールを 25mm に合わせる

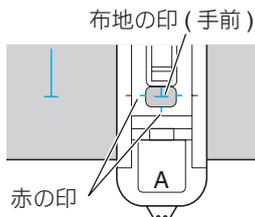


→ ボタン穴かがりの大きさが決まります。

- 3** ボタン穴かがり押え< A >を取り付けます。(P.35 参照)
- 4** 模様を選びます。(P.57 参照)



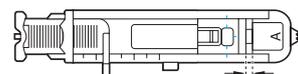
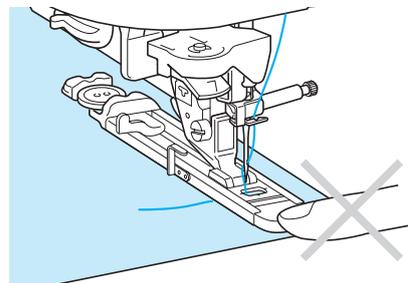
- 5** 押えの赤の印と布地の印の手前側を合わせ、押えを下げます。



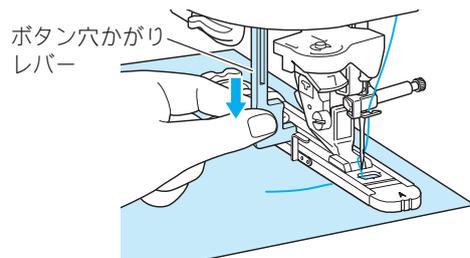
- 上糸は押えの穴から押えの下に通しておきます。

お願い

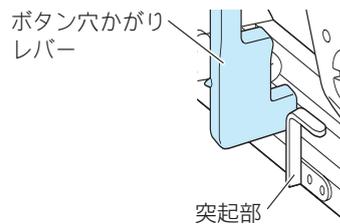
- 印を合わせるときに、布地に針をささないでください。上手くぬえないことがあります。
- 押えを下げるときに、押えの手前部分を押さないでください。ボタン穴かがりを正確な大きさにぬえません。



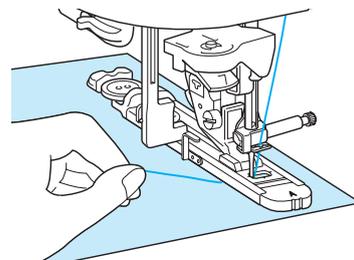
- 6** ミシン本体のボタン穴かがりレバーを一番下まで引き下げます。



- ボタン穴かがりレバーが、押えの突起部の後ろ側になるようにします。

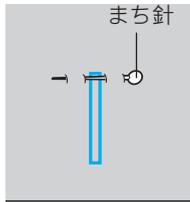


- 7** 左手で上糸を軽く持ち、ミシンをスタートさせます。

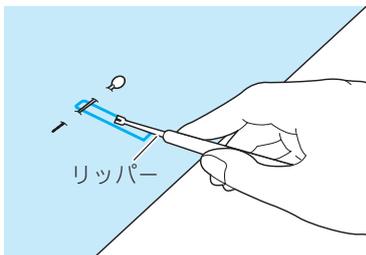


→ 後ろに向かってぬっていきます。ぬい終わると、自動的に止めぬいをしてストップします。

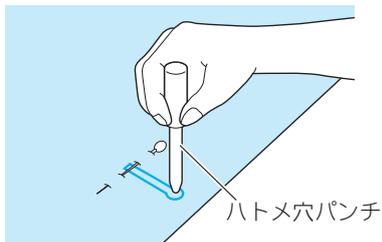
- 8 糸を切り、押えを上げて布地を取り出します。
- 9 ボタン穴かがりレバーをもとに戻します。
- 10 ぬった部分を切らないように、かんぬき止めの内側にまち針をさします。



- 11 付属のリッパーでボタン穴を切り開きます。



- はとめ穴の場合は、付属のはとめ穴パンチで穴をあけてから、リッパーで切り開きます。



お願い

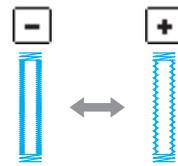
はとめ穴パンチを使用するときは、布地の下に厚紙などを敷いてください。

注意

リッパーで穴をあける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにケガをするおそれがあります。(本来の目的以外での使用はしないでください。)

■ ぬい目のあらさを変えるとき

ぬい目の長さを調節します。

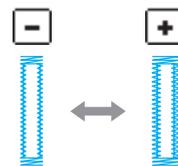


お知らせ

- P.48 「ぬい目の長さを調整する」を参照してください。
- 厚地の場合などで布地が進まないときは、ぬい目をあらくします。

■ 振り幅を変えるとき

ジグザグの振り幅を調節します。



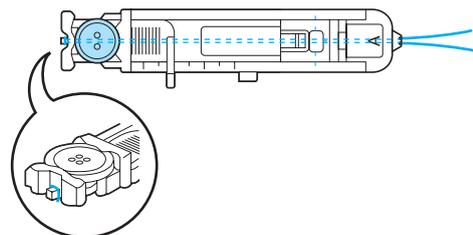
お知らせ

- P.47 「ジグザグの振り幅を調節する」を参照してください。

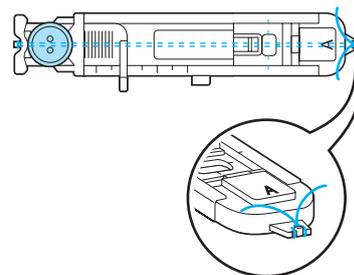
■ 伸びる布地をぬうとき

伸びる布地にボタン穴かがりをするときは、芯ひもを入れてぬいます。

- 1 ボタン穴かがり押え < A > の図の部分に芯ひもをかけます。



- 2 芯ひもの端を反対側のミゾにはさんで軽く結びます。

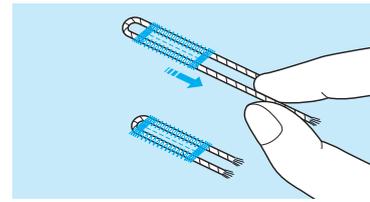


3

実用ぬい

- 3 ボタン穴かがり押え < A > を取り付けます。(P.35 参照)
- 4  または  を選びます。
- 5 芯ひもの太さより大きめに振り幅を設定します。
- 6 押えレバーとボタン穴かがりレバーを下げて、ミシンをスタートさせます。

- 7 ぬい終わったら、芯ひもを引いてたるみをなくします。



- 8 手ぬい針を使用して布地の裏側に芯ひもを引き出して結びます。

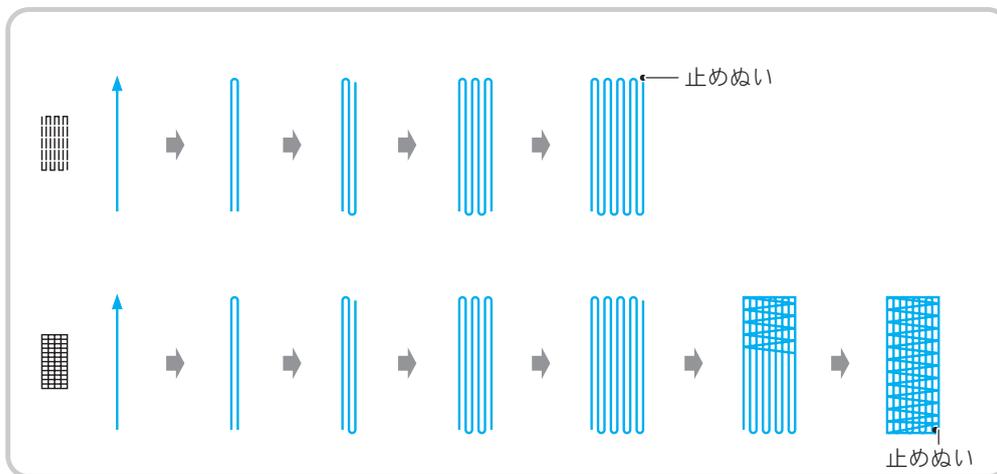
■ ダーニング (つくろいぬい)

つくろいぬいなどに使います。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針*
				自動	手動	自動	手動	
	ダーニング		普通地のつくろいぬいに使用します。	7.0	2.5 - 7.0	2.0	0.4 - 2.5	×
	ダーニング		厚地のつくろいぬいに使用します。	7.0	2.5 - 7.0	2.0	0.4 - 2.5	×

* × : 使用できません。

ダーニングぬいは、図のように押えの手前から後ろに向かってぬわれます。



⚠ 注意



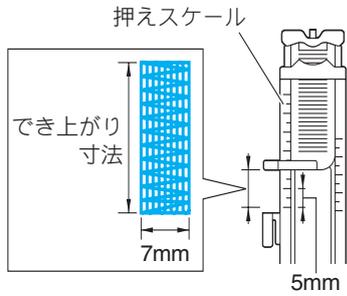
- 押えの交換は、必ず  を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。

- 1 模様を選びます。
- 2 押えスケールの目盛りをダーニングぬいの長さに合わせて、ボタン穴かがり押え < A > を取り付けます。

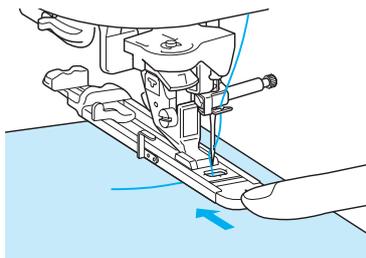


お知らせ

最大 28mm のダーニングぬいができます。

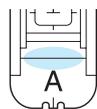


- 3 指で押えを後ろに押しながら、ぬう位置に押えを合わせ、押えレバーを下げます。



お願い

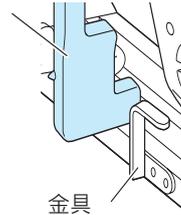
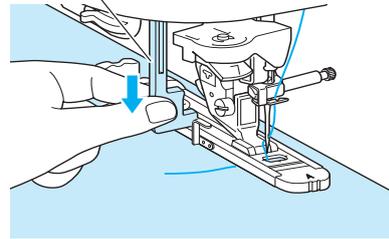
- 上糸は押えの下に入れてください。
- 水色で示された部分（下図参照）にすき間がなくなるまで、穴かがり押えの外枠を指で押してください。すき間があると、ダーニングぬいのでき上がり寸法に誤差が生じます。



- 4 ボタン穴かがりレバーを下げます。

- 図のように、ボタン穴かがりレバーは金具の後ろ側に下げます。

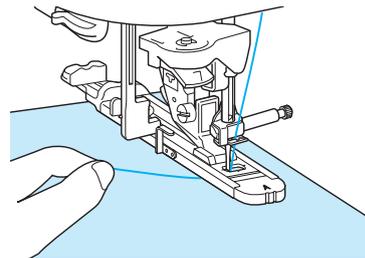
ボタン穴かがりレバー



金具

- 5 上糸の端を軽く引っ張ってぬい始めます。

- あらかじめ自動糸切りを設定しておく、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に糸を切ります。



お願い

厚みがあって布地が送られないときは、ぬい目の長さの **+** を押してぬい目をあらくしてください。



3

実用ぬい

かんどめ

かんどめは、止めぬい的一种で、ポケット口やスリットのあき止まりなど、力のかかる部分を補強するときに使います。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針*
				自動	手動	自動	手動	
	かんどめ		ぬい目がほどけやすい箇所やポケット口などのあき止まり部分の力の加わる部分を補強したい場合に用います。	2.0	1.0-3.0	0.4	0.3-1.0	×

* × : 使用できません。

⚠ 注意



- 押えの交換は、必ず を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが動してケガの原因になります。

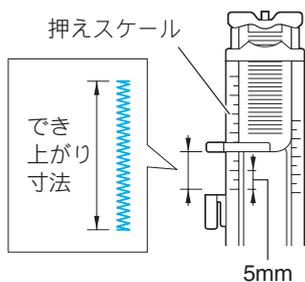
1 を押します。

2 押えスケールの目盛りをかんどめの長さに合わせ、ボタン穴かがり押え < A > を取り付けます。

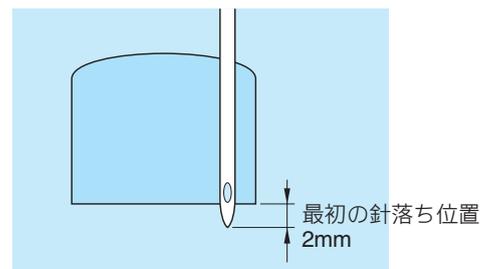
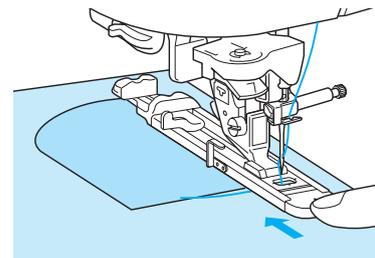


お知らせ

かんどめの長さは5mm～28mmの範囲で設定できます。一般的な長さは5mm～10mmの範囲です。(用途により、異なります。)



3 ポケット口を手前にくるように布地を置きます。指でボタン穴かがり押え < A > を後ろに押しながら、最初の針落ち位置を確認して押えを下げます。



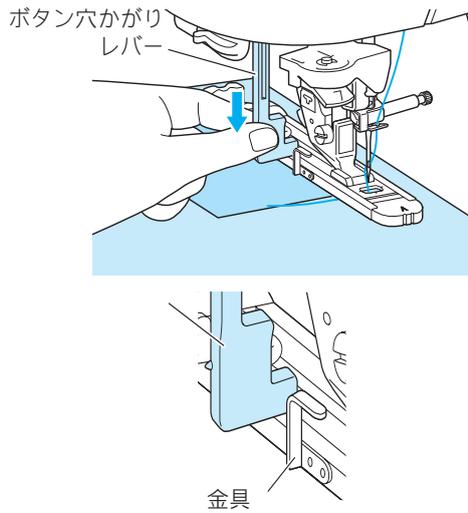
💡 お願い

- 上糸は押えの下に入れてください。
- 水色で示された部分(下図参照)にすき間がなくなるまで、穴かがり押えの外枠を指で押してください。すき間があると、かんどめのでき上がり寸法に誤差が生じます。



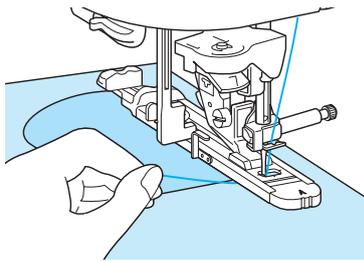
4 ボタン穴かがりレバーを下げます。

- 図のように、ボタン穴かがりレバーは金具の後ろ側に下げます。



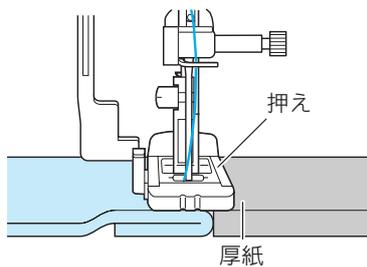
5 上糸の端を軽く引っ張ってぬい始めます。

- ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。
- あらかじめ自動糸切りを設定しておく、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に糸を切ります。



■ 厚地の場合

布または紙を折りたたんだものを押えの左側にはさんで、段差ができないようにしてください。



お願い

厚みがあって布地が送られないときは、「ぬい目」の長さの **+** を押してぬい目をあらくしてぬってください。



3

実用ぬい

ボタンつけ

2つ穴または4つ穴のボタンをつけることができます。



お願い

ボタンつけをするときは、自動糸切り機能を使用しないでください。糸の始末ができなくなります。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ* (mm)		2本針**
				自動	手動	自動	手動	
4-16	ボタンつけ		ボタンつけに使用します。	3.5	2.5 - 4.5	-	-	×

* - : 調節できません。 ** × : 使用できません。

注意



- 押えの交換は、必ず を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。

1

を押します。

→ が自動的に に変わり、送り歯が下がります。



お知らせ

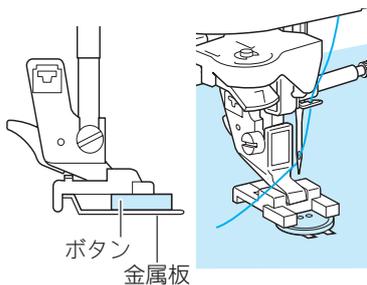
ボタンつけ模様を選んだ場合、 を設定できません。

2

押えレバーを上げます。

3

<M>押えを取り付け、ボタンを押えにはさんで押えを下げます。



4

プリーを手前に回し、針がボタンに当たらずにボタン穴に交互に入ることを確かめます。

注意



ぬうときには、ボタンに針が当たらないように注意してください。針が折れるとケガをするおそれがあります。

5

上糸の端を軽く持ってぬい始めます。

- ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

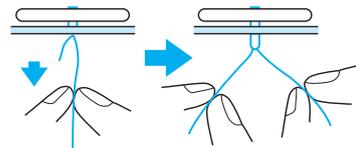


お願い

- ボタンつけの操作を2回繰り返すと、ボタンがしっかりつきます。
- ジグザグの振り幅をボタン穴の間隔に合わせます。

6

ぬい始めの上糸と下糸をはさみで切り取り、ぬい終わりの上糸を布地の裏に引き出して2本を結びます。

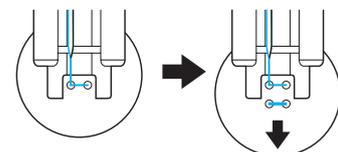


お知らせ

他の模様を選択すると、 は元の設定に戻ります。

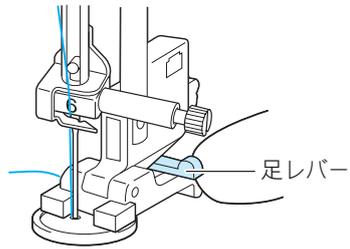
■ 4つ穴ボタンをつける

手前の2つの穴からボタンつけをします。ぬい終わったら押えを上げ、針が次の2つ穴に入るように布を手前に引き、ボタンつけをします。

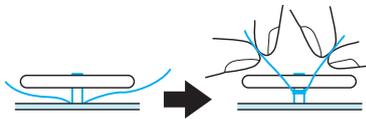


■ ボタン足をつける

- 1 足レバーを手前に押しします。



- 2 ぬい終わったら、長めに切った上糸の両端をボタンと布地の間に引き出します。上糸をボタン足に巻きつけて結びます。



- 3 ぬい始めとぬい終わりの下糸の両端を布地の裏側で結びます。



3

実用ぬい

アイレット

ベルトの穴かがりなどに使います。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針*
				自動	手動	自動	手動	
4-17	アイレット		ベルトの調節用の穴をかがる ときなどに使用します。普通地 に使用します。	7.0	7.0, 6.0, 5.0	7.0	7.0, 6.0, 5.0	×

* × : 使用できません。

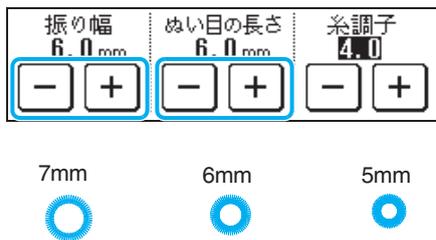
⚠ 注意



- 押えの交換は、必ず  を押してから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。

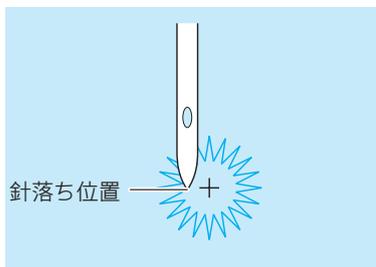
1  を押して、< N > 押えを取り付けます。

2 振り幅の  または  またはぬい目の長さの  または  を押して、アイレットの大きさを設定します。

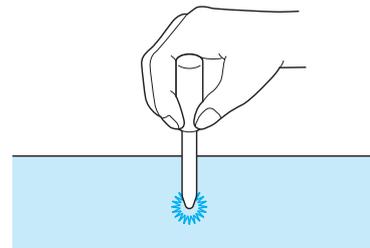


3 ぬい始めの位置に針を下げ、押えを下げて、ぬい始めます。

- ぬい終わりに、止めぬいを自動的にぬいます。
- あらかじめ自動糸切りを設定しておくと、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に糸を切ります。



4 はとめ穴パンチで穴をあけます。



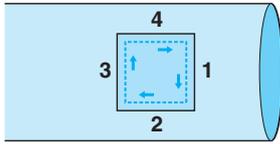
横送り（直線・ジグザグ）

袖やズボンなどの筒状の布地にワッペンなどをつける場合などに使います。

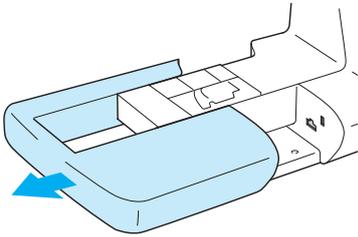


お知らせ

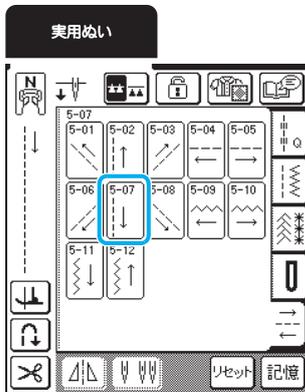
筒状の布地をフリーアームに通し、図のようにぬいます。



- 1 補助テーブルを外してフリーアームにします。



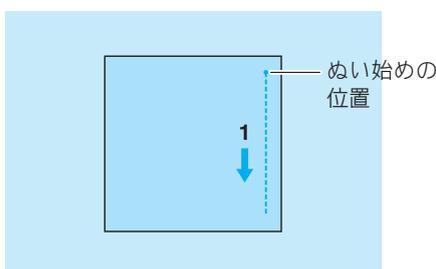
- 2 布地をフリーアームに通します。
- 3  を押して、< N > 押えを取り付けます。



お知らせ

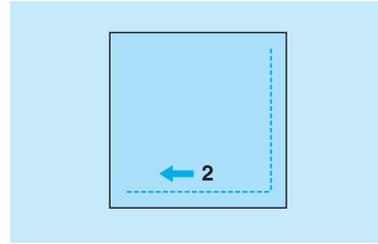
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

- 4 ぬい始めの位置に針をさし、ぬい目1をぬいます。

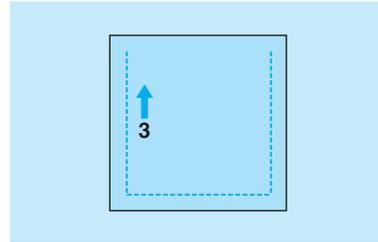


- 5  を押して、ぬい目2をぬいます。

- 布地が曲がらないように手で軽く押さえながらぬってください。

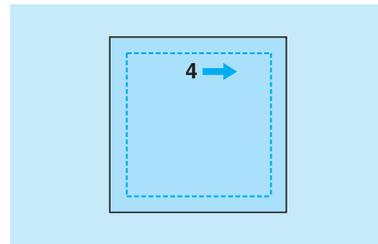


- 6  を押して、ぬい目3をぬいます。



- 7  を押して、ぬい目4をぬいます。

- 布地が曲がらないように手で軽く押さえながらぬってください。



お知らせ

ジグザグぬいは、横送り模様にも使えます。

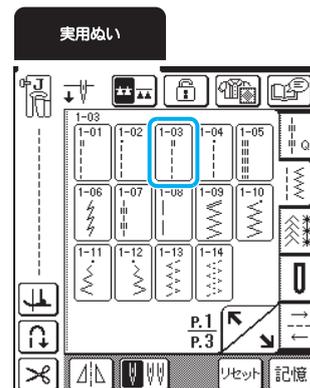
ファスナーつけ

■ つき合わせ

袋物などに使います。

- 1  を押します。

- 必ず直線（中基線）を選んでください。



3

実用ぬい

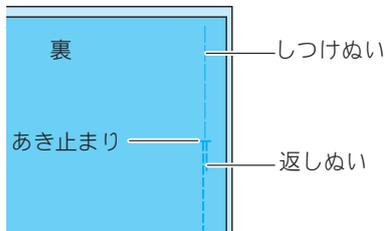


お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

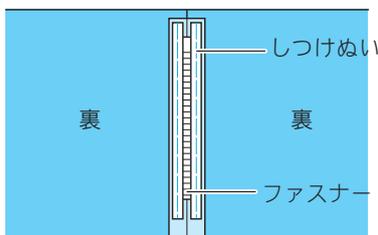
2

<J>押えを取り付け、あき止まりまで直線でぬい、あきの部分はしつけぬいをかけます。



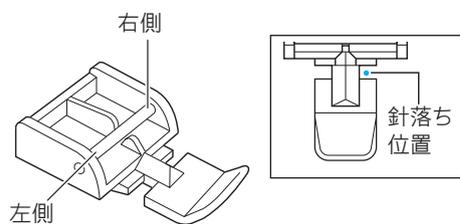
3

ぬいしろを割り、図のようにファスナーの中央とぬい目を合わせ、しつけぬいでファスナーを付けます。



4

<J>押えを外し、片押え<I>の右側のピンを押えホルダーに取り付けます。



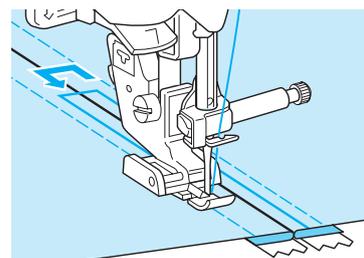
注意



片押え<I>を使用するときは、必ず直線（中基線）を使用し、プーリーをゆっくりと手前に回して針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を選ぶと、針が押えに当たり、折れてケガをするおそれがあります。

5

ファスナーの周囲をぬい、しつけを外します。



注意



ぬうときには、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

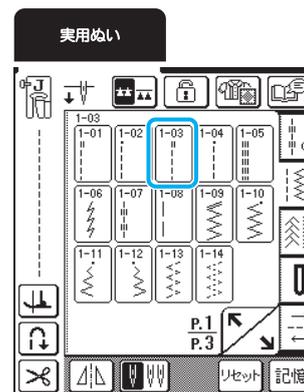
脇あき

スカートやワンピースの脇あきに使います。

1

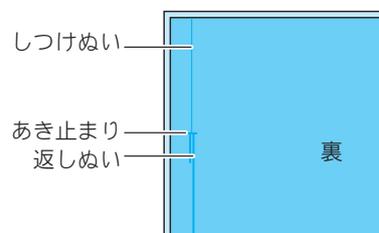
1-03を押します。

- 必ず、直線（中基線）を選んでください。

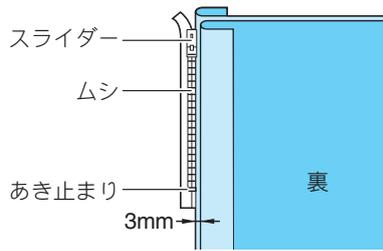


2

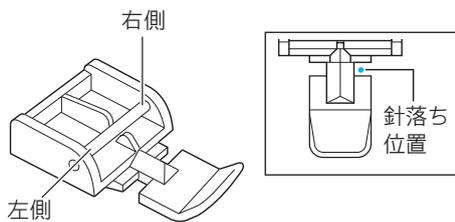
<J>押えを取り付け、あき止まりまで直線でぬい、あきの部分はしつけぬいをします。



- 3 ぬいしろを割り、後ろスカート（後ろ身頃）のぬいしろを 3mm 出して折り山をファスナーのムシのきわに合わせます。



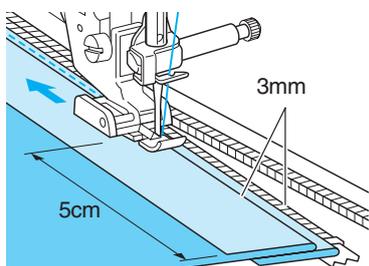
- 4 <J> 押えを外し、片押え<I>の右側のピンを押えホルダーに合わせて取り付けます。



注意

片押え<I>を使用するときは、必ず直線（中基線）を使用し、プーリーをゆっくりと手前に回して針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を選ぶと、針が押えに当たり、折れてケガをするおそれがあります。

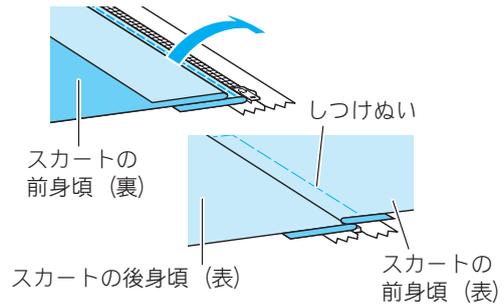
- 5 3mm の幅の中心をあき止まりからぬいませす。
 6 ファスナーの先端から約 5cm のところで一旦ミシンを止めます。
 7 スライダーを下げ、端までぬいませす。



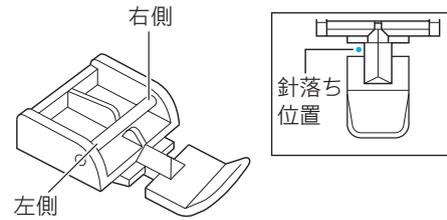
注意

ぬうときには、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

- 8 ファスナーを閉じて表に返し、もう片方にしつけぬいをします。



- 9 押えを外し、片押え<I>の左側のピンを押えホルダーに合わせて付け替えます。

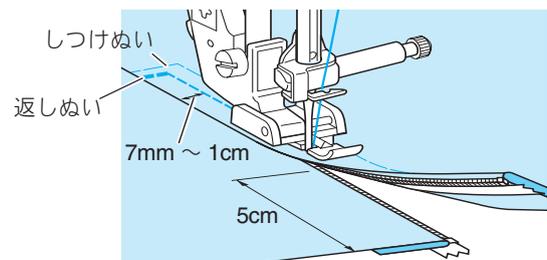


- 10 押えの左端に、ファスナーのムシがくるように布を置ませす。

- 11 ファスナーの端まで返しぬいをし、ぬい続ませす。

- 12 布端から約 5cm 手前で針を落としたまましつけぬいを外ませす。

- 13 スライダーを下げ、端までぬいませす。



3

実用ぬい



第 4 章

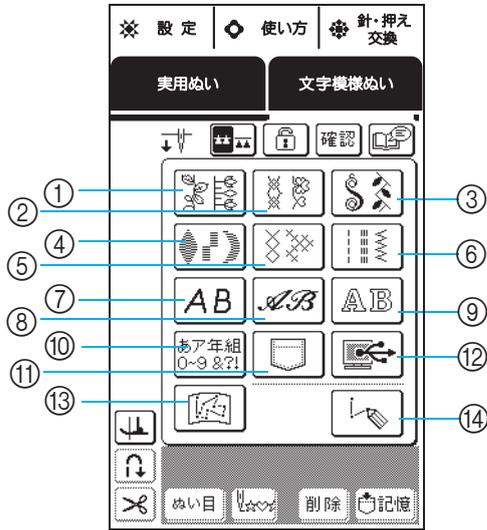
文字・模様ぬい

模様の選び方	108
■ 模様選択画面	108
大型飾り模様／7mm 飾り模様／大型サテンステッチ／7mm サテンステッチ／ クロスステッチ／実用飾り模様	109
アルファベット	109
ひらがな／カタカナ	111
文字・模様をぬってみましょう	113
きれいにぬうために	113
文字・模様のぬい方	113
模様の調整をする	114
模様の編集のしかた	116
■ キーのはたらき	116
模様の大きさを変える	117
模様の長さを変える（7mm サテンステッチのみ）	117
模様を上下反転する	117
模様を左右反転する	117
模様の連続ぬい／単独ぬい	117
模様の糸密度を変える（大型サテンステッチのみ）	118
模様の始めに戻る	118
模様の組み合わせ	119
模様の組み合わせをする前に	119
ちがう模様を組み合わせる	119
大きさを変えた模様を組み合わせる	121
反転模様を組み合わせる	122
長さを変えた模様を組み合わせる	123
ステップ模様を作る（7mm サテンステッチのみ）	124
■ 模様の組み合わせの例	125
模様の記憶	126
データに関する注意	126
■ 使用可能なデータの種類の	126
■ 使用可能なパソコンの種類と OS	126
■ パソコンでデータを取り扱うときの注意	126
■ 商標	126
ミシンのメモリに模様を記憶する	126
■ 記憶できないときは	127
パソコンに模様を記憶する	128
ミシンのメモリから模様を呼び出す	129
パソコンから模様を呼び出す	130

模様の選び方

■ 模様選択画面

文字模様めい を押すと次の画面が表示されます。

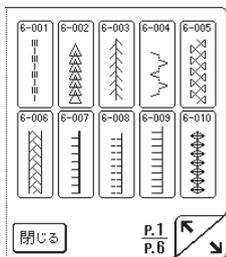


- ① 大型飾り模様
- ② 7mm 飾り模様
- ③ 大型サテンステッチ
- ④ 7mm サテンステッチ
- ⑤ クロスステッチ
- ⑥ 実用飾り模様
- ⑦ アルファベット (ゴシック体)
- ⑧ アルファベット (筆記体)
- ⑨ アルファベット (アウトライン文字)
- ⑩ ひらがな/カタカナ
- ⑪ 記憶した模様の呼び出し (P.129参照)
- ⑫ パソコンからの模様の呼び出し (P.130参照)
- ⑬ マイイラスト機能で作成して記憶した模様の呼び出し (P.143参照)
- ⑭ マイイラスト機能での模様作成 (P.136参照)

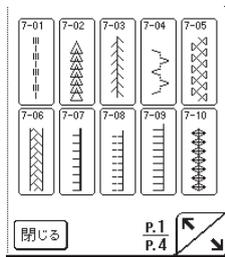
を押すと、前または次のページが表示されます。

②、④、⑥は、振り幅が7mm以下の模様です。ぬい目の長さと振り幅は調節できます。

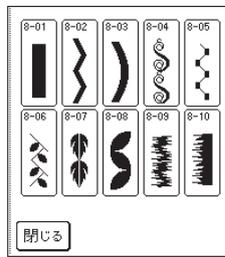
① 大型飾り模様



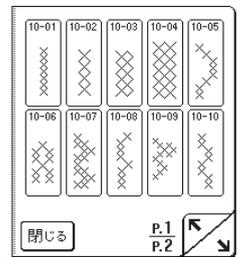
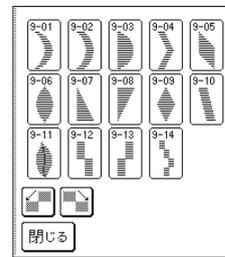
② 7mm 飾り模様



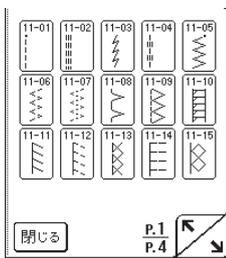
③ 大型サテンステッチ



④ 7mm サテンステッチ ⑤ クロスステッチ



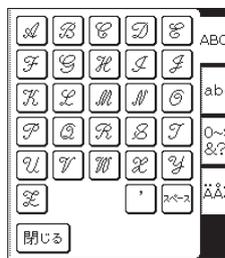
⑥ 実用飾り模様



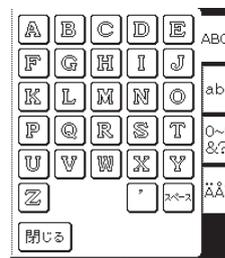
⑦ アルファベット (ゴシック体)



⑧ アルファベット (筆記体)



⑨ アルファベット (アウトライン文字)



⑩ ひらがな/カタカナ



お願い

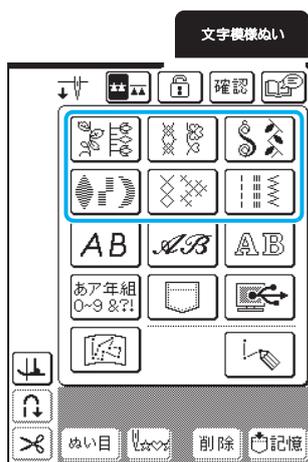
画面がロックされている () ときは、 または がロックされていると、他のキーは操作できません。



を押してロックを解除してください。画面

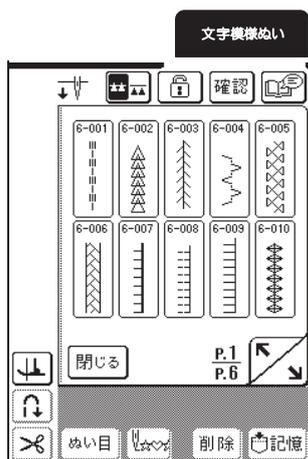
大型飾り模様 / 7mm 飾り模様 / 大型サテンステッチ / 7mm サテンステッチ / クロスステッチ / 実用飾り模様

1 **文字模様ぬい** を押して、お好みの模様の種類を選びます。



2 お好みの模様を選びます。

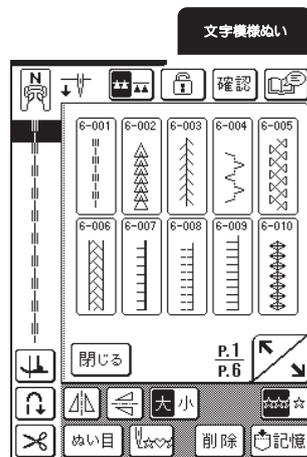
- を押すと、次のページが表示されます。
- を押すと、前のページに戻ります。
- **閉じる** を押すと、模様の種類選択画面に戻ります。



→ 押えの記号の下に、選んだ模様が表示されます。

3 模様を組み合わせる場合は、次の模様を選びます。

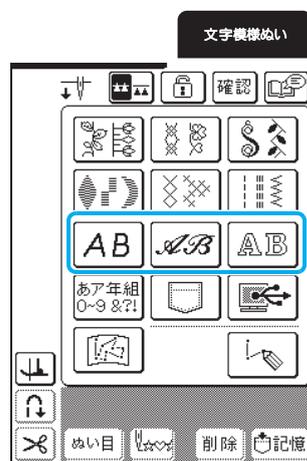
- **確認** を押すと、選んだ模様の組み合わせ結果を確認できます。
- まちがえて模様を選んだときは、**削除** を押して模様を取り消してから、新しい模様を選びます。



アルファベット

アルファベットは 3 書体内蔵されています。文字の選び方はどの書体でも同じです。

1 **文字模様ぬい** を押して、お好みの書体を選びます。

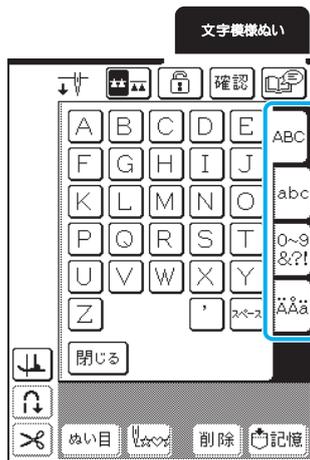


4

文字・模様ぬい

2     を押してぬいたい文字の画面を表示し、文字を選びます。この手順を繰り返し、必要な文字を選びます。

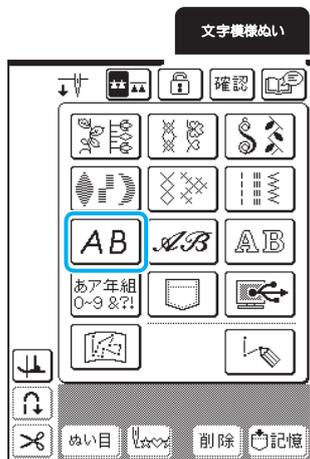
- まちがえて文字を選んだときは、 を押して文字を取り消してから新しい文字を選んでください。
- 書体を変えるときは、 を押してから新しい書体を選びます。
-  を押すと、選んだ文字の確認ができます。



→ 押えの記号の下に、選んだ文字が表示されます。

例) 「Bus」 を選ぶ場合

1  を押します。



2  を押します。



3  を押します。



4  を押し、 を押します。



→ 「Bus」 が表示されます。

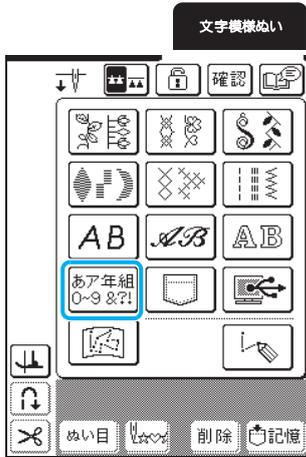


お知らせ

文字は 70 文字まで組み合わせることができます。

ひらがな／カタカナ

1 文字模様ぬい を押して **あア年組 0~9 &?!** を選びます。



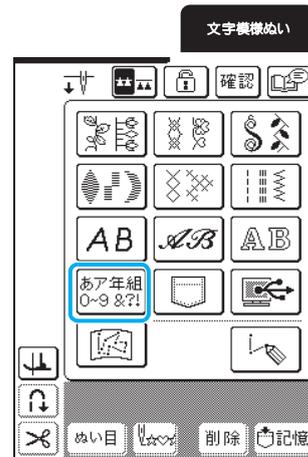
2 **あいう** **アイウ** **〇〇** **&年組** を押してぬいたい文字の画面を表示し、文字を選びます。この操作を繰り返します。

- ひらがな・カタカナは上段のキーで「行」を選び、下段に表示された文字を選びます。
- まちがえて文字を選んだときは、**削除** を押して文字を取り消してから新しい文字を選んでください。
- **確認** を押すと選んだ文字の確認ができます。

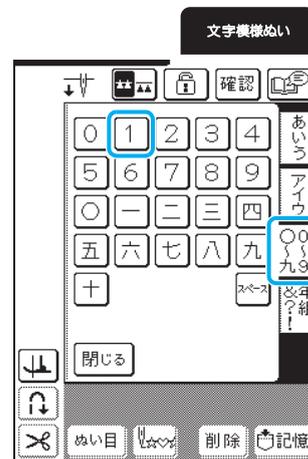


例) 「1年かとう」を選ぶには

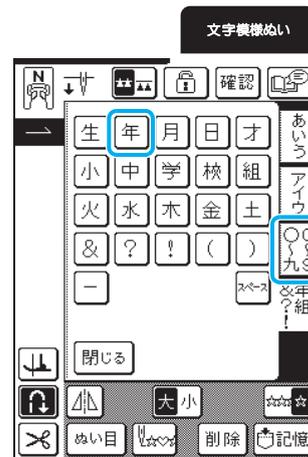
1 **あア年組 0~9 &?!** を押します。



2 **〇〇** **九** を押して、**1** を押します。



3 **&年組** を押して、**年** を押します。



4 **スペース** (スペース) を押します。



4

文字・模様ぬい

5 あいう を押します。



6 か行 を押して、か を押します。



7 た行 を押して、と を押します。



8 あ行 を押して、う を押します。



→ 「1年 かとう」が表示されます。



お知らせ

文字は70文字まで組み合わせることができます。

文字・模様をぬってみましょう

きれいにぬうために



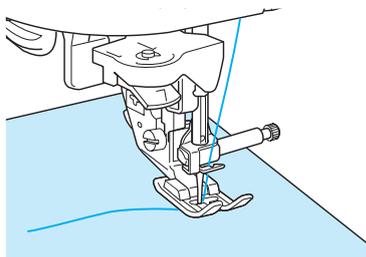
お願い

- きれいに文字模様をぬうために、布地・糸・針は以下の表を参照してください。
- 布地の種類や厚さ、接着芯の種類などによって、模様がくずれることがあります。必ず試しぬいをしてください。
- サテンステッチをぬうときは、ぬい縮みや目詰まりを起こすことがあるため、必ず接着芯を貼ってください。
- ぬうときは布地がずれないように、手を添えてぬってください。

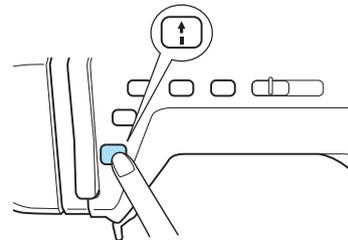
布地	伸びる布地、薄地、織りのあらい布地は、裏面に別売の接着芯を貼ってください。接着芯を貼りたくないときは、ハترون紙などの薄い紙を布地の下に敷いてぬってください。
糸	50～60番
針	薄地、普通地、伸びる布地：ゴールデン針 厚地：家庭用ミシン針（HA×1）14番
押え	< N > 押え < N > 押え以外を使用すると、きれいに仕上がらないことがあります。

文字・模様のぬい方

- 1 模様を選びます。
- 2 < N > 押えを取り付けます。
- 3 布地を押えの下に置き、上糸を押えの下から横に出して押えレバーを下げます。



- 4 返しぬいスイッチを押して止めぬいをしてから、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。



⚠ 注意

7mm サテンステッチを使った模様などでぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。ぬい目の長さの調整のしかたについては、P.48 を参照してください。

📖 お知らせ

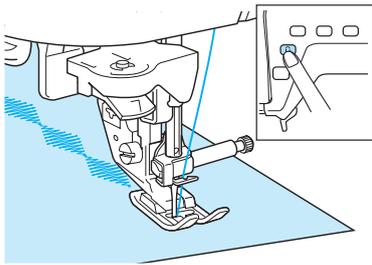
ぬっている途中で布地を引っ張ったり押さえたりすると、模様がくずれるおそれがあります。また、模様によっては前後に加え左右にも動くため、布地がまっすぐ送られるように布を軽く押さえながらぬってください。



4

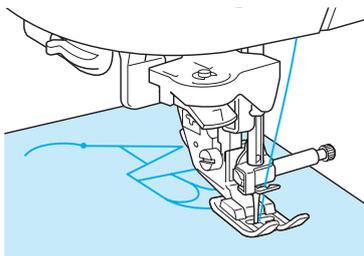
文字・模様ぬい

- 5** スタート/ストップスイッチを押してミシンを止め、返しぬいスイッチを押して止めぬいをします。

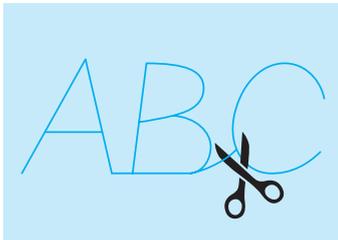


お知らせ

- 文字ぬいの場合、ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。(1文字ごと模様ぬい始めとぬい終わりに、止めぬいが自動設定されています。)



- ぬい終わったら、余分な糸（渡り糸）を切り取ります。



お願い

選択した模様によっては針が上に停止したまま布地を送ります。そのとき、縫製音とは異なった音がしますが故障ではありません。

模様の調整をする

布地の種類や厚さ、ぬう速さ、接着芯の種類などによっては、模様がくずれることがあります。このようなときは、実際にぬうときと同じ条件で



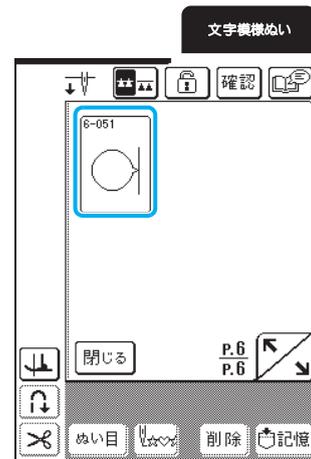
を選び試しぬ

いをして、次のように調整してください。

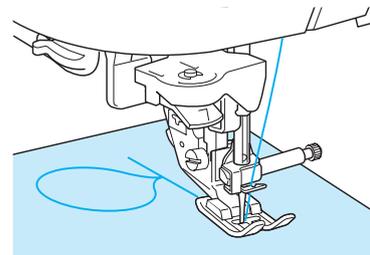


で模様の調整をしても模様がくずれる場合は、個々の模様で調整してください。

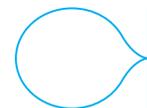
- 1**  を押し、P. 6 の  を押します。



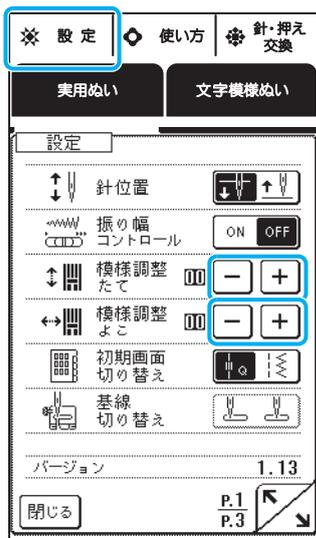
- 2** < N > 押えを取り付け、模様をぬいます。



- 3** ぬい上がりを下図と比較してください。



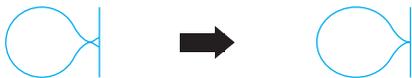
4 ※ 設定 を押します。



• 模様がつまっているとき：

「模様調整たて」の **+** を押します。

→ 押すごとに調整値が大きくなり、模様が伸びていきます。



• 模様にすきまがあるとき：

「模様調整たて」の **-** を押します。

→ 押すごとに調整値が小さくなり、模様がつまっています。



• 模様が左にずれているとき：

「模様調整よこ」の **+** を押します。

→ 押すごとに調整値が大きくなり、模様が右にずれていきます。



• 模様が右にずれているとき：

「模様調整よこ」の **-** を押します。

→ 押すごとに調整値が小さくなり、模様が左にずれていきます。



5 もう一度ぬいます。模様がくずれている場合はもう一度調整します。正しい模様がぬえるようになるまで調整します。



お知らせ

設定画面のままぬうことができます。

6 正しい模様がぬえるようになったら、調整を終了します。閉じるを押して、元の画面に戻ります。



お願い

調整値は、変更するまで維持されます。



4

文字・模様ぬい

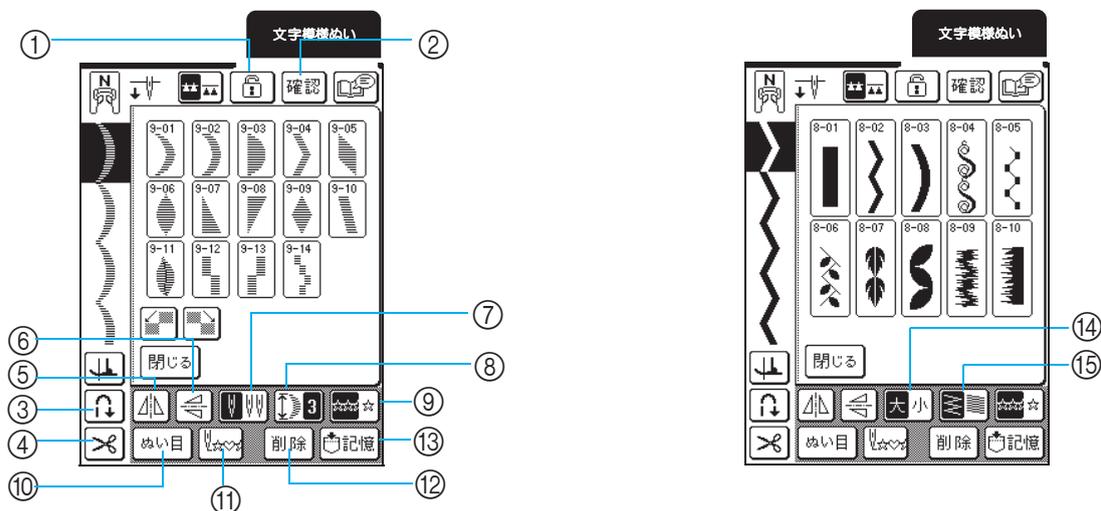
模様編集のしかた

編集機能を使って、大きさを変えたり、反転させるなど、様々な方法で模様を編集できます。



お知らせ

模様の種類によっては、編集機能が使えないものもあります。



■ キーのはたらき

No.	キー	名称	はたらき	参照ページ
①		画面ロックキー	画面をロックするときに押します。画面をロックすると、振り幅やぬい目の長さなどの各設定がロック（固定）されます。もう一度押すと、ロックは解除されます。	53
②		確認キー	模様（文字）を確認するときに押します。	109, 110
③		自動止めぬいキー	自動止めぬいを設定するときに押します。自動止めぬいをあらかじめ設定しておく、ぬい始めとぬい終わりに返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬいをします。もう一度押すと、設定は解除されます。	50
④		自動糸切りキー	自動糸切りを設定するときに押します。自動糸切りをあらかじめ設定しておく、ぬい終わりに自動的に糸を切ります。もう一度押すと、設定は解除されます。	50
⑤		左右反転キー	選んだ模様が左右に反転します。	117
⑥		上下反転キー	選んだ模様が上下に反転します。	117
⑦		2本針キー	2本針を使用するときに押します。もう一度押すと、1本針の設定に戻ります。	33
⑧		模様の長さキー	選んだ 7mm サテンステッチ模様の長さを 5 段階から選択できます。ジグザグの振り幅・ぬい目の長さを変更せずに、模様の長さを変更できます。	117
⑨		連続/単独ぬいキー	連続ぬいと単独ぬいの切り替えをします。	117
⑩		模様設定キー	選んだ模様の振り幅、ぬい目の長さ、糸調子を調整する画面を表示します。通常は自動的に標準の値が設定されています。	47
⑪		模様の頭出しキー	停止時に押すと、縫製中の模様を先頭に戻すことができます。	118
⑫		削除キー	選んだ模様を取り消します。まちがえて模様を選んだときに押します。模様を組み合わせている場合は、押すごとに最後に組み合わせた模様から順に取り消されます。	109, 110
⑬		記憶キー	組み合わせ模様を記憶します。	126
⑭		大きさキー	選んだ模様の大さが変わります。(大/小)	117
⑮		糸密度キー	選んだ模様の糸密度が変わります。	118

模様の変え

模様を選んでから **大小** を押して、お好みの大きさに反転表示を合わせます。



お知らせ

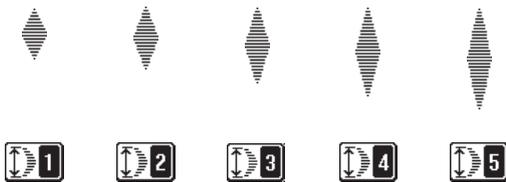
- 大きさを変えた後で続けて模様を選ぶと、大きさを変わるまで同じ大きさで選ばれます。
- 模様を組み合わせた後で、まとめて大きさを換えることはできません。

実物大



模様の長さを換える (7mm サテンステッチのみ)

7mm サテンステッチは、ジグザグの振り幅やぬい目の長さを換えずに、模様の長さを5段階に換更できます。模様を選んでから **1-5** を押して、反転している数字をお好みの長さに合わせます。



模様を上下反転する

模様を選んでから **上下反転** を押すと、模様が上下に反転します。



模様を左右反転する

模様を選んでから **左右反転** を押すと、模様が左右に反転します。



模様の連続ぬい／単独ぬい

連続ぬい を押して、連続ぬい／単独ぬいを切り替えます。



4

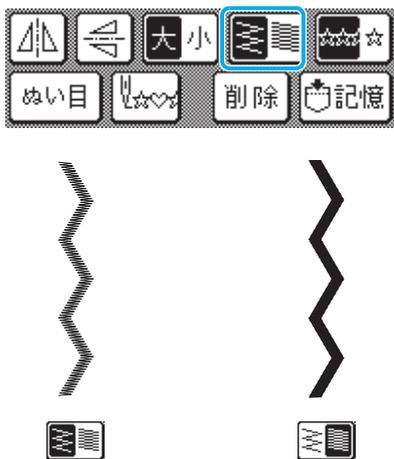
文字・模様ぬい

お知らせ

ぬっている途中で  を押すと、キーは  に変わり、そのときぬっていた模様を 1 サイクル分ぬって自動的に止まります。

模様の糸密度を変える (大型サテンステッチのみ)

模様を選んでから  を押して、お好みの糸密度に反転表示を合わせます。



注意

糸密度を  に変えた後、ぬい目が詰まる場合は、糸密度を  に戻してください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

お知らせ

- 糸密度を変えた後で続けて模様を選ぶと、糸密度を変えるまで同じ大きさで選ばれます。
- 模様を組み合わせた後で、まとめて糸密度を変えることはできません。

模様の始めに戻る

文字・飾り模様の場合、試しぬいの後、または模様が正しくぬわれていないときには模様の始めに戻ることができます。

お知らせ

実用ぬい 画面では、この機能はありません。

- スタート/ストップスイッチを押してミシンを止めてから、 を押します。



→ ミシンを止めた位置から、選択された模様のぬい始めの位置（上の例では、「W」）に戻ります

お知らせ

ミシンの停止中に、模様のキーを押した場合は、組み合わせ模様の最後に模様が追加されます。（下の例では、「!」が追加されています。）



- スタート/ストップスイッチを押して、続行します。

模様の組み合わせ

文字、サテンステッチ、クロスステッチ、飾り模様やマイイラスト機能（第5章「マイイラスト機能」参照）で作成した模様など、模様を組み合わせると使い方が広がります。ちがう種類の模様を組み合わせたり、大きさを変えて組み合わせたり、反転模様を組み合わせたり、いろいろな組み合わせを楽しんでください。

模様の組み合わせをする前に

お願い

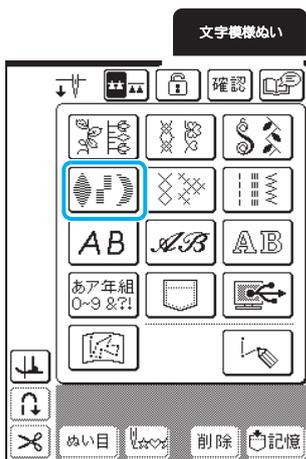
- 模様を組み合わせると、自動的に単独ぬいに設定されます。組み合わせた模様を連続ぬいにしたい場合は、模様を組み合わせた後、を押して、にしてください。
- 模様を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えたり、反転させることはできません。大きさを変えたり、反転させたりしたい場合は、1模様ごとに設定をして組み合わせてください。
- 画面に表示される模様は仕上がりイメージです。実際の仕上がりや大きさと異なる場合があります。実際にぬう前に、試しぬいをしてください。

ちがう模様を組み合わせる

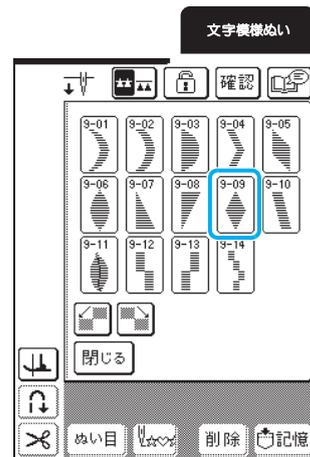
例)



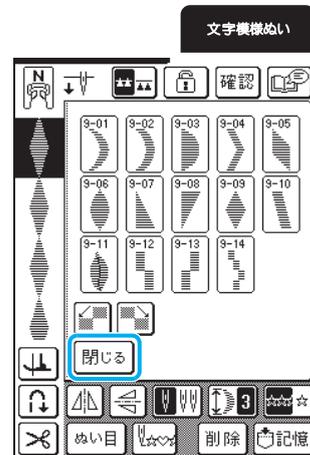
1 を押します。



2 を押します。



3 を押します。



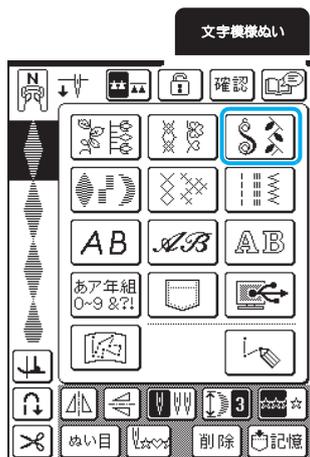
→ 模様の種類選択画面が表示されます。



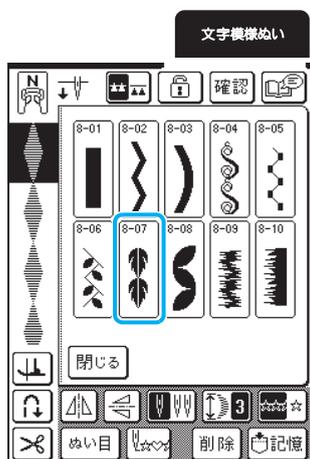
4

文字・模様ぬい

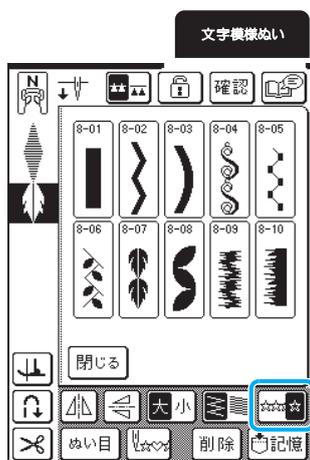
4  を押します。



5  を押します。

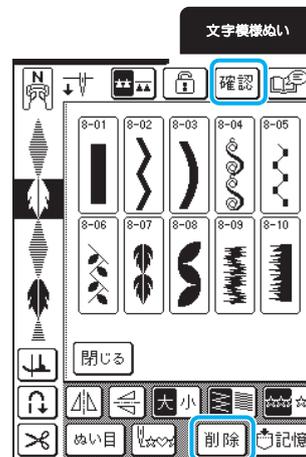


6 連続ぬいにしたいときは、 を押して  にします。

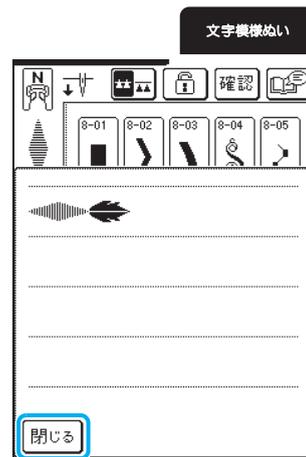


お知らせ

- 模様を取り消したいときは、 を押すと、最後に選んだ模様から1つずつ順番に取り消されます。
- 組み合わせた模様がすべて表示されないときは、 を押すと、模様の確認ができます。



→ 模様のイメージが表示されます。



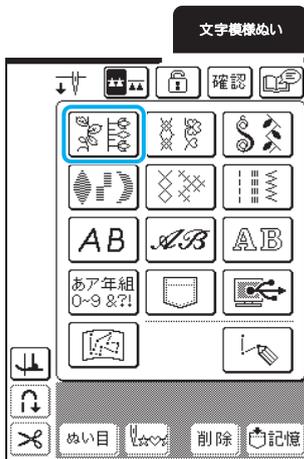
- 元の画面に戻るときは、 を押します。

大きさを変えた模様を組み合わせる

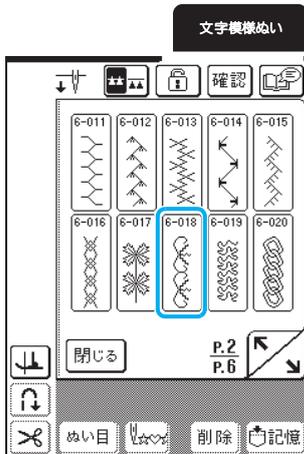
例)



1  を押します。

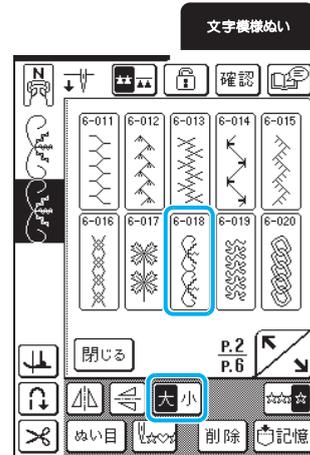


2  を押します。



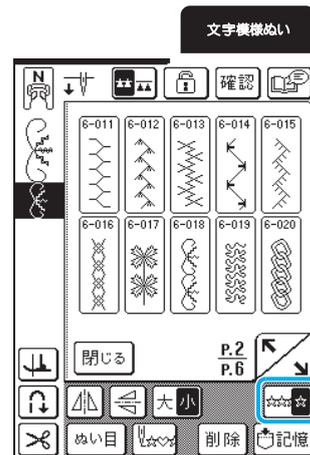
→ 模様が大きく表示されます。

3 もう一度  を押してから、 を押して  にします。



→ 2つ目の模様が小さく表示されます。

4 連続ぬいにしたいときは、 を押して  にします。



→ 模様が連続表示に変わります。



4

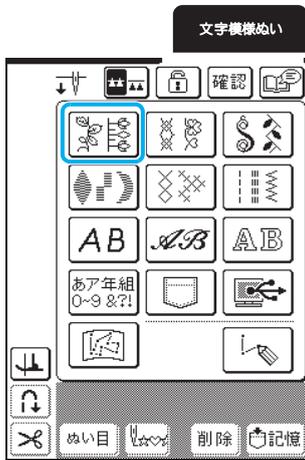
文字・模様ぬい

反転模様を組み合わせる

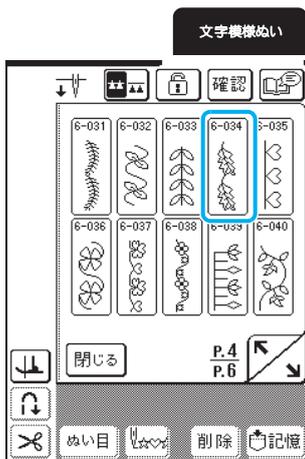
例)



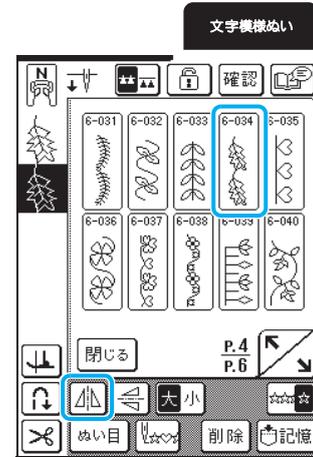
1  を押します。



2  を押します。

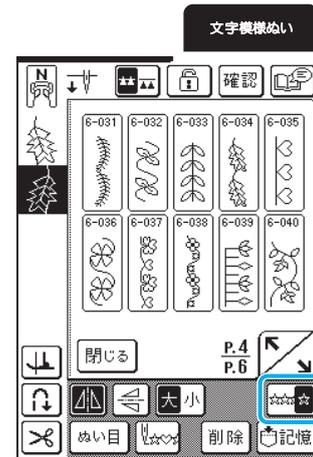


3 もう一度  を押してから、 を押して  にします。



→ 2つ目の模様が左右に反転します。

4 連続ぬいにしたいときは、 を押して  にします。



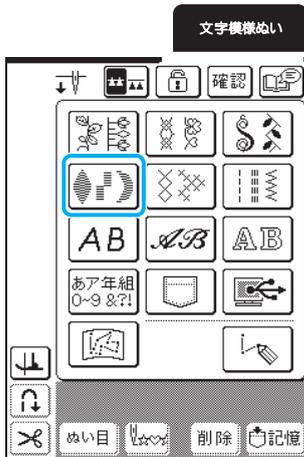
→ 模様が連続表示に変わります。

長さを変えた模様を組み合わせる

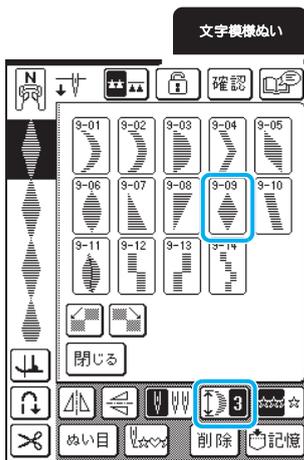
例)



1  を押します。

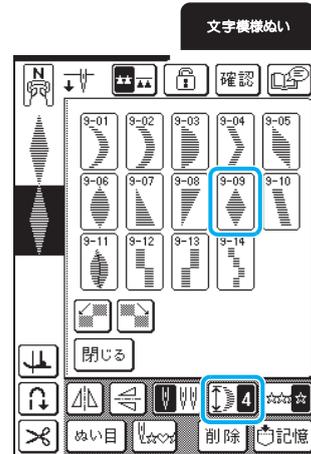


2  を押してから、 を押して  にします。



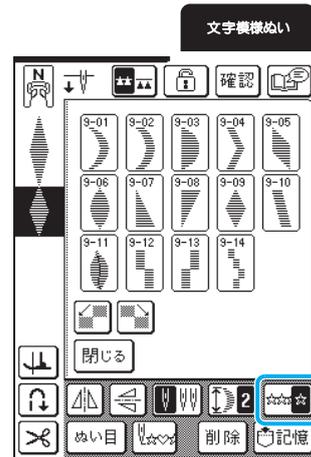
→ 模様が4の長さで表示されます。

3 もう一度  を押してから、 を3回押して  にします。



→ 2つ目の模様が2の長さで表示されます。

4 連続ぬいにしたいときは、 を押して  にします。



→ 模様が連続表示に変わります。



4

文字・模様ぬい

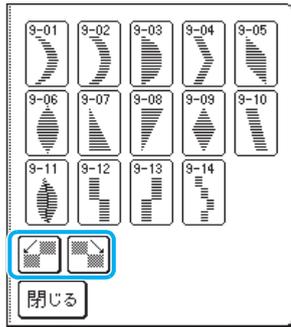
ステップ模様を作る (7mm サテンステッチのみ)

模様の位置がステップ状になった模様を、ステップ模様といいます。

ステップ模様は、7mm サテンステッチを  と  を使って移動して作ります。

 を1回押すと、模様の幅の半分の長さ分、左に移動します。

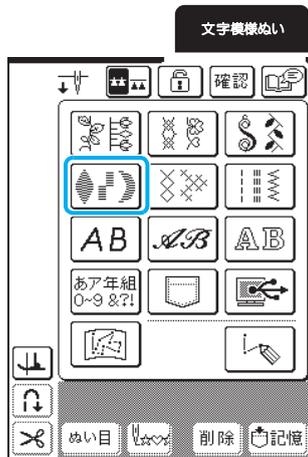
 を1回押すと、模様の幅の半分の長さ分、右に移動します。



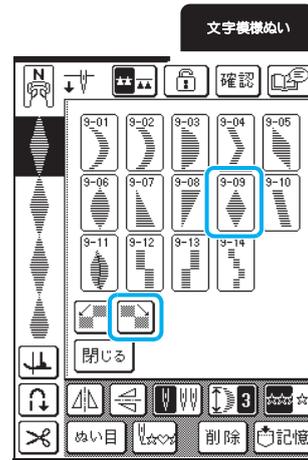
例)



1  を押します。

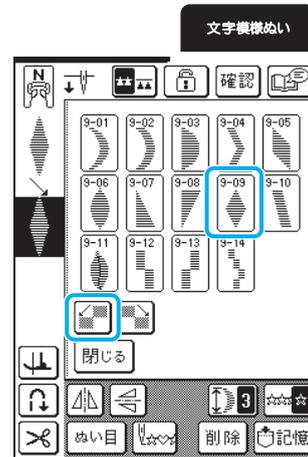


2  を押してから、 を押します。

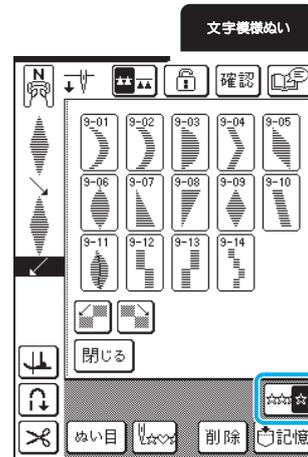


→ 次の模様が右に移動します。

3  をもう一度押してから、 を押します。

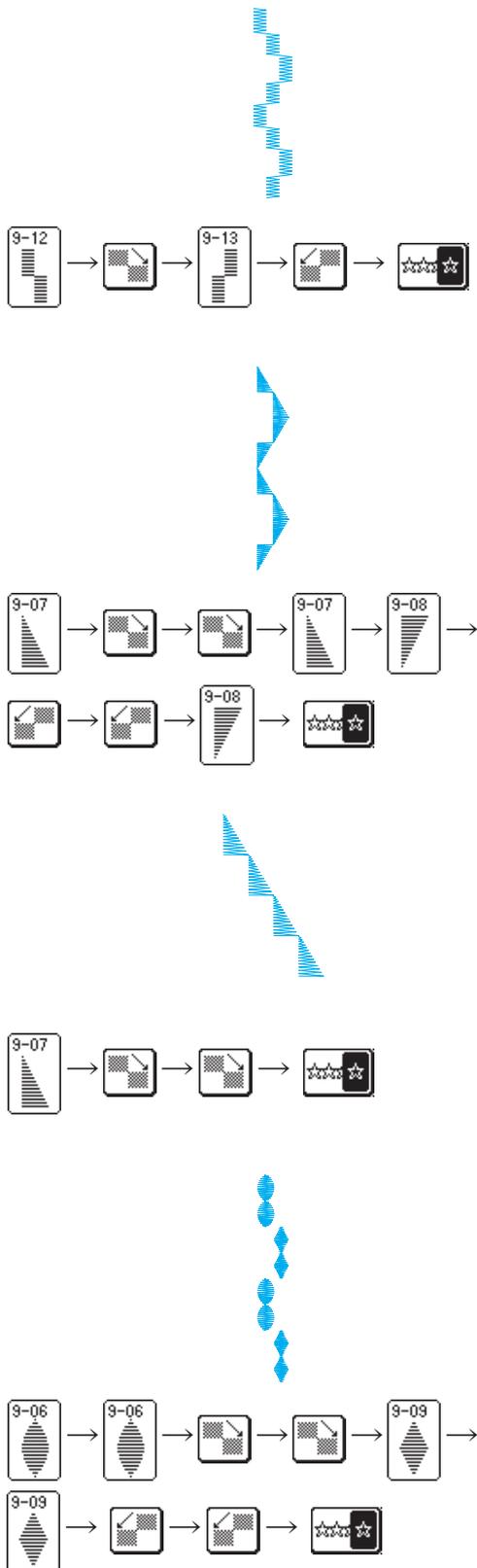


4  を押して  にします。



→ 模様が連続表示に変わります。

■ 模様の組み合わせの例



模様の記憶

データに関する注意

このマシンで作成・記憶したデータ以外のデータを扱うときは、以下の点に注意してください。

■ 使用可能なデータの種類

- このマシンで扱える模様データは、.pmu ファイルのみです。このマシンで作成された模様以外のデータを扱うと、マシンが誤作動するおそれがあります。

■ 使用可能なパソコンの種類と OS

- 互換性のあるモデル：
USB ポートを標準装備した IBM PC
USB ポートを標準装備した IBM PC 互換機
- 互換性のある OS：
Microsoft Windows 98SE/Me/2000/XP/Vista
(Windows 98SE の場合はドライバが必要です。ブラザーのホームページ (www.brother.co.jp) からダウンロードしてください。ドライバが必要な OS は、Windows 98SE のみです。)

■ パソコンでデータを取り扱うときの注意

- データのファイル名に、特殊文字や記号などを使用すると識別できず、模様が表示されないことがあります。その場合は、ファイル名を変更してください。半角英数字、ダッシュ「-」、アンダーバー「_」を使用してください。
コンマ「,」、ピリオド「.」は、使用しないでください
- リムーバブルディスクにはフォルダを作成しないでください。フォルダ内に模様データを記憶すると、そのデータはマシンで表示できません。

■ 商標

- IBM は、International business Machines Corporation の登録商標または商標です。
- Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

本取扱説明書にソフトウェア名が記載されている各社は、登録商標権を持つ製品に関するソフトウェアライセンス契約をしています。本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には® および™ などのマークは明記しておりません。

マシンのメモリに模様を記憶する

自分の名前など、よく使う名前や言葉、組み合わせ模様を、マシンのメモリに記憶させることができます。メモリに記憶させることができる模様は、24 組までで、1 つの模様につき 70 模様 (70 字) または 224KB までです。



お願い

「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

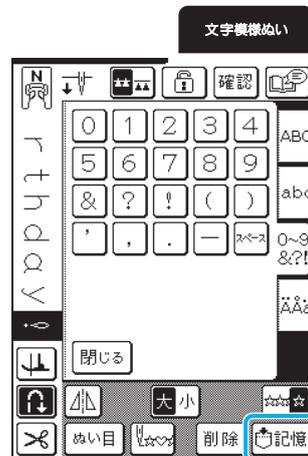


お知らせ

- 記憶するのに数秒かかります。
- 記憶した文字・模様を呼び出すときは、P.129 を参照してください。
- マシンのソフトウェアをアップグレードすると、記憶した模様ぬいが消去されます。

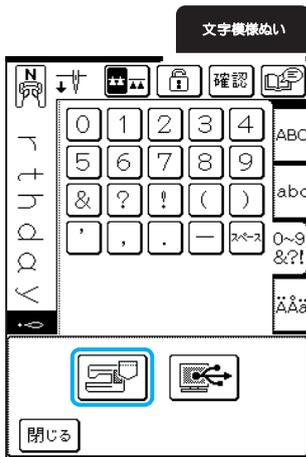
1

記憶 を押します。



2  を押します。

-  を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



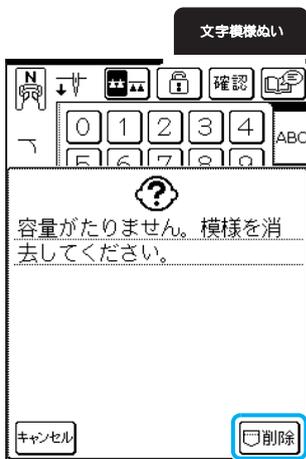
→ 「記憶中」のメッセージが表示されます。記憶が完了すると、自動的に元の画面に戻ります。

■ 記憶できないときは

模様をメモリに記憶しようとしたときに次の画面が表示された場合は、メモリの容量が不足し、模様を記憶できません。すでに記憶されている模様を削除すると、記憶することができます。

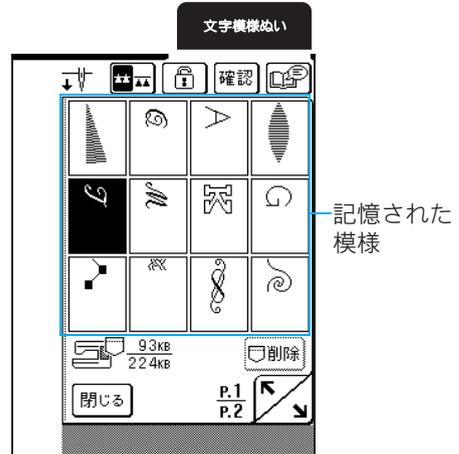
1  を押します。

-  を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。

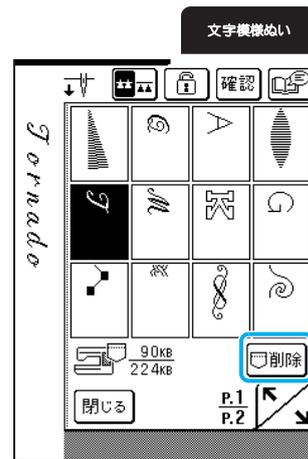


2 消去する模様を選びます。

-  を押すと、次のページが表示されます。
- 各模様の1つ目の模様のみが表示されます。
 を押すと、模様全体を確認できます。
- 模様を消去したくないときは、 を押します。



3  を押します。



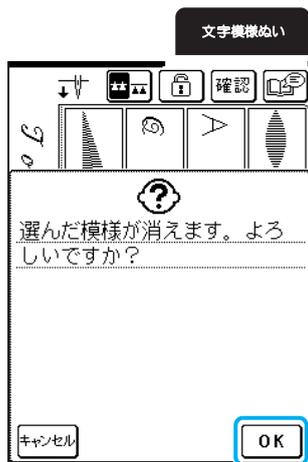
→ 確認のメッセージが表示されます。



4

文字・模様ぬい

- 4** **OK** を押します。
- 消去をやめるときは、**キャンセル** を押します。



→ 選んだ模様が消去され、新しい模様が自動的に記憶されます。

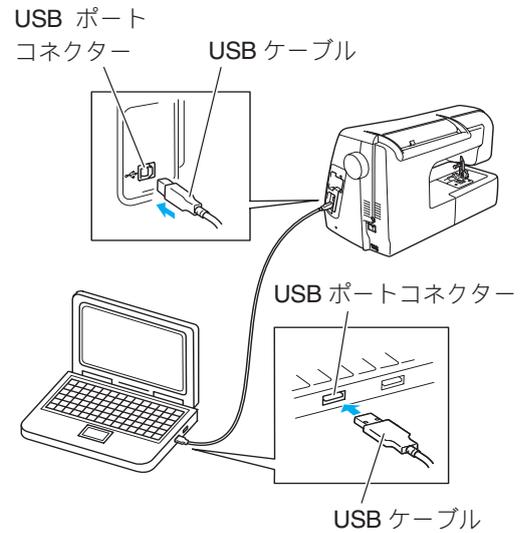
パソコンに模様を記憶する

付属の USB ケーブルでミシンをパソコンに接続して、模様をパソコンに記憶したり、読み出すことができます。

お願い
「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶している模様データが消えるおそれがあります。

- 1** 模様を組み合わせます。
- 「ちがう模様を組み合わせる」(→ P.119) を参照してください。

- 2** ミシンとパソコンの USB ポートコネクタに USB ケーブルを差し込みます。
- パソコンとミシンに電源が入っていないときでも、USB ケーブルでパソコンとミシンを接続できます。

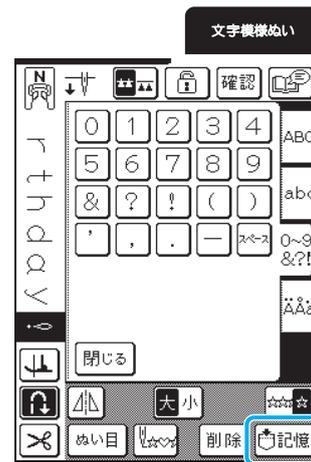


→ パソコンの「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクのアイコンが表示されます。

お願い

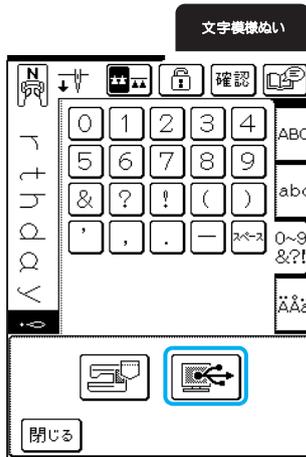
- USB ケーブルは、差し込む向きが決まっています。うまく差し込めない場合は、無理に差し込まず、向きを確認してください。
- パソコンの USB ポートコネクタの位置については、ご使用のパソコンの説明書を参照してください。

- 3** **記憶** を押します。



4  を押します。

- **閉じる** を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



→ 模様は、「マイコンピュータ」のリムーバブルディスクに一時的に記憶されます。

5 リムーバブルディスクで模様の .pmu ファイルを選び、このファイルをパソコンにコピーします。

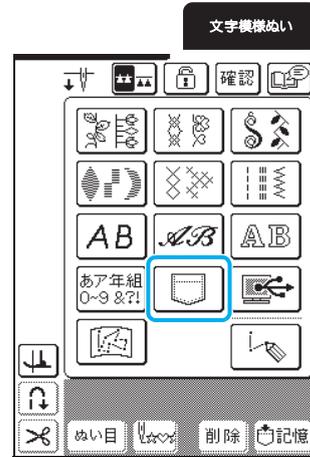


 **お願い**

- 「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。データが消えるおそれがあります。
- ファイルは、一時的にリムーバブルディスクに記憶されているだけなので、ミシンの電源を切ると、ファイルは消去されます。必要なファイルは、必ずコンピュータのハードディスクにコピーしてください。

ミシンのメモリから模様を呼び出す

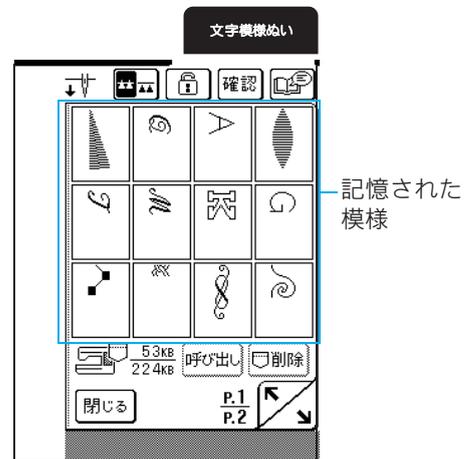
1  を押します。



→ 模様選択画面が表示されます。

2 呼び出す模様を選びます。

-  を押すと、次のページが表示されます。
- **確認** を押すと、模様全体を確認できます。
- **閉じる** を押すと、模様を呼び出さずに元の画面に戻ります。

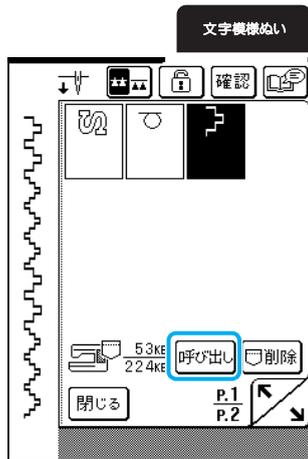


4

文字・模様ぬい

3 呼び出しを押します。

- 削除を押すと、模様は消去されます。



→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

パソコンから模様を呼び出す

- 1 ミシンとパソコンの USB ポートコネクタに USB ケーブルを差し込みます。(P.128 参照)
- 2 パソコンで「マイコンピュータ」を開いて、「リムーバブルディスク」を選択します。



3 模様データを「リムーバブルディスク」に移動/コピーします。



お知らせ

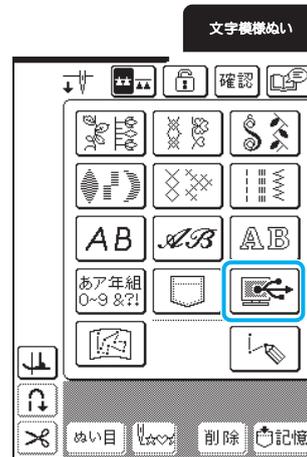
最大 24 個または 476KB までの模様を「リムーバブルディスク」に移動/コピーできます。

→ 「リムーバブルディスク」内の模様データがミシンに書き込まれます。

お願い

- データ書き込み中は USB ケーブルを抜かないでください。
- 「リムーバブルディスク」にフォルダを作成しないでください。フォルダは表示されないため、フォルダ内の模様データを呼び出すことができません。

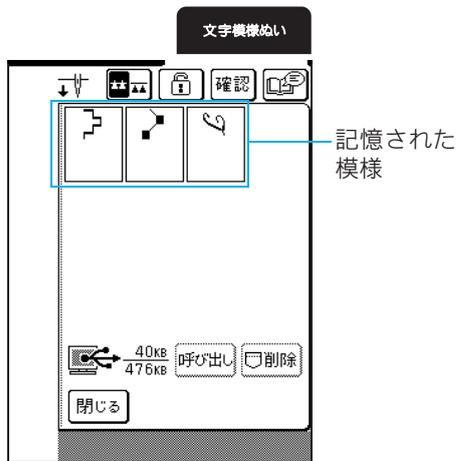
4 呼び出しを押します。



→ パソコンに記憶されている模様が選択画面に表示されます。

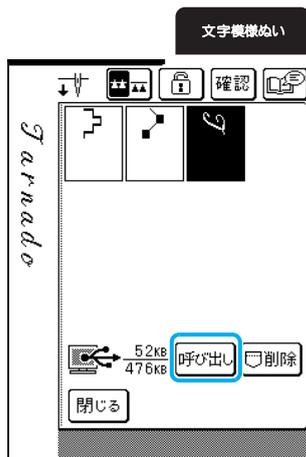
5 呼び出す模様を選びます。

- **確認** を押し、模様全体を確認できます。
- **閉じる** を押し、呼び出さずに元の画面に戻ります。



6 **呼び出し** を押します。

- **削除** を押し、模様は消去されます。



→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

⚠ 注意

USB ケーブルを外す場合：

USB ケーブルを外す前に、Windows® Me/2000 では、タスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンを、Windows® XP/Vista では、タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。これで、リムーバブルディスクを安全に外し、パソコンまたはミシンから USB ケーブルを取り外すことができます。



Windows 98SE の場合は、パソコンとミシンから USB ケーブルを取り外す前に、アクセスランプが点滅していないことを確認してください。

💡 お願い

- パソコンの誤作動、データの書き込み不良、ミシン上のデータやデータ書き込み領域の破損を防ぐため、パソコンとミシンから USB ケーブルを外す前は、必ず上記の操作を行ってください。
- パソコンから呼び出した模様は、ミシンに一時的に書き込まれるだけで、電源スイッチを切ると消去されます。模様を残したい場合は、ミシンのメモリに保存してください。(P.126 参照)



4

文字・模様ぬい



第 5 章

マイイラスト機能

イラストのデザインのしかた.....	134
■ 作品例.....	135
イラストの入力.....	136
■ キーのはたらき.....	136
編集のしかた.....	138
■ ポイントを移動する.....	138
■ イラストの一部または全体を移動する.....	139
■ 新しいポイントを挿入する.....	140
マイイラスト模様の記憶.....	141
ミシンのメモリにマイイラスト模様を記憶する.....	141
■ 記憶できないときは.....	141
パソコンにマイイラスト模様を記憶する.....	142
ミシンのメモリからマイイラスト模様を呼び出す.....	143
パソコンからマイイラスト模様を呼び出す.....	143

イラストのデザインのしかた

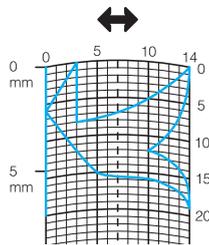
マイイラスト機能を使用して、オリジナルの模様を作ることができます。

お知らせ

マイイラスト機能を使用して作成できる模様
の大きさは、最大 7mm (幅) × 37mm (長さ)
です。

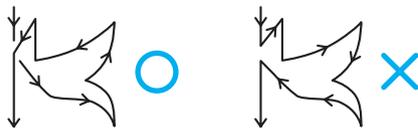
最初に、付属のマイイラスト用紙に模様を描く
と、マイイラスト機能を使用して、より簡単
に模様をデザインすることができます。

1 マイイラスト用紙に模様のデザインを描きます。



お知らせ

模様を閉じるように線を交差させると、よりきれいに仕上がります。

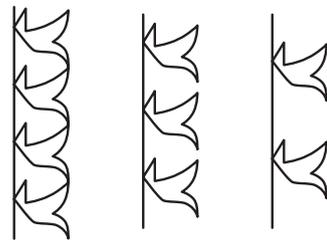
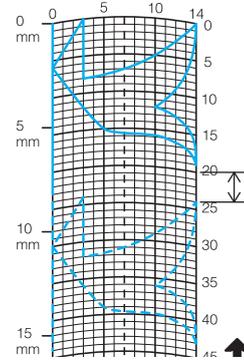


一筆書きの要領で、線の始めと終わりの高さが
同じになるように描きます。

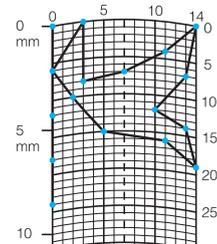


2 模様が繰り返される間隔を決めます。

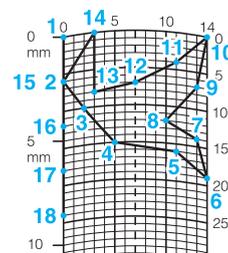
- 模様の間隔を調節すると、1つの模様で様々な模様を作ることができます。



3 目盛りとの交差に点をつけ、直線で結びます。



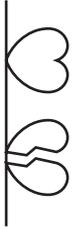
4 めい順を決めます。



お知らせ

これで、縫製される模様のデザインが決定されます。

■ 作品例

	ぬい順	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↑	0	12	18	22	23	21	17	14	12	9	6	3	1	3	6
	←	0	0	3	6	10	13	14	13	11	13	14	13	10	6	3
	ぬい順	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↑	12	41	43	40	41	38	35	32	30	32	35	41	45	47	44
	←	0	0	4	7	11	13	14	13	10	6	3	0	0	4	7
	ぬい順	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↑	45	47	50	54	56	55	51	45	70						
←	11	13	14	13	10	6	3	0	0							

	ぬい順	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↑	0	30	32	32	32	33	35	35	37	35	32	30	30	29	26
	←	0	0	1	7	10	12	11	8	12	14	14	11	5	3	8
	ぬい順	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↑	24	18	13	12	13	10	12	8	12	7	12	6	10	5	10
	←	10	13	14	14	12	11	10	9	8	6	6	3	2	0	2
	ぬい順	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↑	16	19	23	22	17	22	23	19	42						
←	1	0	0	6	10	6	0	0	0							

	ぬい順	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↑	0	3	5	8	12	17	20	24	27	29	31	32	30	27	24
	←	0	5	8	11	13	14	14	13	12	11	9	6	3	1	0
	ぬい順	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↑	21	18	16	15	15	16	18	21	25	28	33	37	41	43	44
	←	0	1	3	5	8	10	12	13	14	14	13	11	8	5	0
	ぬい順	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↑															
←																

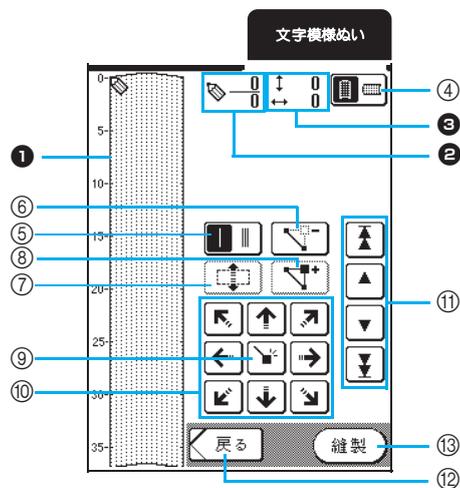
	ぬい順	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↑	0	5	4	5	8	7	8	11	11	11	16	11	7	4	0
	←	7	7	3	7	7	0	7	7	3	7	7	3	0	3	7
	ぬい順	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↑	4	7	11	16	21	20	21	24	23	24	27	27	27	32	27
	←	11	14	11	7	7	11	7	7	14	7	7	11	7	7	11
	ぬい順	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↑	23	20	16	20	23	27	32								
←	14	11	7	3	0	3	7									



イラスト機能

イラストの入力

■ キーのはたらき

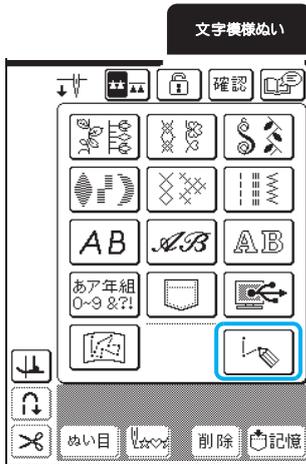


- ① 作成中の模様が表示されます。
- ② 模様のポイント総数（下）と選択中のポイントのぬい順（上）を表示します。
- ③ の 座標（上）と 座標（下）を表示します。

No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
④		グリッド方向キー	マイイラスト用紙の方向を変えます。	137
⑤		1重ぬい／3重ぬいキー	2つのポイントの間のぬい方を、1重ぬいまたは3重ぬいのどちらにするか選択します。	137
⑥		ポイント削除キー	選んだポイントを削除します。	137
⑦		ブロック移動キー	ポイントをグループとして、形を変えずに移動します。	139
⑧		ポイント挿入キー	ポイント間に新しいポイントを挿入します。	140
⑨		設定キー	ポイントを入力します。	137-138
⑩		矢印キー	表示領域で を移動します。	137-138
⑪		ポイント移動キー	をポイント上に移動して、次または前のポイントへ移動したり、最初のポイントや最後のポイントへ移動します。	138, 140
⑫		戻るキー	模様データの入力画面が終了します。	138
⑬		試しぬいキー	作成中の模様の試しぬいができます。	138

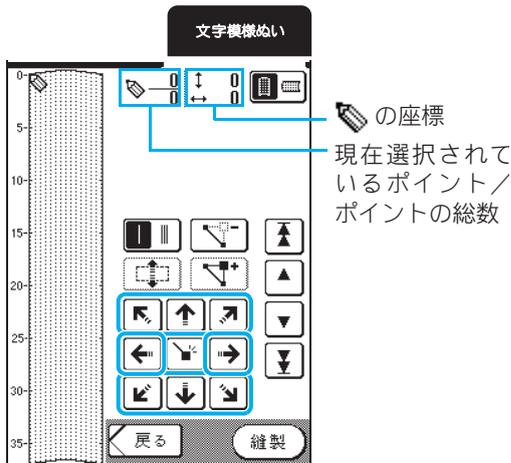
1 文字模様ぬい を押します。

2  を押します。



3  を使って、 をマイイラスト用紙の1針目のポイントの座標に移動します。

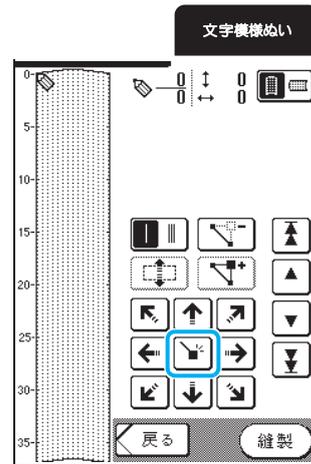
-  を押すと、マイイラスト用紙の方向を変えることができます。



お知らせ

タッチペンを使って、データを入力できます。

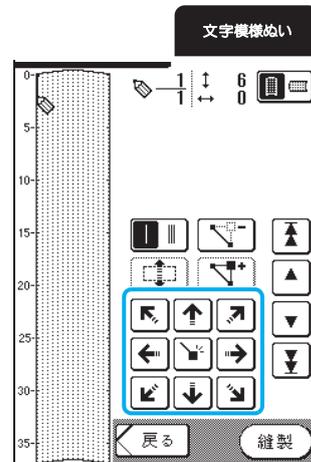
4  を押して、 が示す位置にポイントを入力します。



5 次に入力するポイントとの間のぬい方 (1重ぬいまたは3重ぬい) を選択します。

- 3重ぬいにする場合は、 を押して  にします。

6  を使って  を2針目のポイントの座標に移動し、 を押します。



7 上記の手順を繰り返し、マイイラスト用紙にデザインしたとおりにポイントをすべて入力します。

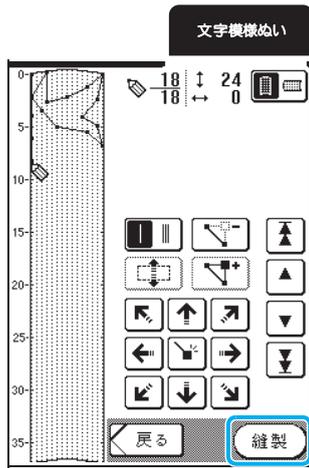
- 入力したポイントを削除するときは、 を押します。



5

マイイラスト機能

8 **縫製** を押します。



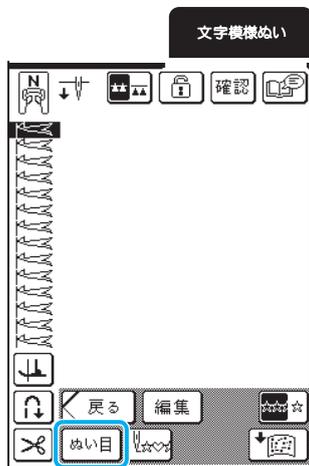
お知らせ

- ポイントの間隔が狭すぎると、布地が正しく送られないことがあります。その場合は模様データを編集して、ポイントの間隔を広げます。
- 模様を繰り返してつなげる場合は、模様のイラスト部分が重ならないように注意して模様を追加してください。



9 必要に応じて、模様設定キーを押して振り幅やぬい目の長さなどを設定します。

- **戻る** を押すと、模様選択画面に戻ります。画面に表示されている模様は削除されます。
- **編集** を押すと、作成中のマイイラストの編集画面に戻ります。

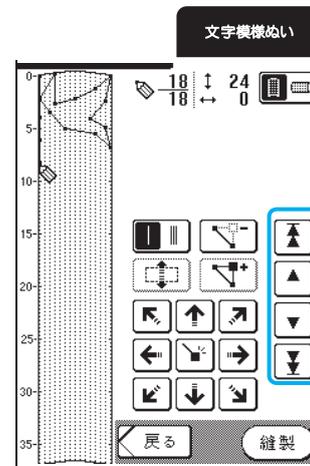


編集のしかた

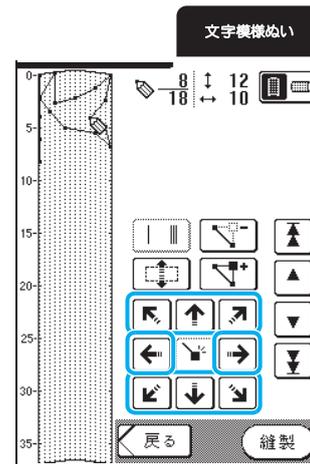
■ ポイントを移動する

1 **▲** または **▼** を押して、 を移動したいポイントに移動します。

- **▲** を押すと、 は最初のポイントに移動できます。
- **▼** を押すと、 を最後のポイントに移動できます。
- タッチペンを使って、 を移動することもできます。



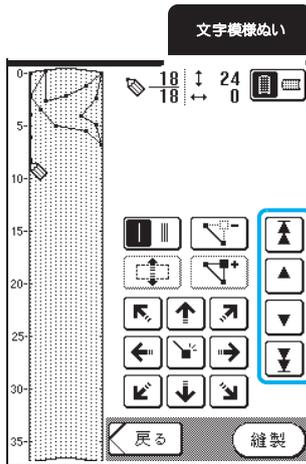
2 を使って、ポイントを移動します。



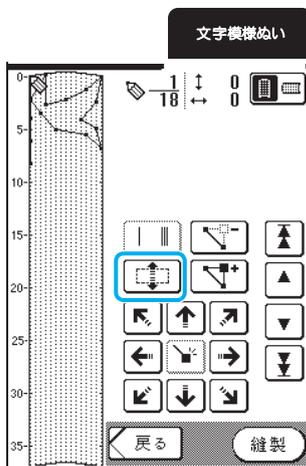
■ イラストの一部または全体を移動する

1 ▲ または ▼ を押して、✎ を移動したいイラスト部分の最初のポイントに移動します。

- ▲ を押すと、✎ は最初のポイントに移動できます。
- ▼ を押すと、✎ を最後のポイントに移動できます。
- タッチペンを使って、✎ を移動することもできます。

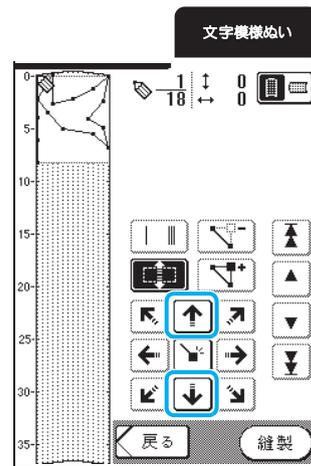


2 □ を押します。

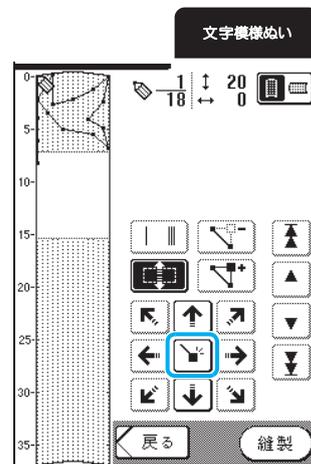


→ 選んだポイントと、そのポイントより後に入力されたすべてのポイントが選択されます。

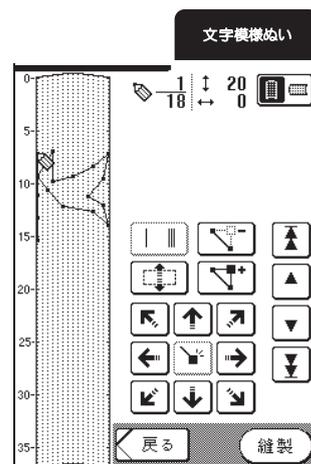
3 ▲ または ▼ を押して、選択部分を示す枠を移動します。



4 □ を押します。



→ 選択したイラスト部分が移動します。



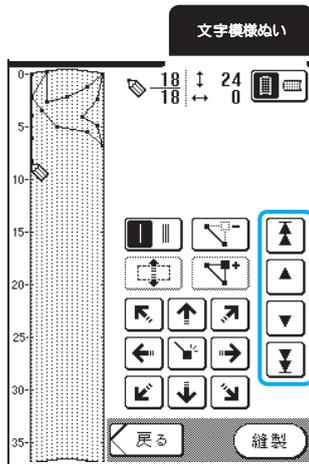
5

スキャン機能

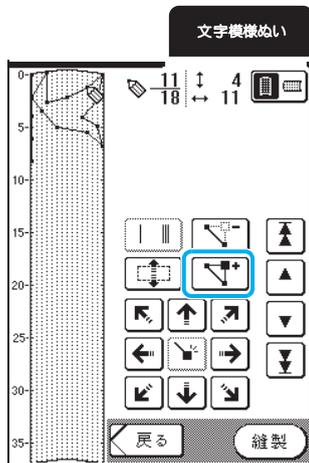
■ 新しいポイントを挿入する

1 ▲ または ▼ を押して、新しいポイントを挿入したいポイント間のぬい順が前のポイントに  を移動します。

- ▲ を押すと、 は最初のポイントに移動できます。
- ▼ を押すと、 を最後のポイントに移動できます。
- タッチペンを使って、 を移動することもできます。

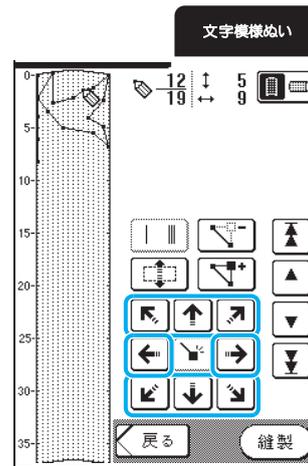


2  を押します。



→ 新しいポイントが挿入され、 がそのポイントに移動します。

3  を使って、ポイントを移動します。



マイイラスト模様の記憶

ミシンのメモリにマイイラスト模様を記憶する

マイイラスト機能を使って作成した模様は、保存して、後で使うことができます。メモリに記憶させることができる模様は、15個までです。



お願い

「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

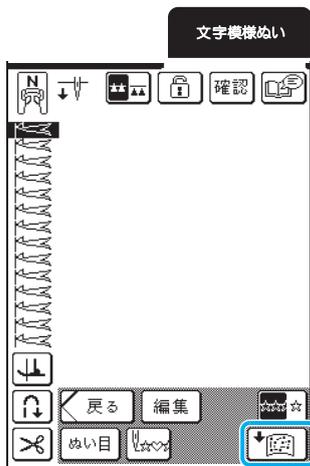


お知らせ

- 記憶するのに数秒かかります。
- 保存した模様の呼び出しについては、P.143を参照してください。

1

を押します。

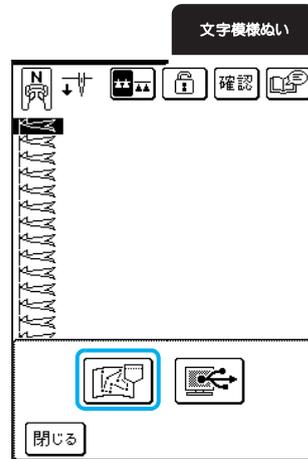


2



を押します。

- を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



→「記憶中」のメッセージが表示されます。記憶が完了すると、自動的に元の画面に戻ります。

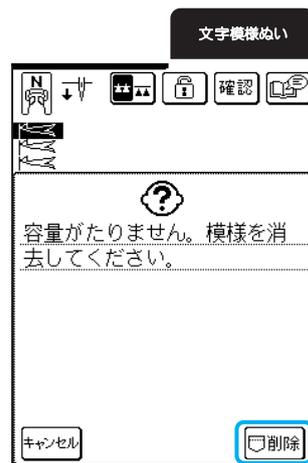
■ 記憶できないときは

模様をメモリに記憶しようとしたときに次の画面が表示された場合は、メモリの容量が不足し、模様を記憶できません。すでに記憶されている模様を削除すると、記憶することができます。

1

を押します。

- を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。

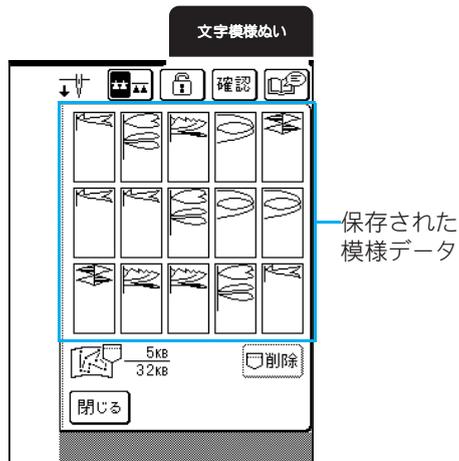


5

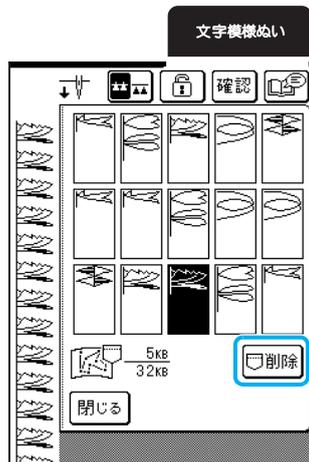
マイイラスト機能

2 消去する模様を選びます。

- **確認** を押すと、模様全体を確認できます。
- 模様を消去したくないときは、**閉じる** を押します。



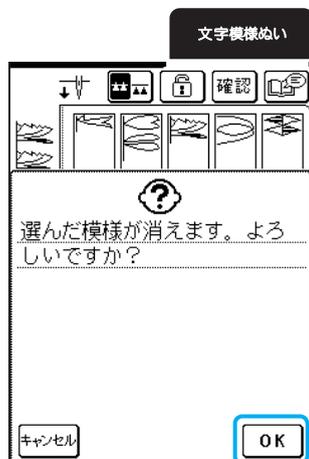
3 **削除** を押します。



→ 確認のメッセージが表示されます。

4 **OK** を押します。

- 消去をやめるときは、**キャンセル** を押します。



→ 選んだ模様が消去され、新しい模様が自動的に記憶されます。

パソコンにマイイラスト模様を記憶する

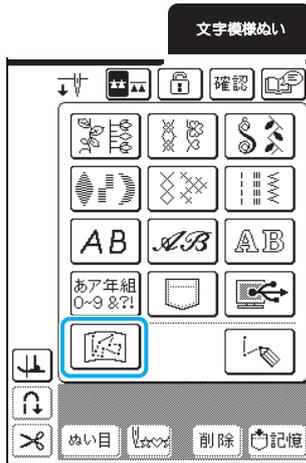
付属の USB ケーブルでミシンをパソコンに接続させて、模様をパソコンに記憶できます。パソコンへの記憶のしかたについては、P.128 を参照してください。

ミシンのメモリからマイイラスト模様を呼び出す

お知らせ

- ミシンのソフトウェアをアップグレードすると、記憶したマイイラスト模様が消去されます。

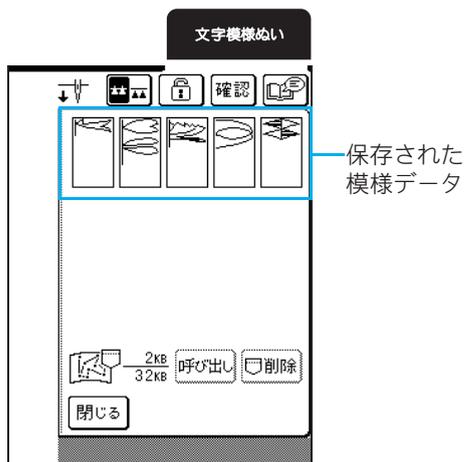
1  を押します。



→ 模様選択画面が表示されます。

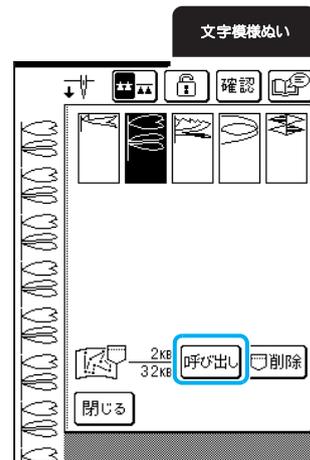
2 呼び出す模様を選びます。

- 確認** を押すと、模様全体を確認できます。
- 閉じる** を押すと、模様を呼び出さずに元の画面に戻ります。



3 **呼び出し** を押します。

- 削除** を押すと、模様が消去されます。



→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

パソコンからマイイラスト模様を呼び出す

付属の USB ケーブルでミシンをパソコンに接続させて、模様をパソコンから呼び出すことができます。パソコンからの呼び出し方については、P.130 を参照してください。



5

マイイラスト機能



第 6 章 付録

お手入れのしかた	146
画面の汚れの掃除	146
本体表面の汚れの掃除	146
外かまの掃除	146
画面の調整	148
画面が見にくい	148
タッチパネルが反応しない	148
簡単なミシンの調整	150
エラーメッセージ	153
■ブザー	155
アップグレードの方法	156
ぬい方早見表	158
仕様	167
索引	168

お手入れのしかた



注意

必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガまたは感電の原因となります。

画面の汚れの掃除

画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布地等で軽くふきとってください。有機溶剤や洗剤は使用しないでください。

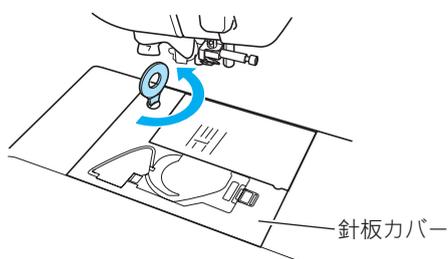
本体表面の汚れの掃除

本体表面の汚れを取るときは、中性洗剤を薄めて布地に浸し、固くしぼってふきとってください。汚れを取った後は、乾いた布でふきとってください。

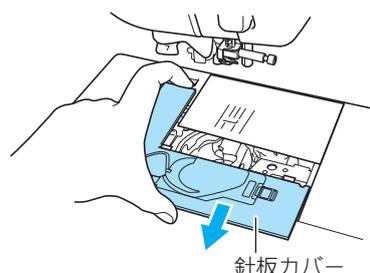
外かまの掃除

ほこりがたまると縫製不良になったり、下糸検出が効かない場合があります。いつもきれいにしておきましょう。

- 1 針上下スイッチを押して針を上げます。
- 2 押えレバーを上げます。
- 3 電源スイッチを切ります。
- 4 針と押えホルダーを外します。(P.37、P.63参照)
- 5 付属のネジ回しを使って、針板カバーのネジをゆるめて外します。



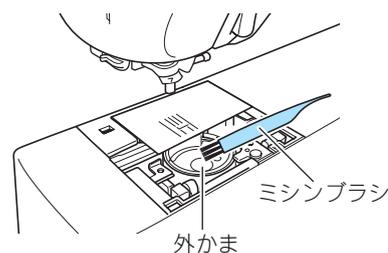
- 6 針板カバーを手前に引いて外します。



- 7 内かまを取り出します。



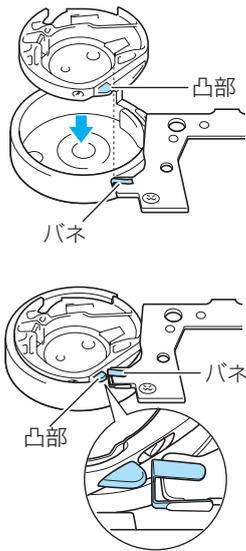
- 8 付属のブラシや掃除機で、外かまとその周辺の糸くずやほこりを取り除きます。



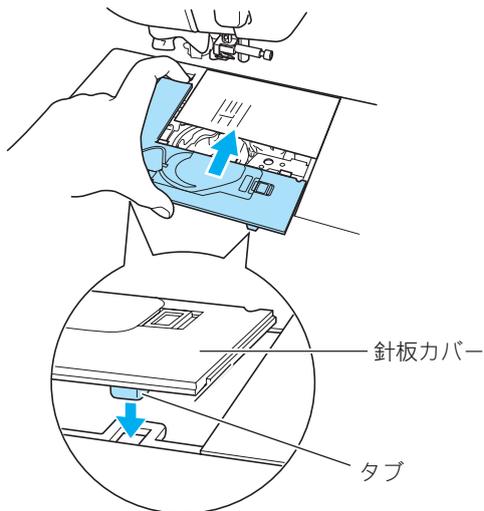
お願い

内かまには油をささないでください。

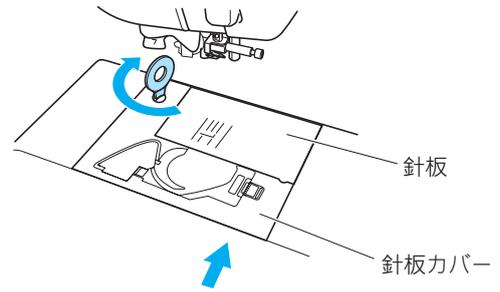
- 9 内かま凸部とバネが合うように、内かまを取り付けてください。



- 10 針板カバーのタブを差し込み、スライドさせて元の位置に戻します。



- 11 付属のネジ回しを使ってネジをしめます。
 • 針板カバーを針板に押し付けながらネジをしめてください。



⚠ 注意



- 傷がついた内かまは使用しないでください。万一使用すると、上糸がからみ、針折れや縫製不良の原因となります。新しい内かまが必要な場合は、最寄りの販売店にご連絡ください。
- 内かまは正しい位置に取り付けてください。針折れの原因となります。



6

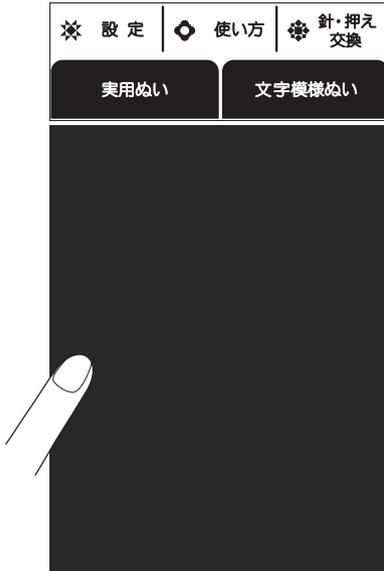
付録

画面の調整

画面が見にくい

電源スイッチを入れたときに画面が見にくい場合は、以下の手順に従って液晶画面の調整をしてください。

- 1 電源スイッチを切り、画面（どの部分でもよい）を指で押しながら電源スイッチを入れます。



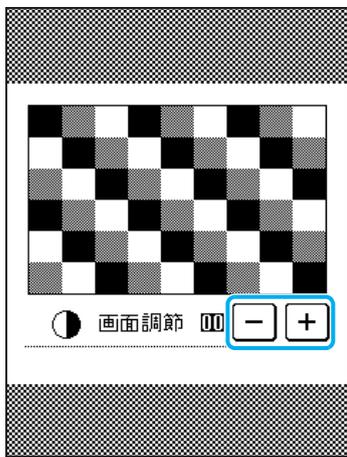
→ 「画面調整」画面が表示されます。



お知らせ

下に示す画面が表示されるまで、画面を押します。

- 2 **[-]** または **[+]** を押して、画面の明るさを調節します。

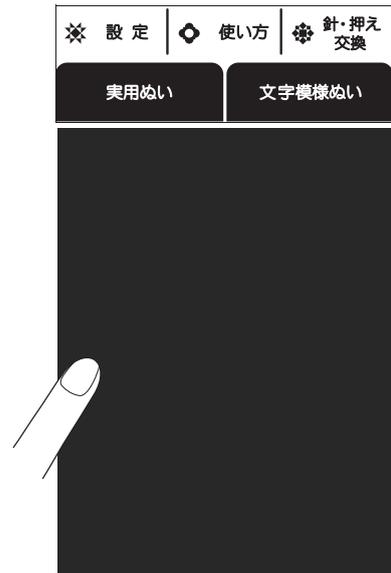


- 3 調整が終わったら、ミシンの電源スイッチを入れ直します。

タッチパネルが反応しない

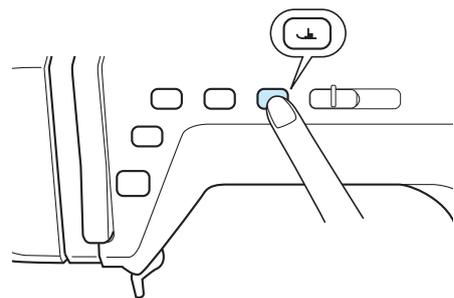
液晶画面のキーを押しても反応しない（キー入力ができない、またはキーがずれている）場合、以下の手順に従ってタッチパネルの調整をしてください。

- 1 電源スイッチを切り、画面（どの部分でもよい）を指で押しながら電源スイッチを入れます。



→ 「画面調整」画面が表示されます。

- 2 押え上下スイッチを押します。



→ タッチパネル調整画面が表示されます。

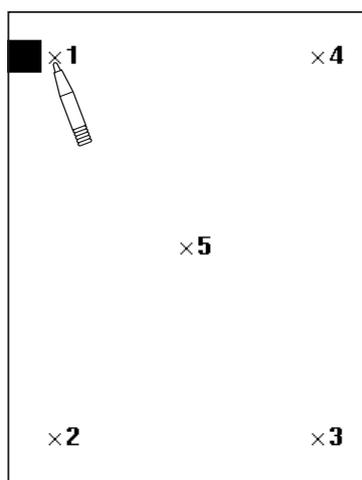
3 付属のタッチペンを使って、画面に表示されている×印の中心を1から5まで順番に軽く押します。

- 1、2、3、4、5の順に押し、5の×印を押したときに、ブザーが一回鳴ったら入力終了です。画面に「SUCCESS」と表示されます。ブザーが2回鳴ったときは入力エラーです。もう一度、**1**から順に押し直してください。



お願い

必ず付属のタッチペンを使用して調整してください。シャープペンシル、ドライバーなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。画面に強い力を加えないでください。故障の原因となります。



4 調整が終わったら、ミシンの電源スイッチを入れ直します。



お願い

調整をしても画面が反応しない場合、または調整ができない場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」0120-340-233にご連絡ください。



簡単なミシンの調整

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目および弊社サポートページ、ブラウザソリューションセンター (<http://solutions.brother.co.jp>) の Q&A を確認してください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」(フリーダイヤル 0120-340-233) にご相談ください。



お知らせ

このミシンには、ぬっていて困ったときのために簡単なトラブルチェック機能が付いています。



使い方

を押し、**トラブルチェック** を押すと、トラブルの項目が表示されます。項目を選び、原因と対処法を確認してください。

症状	原因	対処	参照ページ
上糸が切れる	上糸の通し方がまちがっている (糸こまが正しくセットされていない、糸こま押えの大きさが合っていない、糸が針棒糸かけから外れているなど)。	糸を正しく通します。	30
	糸にこぶや結び目がある。	糸のこぶや結び目を取り除きます。	-
	針に比べて糸が太すぎる。針が糸に合っていない。	布地と針と糸の組み合わせ表を見て、適切な組み合わせにします。	38
	上糸調子が強すぎる。	糸調子を調節します。	48
	糸がからまっている。	かま (内かま) などにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	-
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	37
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	37
	針板の穴の周辺にキズがある。	針板を交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」0120-340-233 にご相談ください。	-
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」0120-340-233 にご相談ください。	-
内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」0120-340-233 にご相談ください。	-	
上糸がつる	下糸のセットがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	28
下糸がからまる	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	28
	ポビンにキズがあり、回転がなめらかでない。	ポビンを交換します。	-
	糸がからまっている。	かま (内かま) などにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	-
ぬい目が飛ぶ	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて直し直します。	30
	針・糸が布地に合っていない。	布地と針と糸の組み合わせ表を見て、適切な組み合わせにします。	38
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	37
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	37
	品質の悪い針を使っている。	正しい針に交換します。	37
	針板の下やかまにゴミがたまっている。	ブラシなどでゴミを取り除きます。	146

症状	原因	対処	参照ページ
布地にしわがよる	上系の通し方、または下系のセットのしかたがまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。または、下糸を正しくセットします。	28, 30
	糸こまが正しくセットされていない。	糸こまを正しくセットし直します。	30
	針・糸が布地に合っていない。	布地と針と糸の組み合わせ表を見て、適切な組み合わせにします。	38
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	37
	薄地に対してぬい目があらずぎる。	ぬい目を細かくします。	48
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	48
	模様にあった押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	158
ぬい音が高い ガタガタと音がする	送り歯やかまにゴミがたまっている。	ゴミを取り除きます。	146
	かま（内かま）の部分に糸くずが巻きついている。	かま（内かま）の掃除をします。	146
	上系の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。	30
	内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233にご相談ください。	-
糸通しができない	針が正しい位置にない。	針上下スイッチを押して針を上げます。	9
	糸通し装置のフックが針穴に入らない。	針上下スイッチを押して針を上げます。	9
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	37
糸調子が合わない	上系の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。	30
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸をセットし直します。	28
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と針と糸の組み合わせ表を見て、適切な組み合わせにします。	38
	押えホルダーが正しく取り付けられていない。	押えホルダーを正しく取り付けます。	63
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	48
文字模様がくずれる	模様にあった押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	158
	模様が正しく調整されていない。	模様の調整をし直します。	114
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	48
	上系の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。	30
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸をセットし直します。	28
針が折れる	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	37
	針止めネジがゆるんでいる。	とめネジをしっかりとしめます。	38
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	37
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と針と糸の組み合わせ表を見て、適切な組み合わせにします。	38
	模様にあった押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	158
	上糸調子が特に強すぎる。	糸調子を調節します。	48
	布地を不当に引っ張っている。	布地を軽く押さえます。	-
	糸こまが正しくセットされていない。	糸こまと糸こま押えを正しくセットし直します。	30
	針板の穴の周辺にキズがある。	針板を交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233にご相談ください。	-
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換するか、お買い上げの販売店「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233にご相談ください。	-
	内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233にご相談ください。	-
	品質の悪い針を使っている。	正しい針に交換します。	37



症状	原因	対処	参照ページ
布地を送らない	送り歯が下がっている。	送り歯ドロップキーで送り歯を上げます。	20, 66
	ぬい目が細かすぎる。	ぬい目の長さを長くします。	48
	模様合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	158
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	37
	糸がからまっている。	かま（内かま）などからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	-
ミシンが動かない	模様が選ばれていない。	模様を選びます。	56, 108
	スタート/ストップスイッチを押していない。	スタート/ストップスイッチを押します。	42
	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れます。	16
	押えが下がっていない。	押えを下げます。	42
	フットコントローラーを接続したままスタート/ストップスイッチを押している。	フットコントローラーを外すか、フットコントローラーで操作します。	9, 43
	ボタンホール以外の模様を選択しているのにボタンホールレバーが下がっている。	ボタンホールレバーを上げて下さい。	-
スイッチを押しても動かない	液晶画面にアニメーションが表示されている。	液晶画面に指で触れてアニメーションを消去します。	18
液晶画面が見にくい。	液晶のコントラストが合っていない。	画面の調整をします。	21, 148
下糸がボビンにきれいに巻けない	下糸巻き案内に糸がしっかりかかっている。	下糸巻き案内に糸をしっかりとかける。	28
	引き出した糸を正しく巻き付けていない。	引き出した糸は、時計回りに 5 ~ 6 回ボビンに巻き付けます。	28
	ボビンの回転が遅い。	スピードコントロールレバーを「はやく」にします。	28
下糸巻き中、ボビン受け座の下に下糸が巻かれた	下糸の巻き方がまちがっている。	受け座の下に巻かれた糸をほどいた後、下糸を正しく巻きます。	27
布裏で糸がからまる	上糸のセットがまちがっている。	上糸を正しくセットします。	30
針穴に糸が通らない	針が正しい位置にない。	針上下スイッチで針を上げます。	30
	針が正しく取り付けられていない。	針を正しく取り付けます。	37
布地が逆方向に送られる	送り機構が故障した。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン119番）」（フリーダイヤル0120-340-233）にご相談ください。	-
糸通しレバーが下まで降りない	針が正しい位置にない。	針上下スイッチで針を上げます。	30
ランプが点灯しない	ランプが故障した。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン119番）」（フリーダイヤル0120-340-233）にご相談ください。	-
	電源が入っていない。	電源を入れます。	16



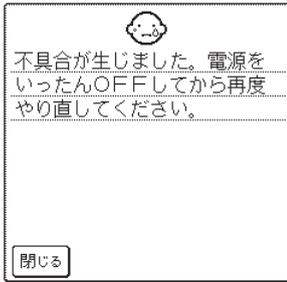
お願い

- このミシンには、糸切れ確認装置が付いています。上糸が通されていない状態でスタート/ストップスイッチを押しても、ミシンは正常に作動しません。また、選択した模様によっては、針が上で停止したまま布を送ります。これは針棒の解除機能によるものです。そのとき縫製音と異なった音が発生しますが、トラブルではありませんのでご了承ください。
- 運転中に停電が発生した場合
 - 電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
 - 再度電源スイッチを入れる場合は、運転の手順に従って正しく行ってください。

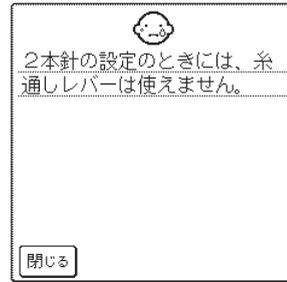
エラーメッセージ

ミシンが正しくセットされていない状態でスタート/ストップスイッチや返しぬいスイッチを押したときや、誤った操作をしたときは、ミシンが止まりブザーとエラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

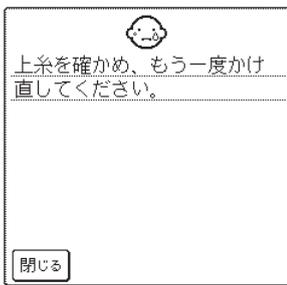
(表示中のメッセージは、**閉じる** を押すか、正しく操作すると消えます。)



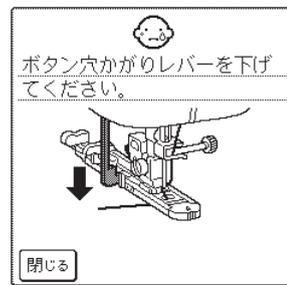
誤作動が起きたときに表示されます。



2本針が設定されている状態で自動糸通しスイッチを押したときに表示されます。



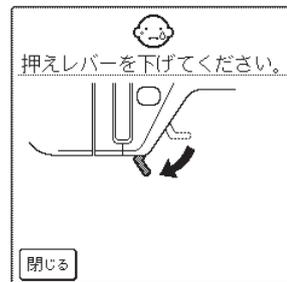
上糸が切れたときなど、上糸が正しく通っていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは返しぬいスイッチを押したときに表示されます。



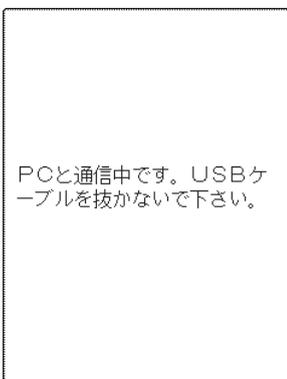
ボタン穴かがりレバーが上がった状態で、ボタン穴かがりの模様を選んで、スタート/ストップスイッチまたは返しぬいスイッチを押したときに表示されます。

注意

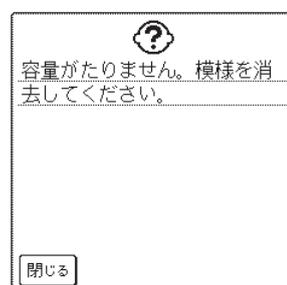
必ず糸をかけ直してください。糸をかけ直さずにスタート/ストップスイッチを押すと、針折れや糸調子不良、故障の原因となります。



押えレバーが上がっていて針が下がっている状態で、スタート/ストップスイッチ、返しぬいスイッチ、糸切りスイッチ、または押え上下スイッチを押したときに表示されます。



USBケーブルを使用して、パソコンからミシンに情報をダウンロードするときに表示されます。

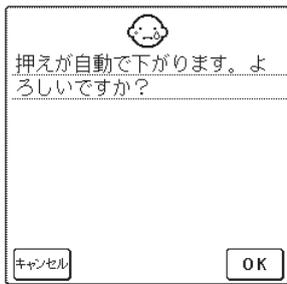


記憶容量がいっぱいで記憶できないときに表示されます。



6

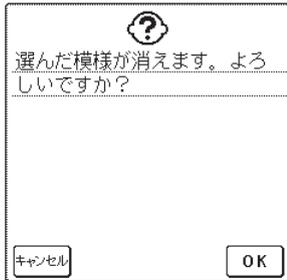
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50



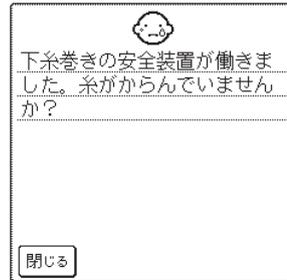
押えが上がった状態で
 を押したときに表示
 されます。



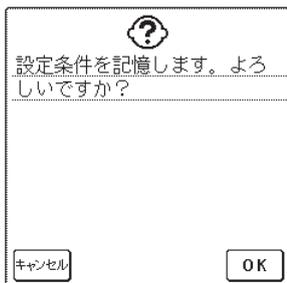
下糸が少なくなったときに表
 示されます。



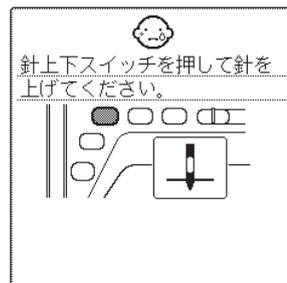
模様を選んだ後に、
 または
 を押したときに
 表示されます。



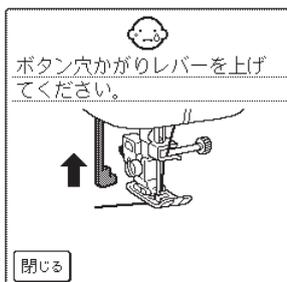
下糸巻き中に、糸がらみなど
 でモーターがロックした
 ときに表示されます。



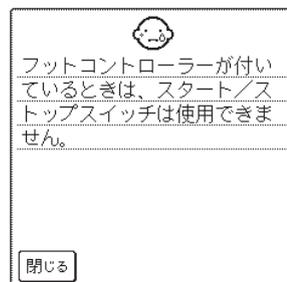
実用ぬいで を押したと
 きに表示されます。



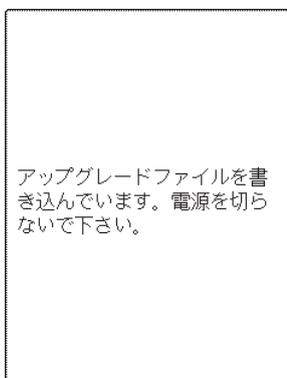
針が下がっている状態で、糸通
 しレバーを下げたときに表
 示されます。



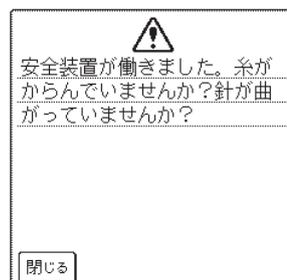
ボタン穴かがりレバーが下
 がった状態で、ボタン穴かがり
 以外の模様を選んで、スタート
 /ストップスイッチまたは返
 しぬいスイッチを押したとき
 に表示されます。



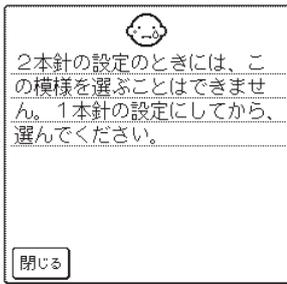
フットコントローラーを取り
 付けた状態で、スタート/ス
 トップスイッチを押したとき
 に表示されます。



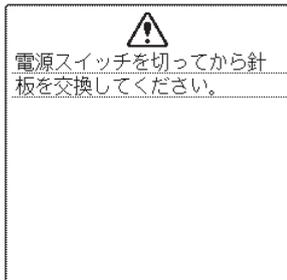
アップグレードファイルがミシ
 ンにダウンロードされてい
 るときに表示されます。



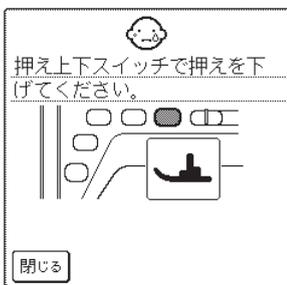
糸がらみなどで、モーターが
 ロックしたときに表示されま
 す。



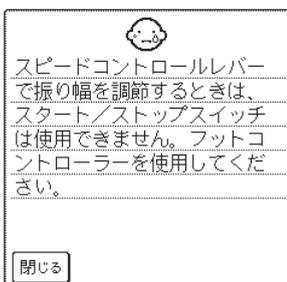
2本針が設定されている状態で、2本針が使用できない模様を選んだときに表示されます。



直線針板を取り付けた状態で、中基線以外の模様でぬおうとしたときに表示されます。ミシンの電源を入れたまま針板を取り外したときに表示されます。



押えが上がっている状態でスタート/ストップスイッチ、返しぬいスイッチ、または糸切りスイッチを押したときに表示されます。



スピードコントロールレバーがジグザグの振り幅を調節するように設定されている状態で、スタート/ストップスイッチを押したときに表示されます。

■ ブザー

誤った操作をすると、ブザーが2回または4回鳴ります。

お知らせ

※ **設定** を押して、ブザーの ON / OFF を切り替えることができます。詳細については、P.21 を参照してください。



6

目録

アップグレードの方法

パソコンを使って、マシンにインストールされているソフトウェアをアップグレードできます。以下の手順に従って操作してください。

尚、アップグレード情報に関しては、お近くの販売店もしくは「お客様相談室（マシン 119 番）」0120-340-233 にお問い合わせいただくか、ブラザーソリューションセンター（<http://solutions.brother.co.jp>）で今後掲載される情報をご参照ください。



お願い

アップグレードファイルは2つあります。必ず2つのファイルをダウンロードしてください。

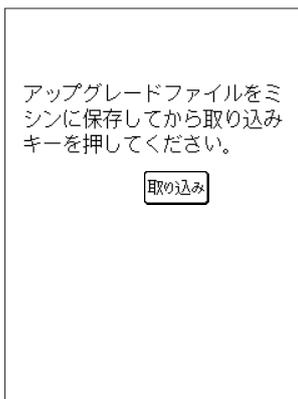


お知らせ

- マシンのソフトウェアをアップグレードすると、記憶した文字・模様ぬいが消去されます。
- ソフトウェアのアップグレード中は、キーを押してもブザーが鳴りません。

- 1** 押え上下スイッチを押した状態で、電源スイッチを入れます。

→ 次の画面が表示されます。



- 2** マシンとパソコンのUSBポートコネクタにUSBケーブルを差し込みます。

→ パソコンの「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクのアイコンが表示されます。

- 3** 1つ目のアップグレードファイルを「リムーバブルディスク」にコピーします。

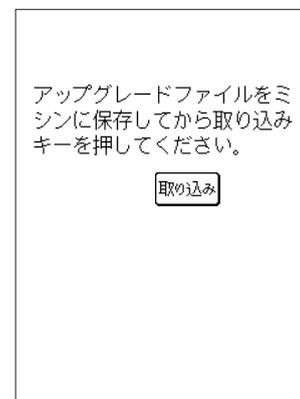


→ 「PCと通信中です。USBケーブルを抜かないでください」とメッセージが表示されます。

- 4** 手順**1**の画面が表示されたら、**取り込み**を押します。

→ 「アップグレードファイルを保存中。電源スイッチを切らないでください」とメッセージが表示されます。ダウンロードには約3分かかります。

- 5** 1つ目のアップグレードファイルの取り込みが終了すると、次のメッセージが表示されます。

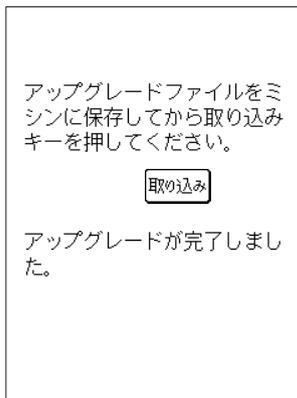


- 6** 2つ目のアップグレードファイルを「リムーバブルディスク」にコピーします。

- 7** 手順**1**の画面が表示されたら、**取り込み**を押します。

→ 「アップグレードファイルを保存中。電源スイッチを切らないでください」とメッセージが表示されます。ダウンロードには約3分かかります。

- 8 次の画面が表示されたら、アップグレードは完了です。

**お願い**

エラーが発生すると、エラーメッセージが表示されます。この場合、電源スイッチを切り、手順①からもう一度行います。

- 9 USBケーブルを外し、ミシンの電源スイッチを入れ直します。



6

付録

ぬい方早見表

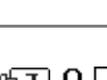
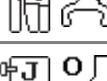


お願い

2本針（33ページを参照）を使用するときは、必ず< J >押えを使用してください。

ぬい方	名前	押え 	主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ* (mm)		2本針**
				自動	手動	自動	手動	
	ピーシング直線 (中基線)		ピーシング用の直線です。	—	—	1.6	0.2 - 5.0	×
	ピーシング直線 (右基線)		ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が7mmでぬえるように針位置が設定されています。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 5.0	×
	ピーシング直線 (左基線)		ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が7mmでぬえるように針位置が設定されています。	2.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 5.0	×
	手ぬい風直線 (中基線)		上糸にナイロン透明糸、下糸にキルトに合った色の糸を使うと手ぬい風のキルト直線になります。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	しつけぬい (中基線)		振り返りに使います。	3.5	0.0 - 7.0	20.0	5.0 - 30.0	×
	伸縮ぬい		伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使います。また、飾りぬいとしても使います。	1.0	1.0 - 3.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	ジグザグ		アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンぬいなどに使います。	3.5	0.0 - 7.0	1.6	0.0 - 4.0	×
	ジグザグ (右基線)		右の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると右を基線にして振り幅が変わります。	3.5	2.5 - 5.0	1.6	0.3 - 4.0	×
	ジグザグ (左基線)		左の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると左を基線にして振り幅が変わります。	3.5	2.5 - 5.0	1.6	0.3 - 4.0	×
	2点ジグザグ		普通地、伸びる布地のためかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使います。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	×
	3点ジグザグ		普通地、厚地、伸びる布地のためかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使います。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	×
	アップリケ		アップリケやバインディングをするときに使います。	2.0	0.5 - 5.0	2.0	1.0 - 4.0	×
	シェルタック		シェルタックは貝殻を直線状にならべたような円弧状のひだを作るもので、ふち取りなどに用いるほか、ブラウス、ワンピースなどの胸元や袖に飾りぬいとして使います。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 4.0	×

*—: 調節できません。**○: 使用できます。×: 使用できません。

ぬい方	名前	押え 	主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ* (mm)		2本針**
				自動	手動	自動	手動	
	アップリケ		アップリケに使用します。	3.5	2.5 - 7.0	2.5	1.6 - 4.0	×
	キルティング模様		キルトで背景を埋めるときに使用します。	7.0	1.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	4.0	1.0 - 4.0	×
	ゴムひもつけ		伸びる布地にゴムひもをつけるときに使用します。	5.5	0.0 - 7.0	1.4	0.2 - 4.0	×
	飾りぬい		飾りぬいやゴムひもつけに使用します。	5.0	1.5 - 7.0	2.0	0.2 - 4.0	×
	ファゴティング		ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる手法で、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	ファゴティング		ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる手法で、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0	2.5 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	つき合わせ		コードなどを使った飾りぬい、パッチワークや飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.2	0.2 - 4.0	×
	つき合わせ		パッチワークや飾りぬいに使用します。	5.0	2.5 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	スモッキング		スモッキングや飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	飾りぬい		飾りぬいやアップリケに使用します。	6.0	1.0 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	×
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	5.5	0.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0	1.5 - 7.0	2.0	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		つき合わせや飾りぬいに使用します。	6.0	1.5 - 7.0	2.0	1.5 - 4.0	×
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	6.0	1.0 - 7.0	3.0	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	4.0	1.0 - 4.0	×

*一：調節できません。**○：使用できます。×：使用できません。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ* (mm)		2本針**
				自動	手動	自動	手動	
	直線 (左基線)		地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○ (< J > 押えを使用)
	直線 (左基線)		地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと止めぬいをします。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○ (< J > 押えを使用)
	直線 (中基線)		ファスナーつけ、地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○ (< J > 押えを使用)
	直線 (中基線)		地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと止めぬいをします。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○ (< J > 押えを使用)
	3重ぬい		丈夫なぬい目なので、袖つけや股下をぬうときに便利です。また、伸びる布地をぬうときや飾りぬいとしても使用します。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.5 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	伸縮ぬい		伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	1.0	1.0 - 3.0	2.5	1.0 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	しつけぬい		仮り止めに使用します。	0.0	0.0 - 7.0	20.0	5.0 - 30.0	×
	ジグザグ (中基線)		たちめかがりやアップリケなどに使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	ジグザグ (中基線)		たちめかがりやアップリケなどに使用します。返しぬいスイッチを押すと止めぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	ジグザグ (右基線)		右の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると右を基線にして振り幅が変わります。	3.5	2.5 - 5.0	1.4	0.3 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	ジグザグ (左基線)		左の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると左を基線にして振り幅が変わります。	3.5	2.5 - 5.0	1.4	0.3 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	2点ジグザグ		普通地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	3点ジグザグ		普通地、厚地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)

*ー:調節できません。 **○:使用できます。 ×:使用できません。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ* (mm)		2本針**
				自動	手動	自動	手動	
	たちめかがり		薄地、普通地のたちめかがりに使用します。	3.5	2.5 - 5.0	2.0	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		厚地のたちめかがりに使用します。	5.0	2.5 - 5.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		厚地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	5.0	3.5 - 5.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.5 - 4.0	○ (<J> 押えを使用)
	たちめかがり		厚地、伸びる布地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.5 - 4.0	○ (<J> 押えを使用)
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	4.0	1.0 - 4.0	○ (<J> 押えを使用)
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	4.0	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	6.0	1.0 - 7.0	3.0	1.0 - 4.0	○ (<J> 押えを使用)
	たちめかがり		伸びる布地のたちめかがりに使用します。	6.0	1.0 - 7.0	1.8	1.0 - 4.0	○ (<J> 押えを使用)
	たちめかがり		布を切りながら直線ぬいをします。	0.0	0.0 - 2.5	2.5	0.2 - 5.0	×
	たちめかがり		布を切りながらジグザグぬいをします。	3.5	3.5 - 5.0	1.4	0.0 - 4.0	×
	たちめかがり		布を切りながらたちめかがりをします。	3.5	3.5 - 5.0	2.0	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		布を切りながらたちめかがりをします。	5.0	3.5 - 5.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	たちめかがり		布を切りながらたちめかがりをします。	5.0	3.5 - 5.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	ピーシング直線 (右基線)		ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が7.0mmでぬえるように針位置が設定されています。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 5.0	×
	ピーシング (中基線)		ピーシング用の直線です。	—	—	1.6	0.2 - 5.0	×
	ピーシング直線 (左基線)		ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が7.0mmでぬえるように針位置が設定されています。	2.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 5.0	×

*—: 調節できません。**○: 使用できます。×: 使用できません。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ* (mm)		2本針**
				自動	手動	自動	手動	
	手ぬい風直線		上糸にナイロン透明糸、下糸にキルトに合った色の糸を使うと手ぬい風のキルト直線になります。ぬうときは上糸の調子を強くしてぬいます。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×
	ジグザグ		アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンぬいなどに使用します。	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 4.0	×
	アップリケ		アップリケやバインディングをするときに使用します。	1.5	0.5 - 5.0	1.2	1.0 - 4.0	×
	キルティング模様		キルトで背景を埋めるときに使用します。	7.0	1.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
	まつりぬい		普通地のまつりぬいに使用します。	00	+3 - -3	2.0	1.0 - 3.5	×
	まつりぬい		伸びる布地のまつりぬいに使用します。	00	+3 - -3	2.0	1.0 - 3.5	×
	アップリケ		アップリケに使用します。	3.5	2.5 - 7.0	2.5	1.6 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	シェルタック		シェルタックは貝殻を直線状にならべたような円弧状のひだを作るもので、ふち取りなどに用いるほか、ブラウス、ワンピースなどの胸元や袖に飾りぬいとして使用します。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	サテンスカラップ		スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。	5.0	2.5 - 7.0	0.5	0.1 - 1.0	○ (< J > 押えを使用)
	スカラップ		スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。	7.0	0.0 - 7.0	1.4	1.0 - 4.0	×
	つきあわせ		パッチワークや飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	1.2	0.2 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	つきあわせ		パッチワークや飾りぬいに使用します。	5.0	2.5 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	つきあわせ		コードなどを使った飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.2	0.2 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	スモッキング		スモッキングや飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)
	ファゴティング		ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる手法で、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○ (< J > 押えを使用)

*一：調節できません。 **○：使用できます。 ×：使用できません。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ* (mm)		2本針**
				自動	手動	自動	手動	
	ファゴティング		ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかかる手法で、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0	2.5 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○ (<J> 押えを 使用)
	ゴムひもつけ		伸びる布地にゴムひもをつけるときに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○ (<J> 押えを 使用)
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	3.0	2.0 - 4.0	×
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○ (<J> 押えを 使用)
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	5.5	0.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	○ (<J> 押えを 使用)
	飾りぬい		飾りぬいやゴムひもつけに使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○ (<J> 押えを 使用)
	飾りぬい		飾りぬいやアップリケに使用します。	6.0	1.0 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○ (<J> 押えを 使用)
	飾りぬい		飾りぬいに使用します。	7.0	1.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
	飾りぬい		左基線の3重ぬいで、すそ飾りなどに使用します。	1.0	1.0 - 7.0	2.5	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		中基線の3重ぬいで、すそ飾りなどに使用します。	3.5	1.0 - 7.0	2.5	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。	6.0	1.5 - 7.0	3.0	1.0 - 4.0	×
	飾りぬい		レースつけやふち飾りなどに使用します。	3.5	1.5 - 7.0	2.5	1.6 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。	3.0	1.5 - 7.0	3.5	1.6 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。	6.0	1.5 - 7.0	3.0	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0	1.5 - 7.0	3.5	1.6 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0	1.5 - 7.0	3.5	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0	1.5 - 7.0	3.5	1.6 - 4.0	×

*一: 調節できません。 **○: 使用できます。 ×: 使用できません。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ* (mm)		2本針**
				自動	手動	自動	手動	
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0	1.5 - 7.0	4.0	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	4.0	1.5 - 7.0	2.5	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0	1.5 - 7.0	2.5	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	6.0	1.5 - 7.0	3.5	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	6.0	1.5 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	6.0	1.5 - 7.0	3.0	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	6.0	1.5 - 7.0	4.0	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	4.0	1.5 - 7.0	2.5	1.6 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0	1.5 - 7.0	2.0	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		つき合わせや飾りぬいに使用します。	6.0	1.5 - 7.0	2.0	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		ふち飾りをぬった後にリボンを通して飾りとして使用します。	5.0	1.5 - 7.0	3.0	1.5 - 4.0	×
	飾りぬい		飾りぬいやスモッキングに使用します。	6.0	1.5 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
	飾りぬい		飾りぬいやスモッキングに使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
	ボタン穴かがり		ねむり穴、横穴用。薄地から普通地のボタン穴かがりに使用します。ブラウス、シャツなどに使用します。	5.0	3.0 - 5.0	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり		横穴用。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。	5.5	3.5 - 5.5	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり		横穴用。ウエストベルトなど力がかかるところに使用します。	5.0	3.0 - 5.0	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり		横穴用。厚地のボタン穴かがりに使用します。	5.0	3.0 - 5.0	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり		ねむり穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。ジャケットやブラウスに使用します。	5.0	3.0 - 5.0	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり		両止めボタン穴かがり。薄地から普通地のボタン穴かがりに使用します。	5.0	3.0 - 5.0	0.4	0.2 - 1.0	×

*一：調節できません。**○：使用できます。×：使用できません。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ* (mm)		2本針**
				自動	手動	自動	手動	
	ボタン穴かがり		伸びる布地や編み地のボタン穴かがりに使します。	6.0	3.0 - 6.0	1.0	0.5 - 2.0	×
	ボタン穴かがり		伸びる布地のボタン穴かがりに使します。	6.0	3.0 - 6.0	1.5	1.0 - 3.0	×
	ボタン穴かがり		玉ぶち穴かがり（バウンドボタンホール）を作るときに使します。	5.0	0.0 - 6.0	2.0	0.2 - 4.0	×
	ボタン穴かがり		はとめ穴。厚地や毛足の長い布のボタン穴かがりに使します。ブレザー、スーツ、コートなどに使します。	7.0	3.0 - 7.0	0.5	0.3 - 1.0	×
	ボタン穴かがり		はとめ穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使します。ジーンズ、ズボンなどに使します。	7.0	3.0 - 7.0	0.5	0.3 - 1.0	×
	ボタン穴かがり		はとめ穴。厚地や毛足の長い布の横穴ボタン穴かがりに使します。厚手のコートなどに使します。	7.0	3.0 - 7.0	0.5	0.3 - 1.0	×
	ダーニング		普通地のつくりぬいに使します。	7.0	2.5 - 7.0	2.0	0.4 - 2.5	×
	ダーニング		厚地のつくりぬいに使します。	7.0	2.5 - 7.0	2.0	0.4 - 2.5	×
	かんどめ		ぬい目がほどけやすい箇所やポケット口などのあき止まり部分の力の加わる部分を補強したい場合に用います。	2.0	1.0 - 3.0	0.4	0.3 - 1.0	×
	ボタンつけ		ボタンつけに使します。	3.5	2.5 - 4.5	—	—	×
	アイレット		ベルトの調整用の穴をかがる時などに使します。普通地に使します。	7.0	7.0, 6.0, 5.0	7.0	7.0, 6.0, 5.0	×
	横送り直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使します。	—	—	—	—	×
	横送り直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使します。	—	—	—	—	×
	横送り直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使します。	—	—	—	—	×
	横送り直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使します。	—	—	—	—	×
	横送り直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使します。	—	—	—	—	×
	横送り直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使します。	—	—	—	—	×
	横送り直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使します。	—	—	—	—	×

*—: 調節できません。 **○: 使用できます。 ×: 使用できません。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅* (mm)		ぬい目の長さ* (mm)		2本針**
				自動	手動	自動	手動	
5-08 	横送り直線		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-09 	横送りジグザグ		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-10 	横送りジグザグ		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-11 	横送りジグザグ		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-12 	横送りジグザグ		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×

*—:調節できません。**○:使用できます。×:使用できません。

仕様

	項目	仕様
ミシン本体	本体寸法	51.1cm (幅) × 30.5cm (高さ) × 25.8cm (奥行)
	ケースセット寸法	58.2cm (幅) × 31.9cm (高さ) × 28.4cm (奥行)
	本体質量	11.3kg
	液晶画面	320 × 240 ドットモノクロ液晶 (バックライト拡散式)
	操作パネル	タッチパネル
	使用ミシン針	家庭用ミシン針 (HA × 1)
	ランプ	白色発光ダイオード
	ぬい速度	毎分 70 ~ 1000 針
	定格電圧/消費電力	100V / 74W 50 / 60Hz
	搭載模様	実用 : 135 大型飾り : 51 7mm 飾り : 34 飾りサテン : 10 サテンステッチ : 14 クロスステッチ : 12 実用飾り模様 : 57 英数 : 97 × 3 書体 日本語 (ひらがな、カタカナ、数字、記号、漢字) : 203
	模様の組み合わせ記憶	24 組、1 つの模様につき 70 模様または 224KB まで
	最大振り幅	7.0mm
	最大送り幅	5.0mm

索引

U

USB ポートコネクタ	7
パソコン	128, 142

あ

アイレット	102
アップグレード	156
アプリケ	64, 78
アプリケぬい	86
アドバイスキー	23
アルファベット	
文字・模様ぬい	109

い

1 重ぬい / 3 重ぬいキー	137
糸	
布地と針と糸の組み合わせ	38
糸案内	7, 26, 33
糸案内板	7, 26, 30
糸切り	7, 31
糸切りスイッチ	9, 43, 51
糸こま押え	7
糸こまネット	11
糸たてスタンド	12
糸たて棒	7
糸調子	48
糸通しレバー	7, 32
糸密度	118

う

ウォーキングフット	63
上糸通し	30
2 本針	33
上ふた	7

え

液晶画面	7, 18
エコキルト	68
エラーメッセージ	153

お

大きさキー	117
送り歯	8, 66
送り歯ドロップキー	20
押え	8
圧	21, 52
取り替える	35
押え記号	18
押え上下スイッチ	9
押えホルダー	8, 35
押えレバー	7, 45
お手入れ	146
折り伏せぬい	76

か

返しぬい	44, 50, 70
返しぬいスイッチ	9, 44
飾りぬい	63
換気口	7
かんどめ	98
ガイド付きピーシング押え	63
画面	
調整	148
ロックする	53

き

記憶する	
実用ぬい	57
パソコン	128
マイイラスト	141
ミシンのメモリ	126
文字・模様ぬい	126
キーのはたらき	
実用ぬい	19

マイイラスト機能	136
文字・模様ぬい	116
キルトぬい	60
フリーモーション	66

く

組み合わせ	
文字・模様ぬい	119
クレイジーキルト	78
グリッド方向キー	136

け

言語	21
----	----

こ

ゴムひもつけ	79, 89
--------	--------

さ

サイドカッター押え<S>	82
サテンぬい	65
左右反転キー	57, 117
皿	25, 26

し

シェルタックぬい	86
下糸	
セットする	28
引き出す	29
巻く	24
下糸巻き案内	7, 25, 26
下糸巻き装置	7
しつけぬい	72
仕様	167
ジグザグぬい	77
振り幅	47
実用ぬい	23, 58
記憶する	57
キーのはたらき	19
ぬい方キー	58
模様選択画面	56
模様を選ぶ	57
自動糸切りキー	50
自動送り歯ドロップ	66, 100
自動押え圧補正	21, 52
自動止めぬいをする	50
上下反転キー	117

す

スカラップぬい	87
スタート/ストップスイッチ	9, 42
ステップ模様	124
スピードコントロールレバー	7, 9, 42
スモッキングぬい	88

せ

設定	
糸調子	48
画面調整	21, 148
ジグザグの振り幅	47
自動糸切り	50
自動止めぬいをする	50
ぬい目の長さ	48
設定キー	21, 137

そ

操作スイッチ	7, 9
掃除	146

た

たちめかがり	77, 79, 80
タッチペン	11, 149
ホルダー	7
ダーツ	74
ダーニング (つくろいぬい)	96

ち

直線押え	72
直線ぬい	70
直線針板	11, 72

つ

使い方キー	22
つき合わせぬい	88

て

点線ジグザグぬい	79
てんびん確認窓	7, 31
デジーステッチ	90
電源コード	16
電源スイッチ	7, 16

と

止めぬい	44, 50
ドロワーク	91

に

2本針キー	33, 34
ニーフター	7, 44
ニーフター差し込み穴	7

ぬ

ぬい方キー	58
ぬい目の長さ	48
布地	
厚地をぬう	45
薄い布地をぬう	46
布地と針と糸の組み合わせ	38
伸びる布地をぬう場合	95

は

針	
位置を変える	71
設定	18
取り替える	37
2本針	33
布地と針と糸の組み合わせ	38
針板	8
針板カバー	8, 146
針板ふた	8, 28
針位置	71
針・押え交換キー	28, 33, 35, 37
針上下スイッチ	9
針止めネジ	8
針棒糸かけ	8, 31, 33
ハンドル	7
パッチワーク	78

ひ

ひらがな／カタカナ	
文字・模様ぬい	111
ピーシング	62
ピボット	21, 51
ピンタック	76

ふ

ファゴティングぬい	89
ファスナーつけ	103
付属品	9
フットコントローラー	43
フットコントローラージャック	7
フリーモーションモード	69
振り幅	47
フリーモーションキルトぬい	
エコーキルト押え<E>	68
押えの高さ	21
オープンキルト押え<O>	67
フリーモーションモード	66, 69
ブザー	155
ブロック移動キー	139
プーリー	7

へ

ヘアルーム	90
-------	----

編集

マイラスト機能	136
文字・模様ぬい	116
別売品	11

ほ

補助糸たて棒	7, 24, 33
補助テーブル	7, 9
保存する	
パソコン	128, 142
ほつれ止め	44
ボタン穴かがり	92
ボタン穴かがり押え	93
ボタン穴かがりレバー	8, 97
ボタンつけ	100
ボビン	24, 28, 29
ボビンホルダー	25
ポイント削除キー	137
ポイント挿入キー	140

ま

マイラスト機能	
キーのはたらき	136
デザイン	134
データの入力	137
まつりぬい	84

め

メモリ	
文字・模様ぬい	126, 128

も

文字・模様ぬい	
選び方	108
記憶する	126, 128
キーのはたらき	116
組み合わせ	119
調整	114
ぬう	113
編集	116
保存する	142
模様選択画面	108
呼び出す	129, 130
模様の頭出しキー	116, 118
模様の長さキー	117

や

矢印キー	137
------	-----

よ

横送り	103
呼び出す	
パソコン	130, 143
ミシンのメモリ	129, 143

れ

連続／単独ぬいキー	117
-----------	-----

わ

ワイドテーブル	39
---------	----

アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン119番）」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より3年間です。それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室（ミシン119番）」にお問い合わせください。

■ お客様相談室（ミシン119番）0120-340-233

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げの「販売店」または「お客様相談室（ミシン119番）」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市長区瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室（ミシン119番）Tel：0120-340-233

Fax：052-824-3031

営業時間：

月曜日～金曜日 9：00 ～ 17：30

土曜日 9：00 ～ 12：00 13：00 ～ 17：00

（祝祭日、ブラザー販売（株）休日を除く）

- お客様相談室（ミシン119番）は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
- ミシン背面の定格ハリマーク（銀色シール）の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室（ミシン119番）」にご連絡ください。
- 上記の電話番号および住所は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ ホームページ

ブラザー工業のホームページでは、家庭用ミシンに関する様々な情報を掲載しております。
(URL) <http://www.brother.co.jp>

ブラザーソリューションセンターでは、家庭用ミシンに関するサポート情報を掲載しております。
(URL) <http://solutions.brother.co.jp>

ブラザー工業株式会社

取扱店

愛知県名古屋市長区瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561